

議會開會期，變更ニ關スル

特別委員會會議事速記録

議院制度調査會

国立公文書館	
分類	⑤
排架番号	2 A
	36
	⑤ 948

741

秘

議會開會期ノ
變更ニ關スル
特別委員會議事速記録
(第一回乃至第三回)

議院制度調査會

議會開會期ノ變更ニ關スル 特別委員會議事速記録 (第一回乃至第三回)

目次

- 一 第一回特別委員會 昭和十一年八月十七日…………… 一頁
- 二 第二回特別委員會 昭和十一年九月十二日…………… 三九
- 三 第三回特別委員會 昭和十一年九月二十一日…………… 五七

臨時特別委員會

目次

- 一 臨時特別委員會の設置
- 二 臨時特別委員會の組織
- 三 臨時特別委員會の任務
- 四 臨時特別委員會の報告

第一回特別委員會

昭和十二年八月十七日內閣總理大臣官舎ニ於テ午前九時十分開會

○次田委員 ソレヲ以テ特別委員長ヲ決メテ頂キタイト思ヒマス。

○濱田委員 私ハ林委員ニ御苦勞ヲ御願スルコトニ致シタイト思ヒマス。諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス。

○次田委員 ソレデモドウゾ。

○林委員 委員長席ニ著ク。

○林委員長 是ヨリ議院制度調査會ノ特別委員會ヲ開キマス。問題ハ御存知ク通り會期ノ問題デゾ。

○川島幹事 一寸庶務ノ方デ委員ノ異動ガサレシメテ申上ゲマス。八月六日ニ内務次官湯澤三千男

日ニ湯澤委員ガ議會開會期變更ニ關スル特別委員ニ任命サレマシタ。後程御出ニナリマスガ一寸申上ゲマ

○次田委員 此特別委員會ガ開カレマスニ付キマシテ、幹事ノ所デ此問題ニ關シテ色々大案ヲ考ヘテ

其案成就ト云テ長所アルカ、短所アルカト云フコトヲ検討シテ見タリマス、マダ政府
ノ意見トシテ申上ケル程度ニハ無論ナツテイナイノデアリマスガ、御參考ニ幹事ノ所デ話合ヒマシタ所ヲ
申上ゲマシタテ、或ハ議事進行上都合ガ好ハナイカト存ジマス。

○林委員長 ドウゾ左様願ヒタイト思ヒマス。

○末田委員 ソレデハ一通リ申上ゲマス、此會期ヲ變更スルコト云フ問題ハ、主トシテ現行ノ十二月下旬
召集サレテ三月ノ下旬ニ終ルト云フ會期ガ短キニ過ギテ、ハセル議案ヲ審議スルニ不十分デアルト云フ
點ニ在ルト諒解サレテ居リマス、此現行制度ノ長所短所ヲモテ見マセルト、先少長所トシテハ、冬割合
閑ナトキニ會議ヲ開クコトガ出來ルト云フ點デアリマス、是ハ小國ノ實例ヲ見マシテモ多ク冬ノ間ニ會議
ヲ開イテ居リマス、我日本ノ憲法制定ノ際ニ於キマシテモ、當初ノ樞密院ヘ行ク迄ノ間ハ、毎年初冬ノ
候議會ヲ召集スルト云フ案ニナツテ居ツタヤウデアリマス、ソレガ變更サレマシテ毎年一回通常議會ヲ召
集スルト云フコトユナツタデアリマス、冬此會議ヲ開タト云フコトハ色々點ニ於テ利益ガズルト云フ
コトヲ憲法制定ノ當初カラモテ居ツタヤウデアリマス、ソレカラ第二ノ長所ハ現行會計年度ト調和致シ
テ居リマシテ、現行ノ會計年度ヲ基礎トスル諸般ノ制度ニ對應慣熟シテ居ルト云フ點デアリマス、是ハ說
明申上ケル迄モナク、モウ現行會計年度ハ數十年行ヒ來ツタ制度デアリマシテ、現行ノ會計年度ガ四月カ
ラ始マルコトニ致シマスルト、其直前ニ議會ガ豫算ヲ決議スルト云フコトニ相成リマスルトガ、豫算ト

豫算ヲ執行トテ符合セシムル上ニ於テ最モ都合ガ宜シト考ヘラレルデアリマス、第三ニハ衆議院ガ四
年ノ任期満了ニ依ツテ總選舉ヲ行フト云フ場合ニハ、其選舉ヲ四月ニ行フトガ出來ルデアリマシテ、
是ハ總選舉ノ時期トシテハ一番好イ時ニ當ル譯デアリマス。

ソレカラ現行制度ノ短所ヲ考ヘテ見マセルト、會期中ニ丁度年末年始ヲ含メ居ルデアリマス、外國
ハ「クリスマス」ニ一日休息、正月ニ一日休息ムダケデアリマスクレドモ、日本ハ昔カラノ習慣ニ年末年始ヲ相
當長イ休暇ヲ取ル例ニナツテ居リマスノデ、現行ノヤリ方ニ於キマシテモ十二月ノ末カラ一月ノ二十日マ
デ休ムト云フヤリ方ニナツテ居ルノデ、會期ガ九十日デアルニ拘ラズ、實際ノ會議日數ガ或ハ六十日トカ
七十日トカニナル點ガ一つノ短所ト考ヘラレルデアリマス、ソレカラ豫算ヲ實行致シマスニガ豫算ガ
三月中ニ決マリマシテ、ソレカラ色々計畫ヲ立テ、殊ニ土木工事、建築工事等ニ付キマシテハ四月ニナ
ツテカラ設計ニ著手シ請負ニ付シテ居ルト云フヤウナ關係カラ、豫算ノ實行ガ年ノ後半ニ偏スルコトニナ
リマシテ、丁度冬ノ日ノ短イ寒イ能率ノ擧ラナイトキニ仕事ヲスルト云フ順序ニナリマシテ、比較的豫算ノ
實行ガ十分ノ效果ヲ擧ゲルノニ適シナイト云フ點ガ一つノ短所ト考ヘラレルデアリマス、ソレカラモウ
一つハ是ハ議會デモ話ソアリマシテ解散ノ場合、解散ハ大抵議會開會ノ初頭ニ行ハレマスル關係上、從來
ノ例カラ申シマシテモ二月ノ二十日前後ニ總選舉ヲスルコトニナツテハ降雪期ニ選舉ヲスル危險ガ多ク、
其爲ニ選舉運動ニ不自由ヲ感ズル短所ガアルト考ヘラレルデアリマス。

此會期短イテ救ヒ若ク之ヲ補フ爲ニハ四ツノ事項ガ考ヘラレルヌデアリマス、第一ノ方法ト致シマシテハ會期其レ自身ヲ延長スルコトデアリマス、即チ三箇月ノ會期ヲ憲法ヲ改正シテ延長スルコトガ考ヘラレルヌデアリマス、又ハ憲法ハ其儘ニシテ置イテ、毎會會期延長ノ勅命ヲ奏請スルト云フコトガ考ヘラレルハデアリマス、第二ニ會期其レ自身ハ延長シナクテモ、會期中ニ於ケル休會日數ヲ減少スルコトニ依ツテ實質上會議日數ヲ増スト云フ方法ガ考ヘラレルデアリマス、ソレカラ第三ニ同一事項ニ關スル質問ノ重複ヲ省ク等ノ方法ニ依ツテ會期並ニ會議日數ヲ増加セズシテ、會期ヲ延長シタルト同様ノ效果ヲ收ムルノ方法ガ考ヘラレルデアリマス、第四ニ臨時議會ヲ召集シ又ハ繼續委員ヲ設ケルト云フ方法ガ考ヘラレマス、右述バマシタ四ツノ方法ノ中デ、第一ノ方法、三箇月下云フ會期其レ自身ヲ延長スル方法ノ中デ、憲法ヲ改正スル必要ノアルモノハ是ニ考ノ外ニ置イテ宜シイカト思ヒマス、ソレカラ毎回必ズ會期ヲ延長ヲ奏請スル下云フコトモ、憲法四十二條ガ會期ノ延長ヲ例外的ニ認メテ居リマスル趣旨ニ反スル嫌ヒガアリマス、又勅命ヲ豫斷スルト云フ非難モ免レナイト思フノデアリマス、愈々必要ガ起ツテ會期ヲ延長スルコトハ宜シイノデアリマス、又必要アルベキコトヲ初カテ豫想シテ、而シテ勅命ヲ豫斷スルコトハ如何デアラウカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第三ノ議事ノ方法ヲ改善スルト云フコト、第四ノ臨時議會若クハ繼續委員ノ案ヲ付キテハ、是ハ何レ別ニ御研究ニナルモノデアラウト思ヒマス、此處デハ主トシテ第二ノ會期其レ自身ハ變更シナクテ會議日數ヲ増加スルト云フ方法ヲ問題トシテ考ヘテ見ダシデアリマス、問

會議ノ日數ヲ増加スル方法ハ、現在十二月末ニ召集シテ三月ノ末ニ至ルト云フヤカテ休會ノ期間ヲ短縮スルト云フ方法トシテカキ召集ノ時期ヲ變更致シマシテ、自然的ニ休會ノ日數ヲ減ズル方法トシテ通考ヘラレルデアリマス、
 此第一ノ現在ノ十二月末召集ト云フヤカテ其儘ニシテ置イテ、休會期間ヲ短縮スル方法ヲ致シマシテハ、毎年二月二十日マデ休會スルノ例ヘバ一月ノ十日マデトシテ、之ニ依ツテ十日間位ハ短縮スルコト出カズ、從來ノ例ハナイカテ、此場合ニ於キマシテハ別ニ會計年度等ヲ改メ、必要モアリマス、實行ハ比較的容易ナノデアリマスガ、ソレニ依ツテ拈出シ得ル日數ハ先ヅ十日ガ最高限デハナイカト思ヒ、ソレノデアリマス、從來ノ實例ヲ調べテ見マスルト、二月七日ニ再開シタ例ガ一番早イヤウデアリマス、ソレガ八日ナリ十五日ニナリ、遂ニ現在ノ二十一日ニ再開スルト云フコトニ段々カツテ來タヤウデアリマス、之ニ關スル調ガアリマスカラ後程差上ゲマス、
 其次ニ召集ノ時期ヲ變更シ、從ツテ會議ノ時期ヲ他ニ移スコトニ依ツテ休會日數ヲ減ズル方法ト致シマシテハ、色々考ヘ考ヘラレマスガ、或ハ九月ノ中旬カラ十二月ノ中旬迄トスル案モアリマス、又一月止旬末又四月上旬迄トスル案モアリマス、又十一月下旬カラ二月下旬迄トスル案モアリマス、又三月下旬カラ六月下旬トスル案、先ヅ此四ツノ案ヲ考ヘテ、各ノ場合ヲ検討シテ見タシデアリマス、
 此九月ニ召集スル案ハ、九月月中旬ニ召集シテ十二月ノ中旬迄議會ヲ開ク案ニ付テ考ヘテ見マス、ト

其長所ト致シマシテハ一番好イ時期ニ會議ヲ致シマスルカラシテ會議自體ノ能率ハ十分之ヲ舉ゲルコトガ
出來ルト思フデアリマス、現在デハ丁度寒イ時期デアリマスノデ、或ハ風邪ヲ引カレル人ガアルトカ、日
短クテ十分會議ニ時間ヲ使フコトガ出來ナイト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、九月カラ十二月
迄下致シマスレバ、氣候モ好シ日モサウ短クナイト云フコトデ、會議自體ノ能率ハ之ヲ舉ゲルコトガ出來ル
ト思フデアリマス、ソレカラ第二ニ休會ノ日數ヲ少クスルコトガ出來ル、現在ノヤウニ十二月ノ末カラ
二月ノ二十日迄二十何日モ休ムト云フヤウナコトヲ無クスルコトガ出來ルノデアリマス、併シ此前ノ總會
ノ時ニモ申シマシタガ、陸軍ノ大演習ガアリマスルト、實際上ハ休マナケレバナラヌコトニナルノデアリ
カト思フデアリマス、先ヅ十日許リノ間ハ陸軍大臣、ソレカラ御警衛ノ關係デ内務大臣ハ會議ニ出席ス
ルコトガ出來ナイコトニナリマス、若シ其際ニ地方行幸等ガアリマスレバ、農林大臣、文部大臣等モ議會
ニ出席スルコトガ出來ナイ、少クモ審議ヲ十分ニスルコトガ出來ナイ日數ガ先ヅ十日許リアリハシナイカ
ト思フデアリマス、ソレカラ毎年デハアリマセヌガ、海軍ノ大演習ガ原則トシテ三年ニ一度アル、此頃
ハ毎年アリマスガ、其際ニ海軍大臣ガ陛下御統監ノ御供ヲシテ艦ニ行カナケレバナラヌ、其間十日許リハ
海軍大臣ガ議會ニ出席スルコトガ出來ナイト云フ場合ガ起リマス、ソレカラモウツ海軍ノ場合デ困ルト
思ヒマス、ハ進級會議、人事ニ關スル會議ヲ十一月ノ末ニ開クコトニナツテ居リマス、是ハ教育年度ノ
關係カリ、ト云フモ十一月末ト云フコトヲ變更スル譯ニ行カナイ、其際ハ鎮守府司令官、艦隊司令官

黨ツテハ海軍大臣ガ出席シテ進級ノ相談ヲスルコトニナツテ居リマス、其三四月ハトウモモ海軍大臣ガ
其席ヲ外ニ行カナイ、自然議會ノ方ニ出席スルコトガ出來ヌコトニナルノデアリカト云フコトヲ海
軍ノ方デハ申シテ居リマス、併シソレニ致シマシテモ現行ノヤリ方ニ比ベテハ議會ノ日數ヲ少クス
ルコトガ出來ルト云フ利益ガアルノデアリマス、ソレカラ假リニ劈頭解放ト云フ場合ヲ想像致シテ、
其場合ニ於ケル總選舉ハ降雪期ヲ避ケルコトガ出來ルト云フ利益ガアルノデアリマス、
之ニ反シテ其短所トシテ考ヘラレルトト申上ゲテ見マスルト、政府ガ行政ヲシヤスノ一番好イ時期ハ
逸スルコトニナルノデアリマス、丁度九月カラ十二月ハ一番仕事ノ能率ノ舉ガル時デアリマスガ、其時期
ヲ會議ノ爲ニ費消シテ、實際ノ行政ニ力ヲ注グコトガ出來ナイト云フコトガアラマス、ソレカラ九月
十二月ト申シマス、ト一般社會モ非常ニ忙シイ時期ニナツテ居ルノデアリマシテ、殊ニ議會解放ノ場合ノ
總選舉丁度農繁期ニ當ルト云フ缺點ガ考ヘラレルトデアリマス、ソレカラ解散ノ場合ガナシニ任期満了
ノ場合ノ總選舉ガ正月頃ニナリマシテ、選舉取締ノ上ニ於テ非常ニ困難ヲ生ズルコトニナルト考ヘラレ
ルノデアリマス、ソレカラ現行會計年度ニ變更ヲ加ヘナケレバナラナイコトニナリマシテ、從ツテ各種ノ制度
ヲ變更スルノ必要ヲ生ズルノデアリマス、少クトモ其移リ變リノ際ニハ非常ナル混雜ヲ來ヌコトヲ覺悟
シテ居ルナラヌノデアリマス、此會計年度ノ變更ノ問題ハ、此會期變更ノ問題トハ別問題ガハカリマス
ト云フモ、非常ニ密接ノ關係ヲ持ツテ居リマス、トハ此前ノ總會ノ際申上ゲタ通りガアリマシテ、此多

年慣熟シ來ツタ四月カラ三月ニ至ル會計年度ヲ變更スルト云フコトニ付キヤシテハ政府ノ方デハドウ
シテモ會計年度ヲ變更シナケレバナラナイトスルナラバ曆年ニ依ルノ外ナイダラウト云以點ハ申上ダ
通りデアリマスガ併ナガラ會計年度ヲ變更シテマデ會期ヲ九月カラ十二月迄ニ變ヘル必要ガアルカ
イカト云フコトニ付テハ更ニ大ニ檢討スル必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス。譬ヘテ申シ
ト陸軍デ會計年度ヲ曆年ニ致スコトニナラヌトハ徵兵年度ト會計年度ガ別ノ年度ニナルノデアリマス
陸軍ハ教育年度ノ關係カラ致シマシテ現在ハ三月ニ入營サセテ居ルハサウスルト今年度徵兵ヨスル際
ハ二月ダ豫算ハ決マツテ居ナイ。從ツテ年々同ジ兵ヲ徵募スルナラバ差支アリマセズガ假令千人決リ
千人ナリ此次カラ數ヲ殖シタイト云フトキニハ今年徵兵検査ヲスルトキニハマダ増員ノ豫算ガ出テ居
テセズハ増員ノ豫算ガ取レタトキニハ既ニ徵兵検査ガ済ンデ居ルト云フヤウナコトガアリマシテハ其
徵兵ノ上カラ曆年ノ會計年度ハ非常ニ困ルト云フヤウナコトヲ申シテ居ルノデアリマス。兎角數中價
熟シ來ツタ現在ノ會計年度ハアラユル制度ガソレニ適應シテ參ツテ居リマス。此四月カラ三月迄ト云フ
會計年度ヲ變ヘルト云フコトニ付テハ自然ソコニ各方面ニ支障ヲ來ス虞ガアルノデハ不リ。此點キ付
テハ更ニ能ク御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。少クモ其移リ變ルノ際ニ於テ非常ナ混雜ヲ生ズル
云フコトヲ覺悟シナケレバカラヌノデアリマス。是ハ日本ノ參考ニナルカ。ナラヌカハ存シテセズガ
蘭西デハ千九百二十九年ニ會計年度ヲ一度變ヘタリデアリマス。ドウモ變ヘテ見テ旨ク行カナイト云フ

實施後僅カ二年ニシテ千九百三十二年ニ再ビ舊ノ會計年度ニ復スルノ已ムナキニ至リタデアリ
ス。其間變ヘルコトニ因ツテ非常ニ混雜ヲ來シ、而シテ又戻スコトニ因ツテ非常ナ混雜ヲ生ジタ云々
ウ大失敗ノ實例モズルノデアリマシテ、會計年度ノ變更ト云フコトニ付テハ慎重ニ十分ニ檢討スル必要ガ
然ル所思ス。然レテソレカラ議會ガ九月カラ十二月ト云フコトニナリマス。政府ノ方デ其議會
ヲ準備シ爲シテ最モ非能率的ナレバ七月八月ノ之ニ充テケレバナラナイト云フコトニナリマス。注
計局ハ法制局等ニ於キマシテハ、議會ノ開カレマス前ニ三箇月ト云フモノハ、現在デモ非常ニ忙シイ。徵
稅ヲスルコトモ少クナイト云フヤウナ狀況デアルノデアリマス。若シ之ヲ七月八月ノ候ニヤラオケレ
バ其ノイト云フコトニナリマス。餘程其能率ニ影響ヲ來ス虞ガアラウト云フコトヲ考テシテ以テ
云フ。然レカ第三回一月以上旬ニ召集シテ四月ノ上旬迄ナルコトニシテ如何デアリカト云フコトヲ考
テ見テシテアリマス。是ハ會期中ニ休會日數ガ一番少イ方法デアリマシテ、比較的閑散ノ時期ヲ會議
トトガ出來ル。ソレカラ任期終了ノ時ニ選舉ガ適當ノ時期トナルト云フコトガ考ヘラレマス。
之ニ反シテ其短所ト致シマシテハ、會計年度ノ繰下ヲ行フ必要ガアル爲ニ、矢張之ニ件ヲ諸制度ヲ變更
行ハカケレバナラヌ。ソレカラ豫算ハ成立ガ繰下ゲラレル結果トシテ、現行制度以上ニ豫算ノ實行ヲ非效
果的ナラシムルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス。ソレカラ現行制度ト同ジク解散ノ場合ニ於テ選

幕の矢張降雪期ニ行ハナケレバナラヌト云フモアリマス、ソレカラ過渡期ニ於キマシテ憲法第四十一
 條ノ每年通常議會ヲ召集スルト云フ規定ニ違反スル場合ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス。
 ソレカラ第三ト致シマシテ、十一月下旬ニ議會ヲ召集シテ二月下旬迄議會ヲ開クト云フコトニシタラ、ト
 ウデアルカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマス。
 其長所ト致シマシテハ、會計年度ヲ現行ノ儘ニ据置イテ出來ルト云フコトハ、ソレカラ豫算實行ヲ一月繰
 上ゲルコトガ出來マスカラシテ、現行制度ニ於ケル之ニ關スル缺點ヲ除クコトガ出來ルハソレカラ會期ノ
 延長ヲ致シマシタ場合ニモ豫算上ニ支障ガナイト云フ利益ガアルノデアリマス、現在ノヤリ方デハ、會期
 ノ延長ヲ年度ヲ越サズニキル爲メハ精々一週間シカ出來ナイノデアリマスガ、十一月召集シテ二月下旬迄
 開クト云フコトニナリマス下、會期延長ヲ爲シ得ル餘裕ガ相當ニ在ルト云フコトデアリマス、ソレカラ解
 散ニ因ル總選舉ハ現在ヨリモ好イ時期ニ之ヲ行フコトガ出來ルト云フコトデアリマス。
 ソレカラ短所ト致シマシテハ、會期中ニ年末年始ヲ含ム點ニ於テハ現行制度ト同様デアリマシテ、從ツテ實
 際開會スル期日ハ現行制度ト大差ナイノデアリカト云フコトハ、ソレカラ年末年始ニ當ツテ總選舉ヲ行ハ
 ナケレバナラヌト云フ虞ガ多イ、十二月下旬ニ開キ劈頭解散ト云フコトニナリマス、年末ニ選舉ヲ行ハ
 ナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ二月下旬ニ議會ヲ終ツテ居リマス、ト、年度末ニ
 財政上ノ緊急處分ヲ爲スヲ要スル場合ガ起リハシナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、現在ニ於テハ五月

末迄議會ガアリマスカラ年度末ニ起リマシタル事柄ハ、直ニ追加豫算ヲ提出シテ始末ガ出來ルノデアリ
 マスガ、議會ガ三月下旬迄終ツテシマセマス、ト、年度末ニ於テ財政上ノ緊急處分ヲ爲スル必要ガ起リシナ
 イカト云フ虞ガアルノデアリマス。
 ソレカラ第四ニ、三月下旬ニ召集シテ六月下旬、若クハ四月ノ初ニ召集シテ六月一杯ト云フ案ヲ考ヘテ見
 タリマス。
 是ハ長所トシテハ會期ガ氣候ノ好イ時節ニ當ルト云フコトハ、ソレカラ會期中ニ休會日數ガ少イト云フ點デ
 アリマス。
 ソレカラ短所ト致シマシテハ會計年度ヲ變更シナケレバナラヌ、而モソレハ七月カ多量年ノ六月迄ノ會計
 年度ニシナケレバナラヌノデアリマシテ、此點ハ最も不適當ノ年度ニナルソデハナイカト考ヘラレマス、
 ソレカラ解散ニ因ル總選舉ガ丁度五月六月ノ農繁期ニ當ルト云フコトデアリマス、ソレカラ任期終了ノ場
 合ニ於ケル選舉モ丁度七月八月頃ニナリマシテ、百姓ガ水田ノ手入レヲシナケレバナラヌ時ニ當ルト云フ
 短所デアリマス、ソレカラ又方法ニ依リマス、ト、其移リ變リノ時期ニ於キマシテ、憲法第四十一條ノ每
 年通常議會ヲ召集スルト云フ規定ニ違反スル虞ガアルト云フコトデアリマス。
 此ノ如ク色々ノ場合ニ付キマシテ善所ト惡所ト比較シテ考ヘマシタ結果、幹事會デハ第一ノ方法ガ、
 會期ハ現在ノ儘ニシテ一月ノ休會ヲモウ少シ短クスル方法ガ宜イノデアリカ、又十一月召集シテ而シ

十一月の休會ハ矢張二月十日頃ヲ以テ打切ルト云フヤリ方如何ナルモノデアラウカト而シテ已ムコト
シバ九月ニ召集シテ十二月迄議會ヲ開クト云フ方法ガ考ヘラレルノデハナカレト云フヤウニ話合ヒテ致シ
タノデアリマス。

大體幹事會ノ話合ヒマシタ所ヲ申上ゲマズレバ右ノ通りデアリマシテハ是ハ一通リ書イタモノガデアリマス
カラ皆サンニ差上ゲルコトニ致シマス。

○黒田委員 一付伺ヒマスガ、此會期延長ノコトニ付キマシテハ是ハ會期ノ延長サレルトキニハ必ず
其直前ニ特別ノ問題ニ付テ、ドウシテモ議了スルコトガ出來ナイコトニナツテハ會期ガ三日トカ三日トカ
云フコトデ延長サレルコトガ普通デアラウト思ヒマスガ、サウデナクシテハ、スツト以前ニ會期半バニ於
テハ一般的ニ見テドウモ殘ス會期デハ到底議了スルコトガ出來ナイ、而シテ重大ノ議案ガ澤山アル、故ニ

大體ニ於テドウシテモ是デハイケナイカラ十日間トカ一週間トカ會期ヲ延長スルト云フヤウナコトヲサ
シタ例ハアリマセセウカ、憲法上サウ云フコトハ差支ナイコトデヤナイカト思ヒマスガ、是マデノ例
ハ如何デスカ、又法制上差支ナイコトヲト思ヒマスガ如何デスカ。

○次田委員 法制上ハ今御話ノ御趣旨デアレバ差支ナイデハナイカト思ヒマスガ、實際ノ實例ハ私ノ承知
シテ居リマスル所デアリマセセウカ、矢張會期ノ終ニナリマシテ其政體上ノ實際ノ狀況ヲ見渡ル延長ハナ
ル例上思ヒマス、尙念ツ爲ニ調ベマシテ若シ間違フ所居リマシタ後申上ゲマス。

○黒田委員 法制上以前以テ一般的ニ見テハ十日間トカ十五日間トカ三十日間トカ延長
スル例云々コトヲサカシテモ差支ナイデハナイデセウカ。

○次田委員 ソレハ宜シク思ヒマス、唯然シ議會ガ始マレ前カラ其事ヲ豫測シテ、實際ノ制度ノヤウニ
延長スルト云フコト如何ナリモソレト思フノデアリマス、兎ニ角憲法ノ規定ハ會期ノ延長ヲスルコトハ
例外的ニ規定シテアリマス、ソレノ原則ニテハ憲法上如何カト思フノデアリマス、憲法ハ
條文ハ必要アルトキハト書イテ置キマシテ必要ナルレバ何時デモヤレルヤウニ見エルクガ、然レ
ガ憲法義解等ヲ見マスルト、已テ得ザル場合ニ限ル規定デアルト云フ風ニ承知サレルノデアリマス、
ドウシテモ例外的ノモノト思ハナケレバナラス、今御話ノ如キ場合ハソレニ當ルカモ知レマセウカ、是ハ
例外的ト云フ天宜シイカト思ヒマス、會ノ始マレ前カラ豫測シテ延長スルコトハドウカト思フノデアリマ
ス。

○黒田委員 サウシマスト是マデノ議會ハ有様ヲ見マシテモ、或ハ二週間トカ三週間トカハ會期ノ終リマ
ス前ニ到底一般的ニ見テ貴族院ガ十分ニ議了スルコトガ出來ナイト云フコトガ明カデ、一般的ニ十日間ト
カ十五日間トカ延長スル必要ガズレト云フコトハ、モウ其時ニ見通シメ付ク場合ガ幾ラモアツタト思ヒマ
ス、是ヤデ政府ガサウ云フ一般の會期ノ延長ト云フコトヲ行ハナカッタコトガ適當デアツタカト云フコト
ト云フコトガ疑ヒレバ尤モ思ヒマス、是カラ先カ之ヲ行ハサルト云フコトニナレバ、會期

ノ短カ過ギルト云フコトハ餘程緩和スルコトガ出来ハシナイカ、云フ風ニ考ヘラレマス、サウシヤスト今
 ノ會期ヲ少し前ニズラシテ早ク開會シテ、サウシテ九十日ガ終ツテカラ、半月トカ一箇月トカ、會計年度
 迄ノ餘裕ヲ取ツテ置ケバ、サウシテ一般的ノ會期延長ト云フコトヲサレ、バ、目的ヲ達スルコトニ非常ニ
 有效ダハナイカ、云フ方法モアラウト思フノデアリマス、只今御話ノ十一月ニ開會スルト云フコトハ、
 立派ノ趣意ヲ含シテ居ルコトカト思ヒマス、サウ云フコトモ含シテ居ルガゴザイマセウカ、
 ○次田委員 十一月ニ開會スルト云フ場合ニハ、必要ナレバ會期ヲ相當長イ期間延長スルコトガ出来ル、
 云フコトヲ考ノ中ニ入レテ居ル譯デアリヤ、唯如何ナル場合ニ必要ナルカト云フコトハ大ニマス、
 其時ノ政府ノ決メル問題デアリマスカラ、

○黒田委員 併シ是マデノヤウニ會期延長ヲ考ヘテ、モウ間際ニナツテ延長スルト云フコトハ、非常ニ政
 府ノ不手際ノ事デアリマスカラ、出来ルダケ之ヲ避ケルヤウナコトニナルガラウト思ヒマス、併シ一週間
 前カ二週間トカ三週間トカノ前ニ、トウシテモ一般的ニ是デハ出来ナイ、又重要法案ヲウシテモ通常大
 ケレバナラヌト云フ確信ノ下ニ政府ガヤルト云フコトナラバ少しモ差支ガナイヤウニ思ヒマス、サウ云フ
 コトガ行ハレタラ大體都合好クナイカト思ヒマス、ドンナモメデアリマセウカ、

○次田委員 ニソレハ御話ノ通りデアリマス。
 ○山崎委員 法制局長官與伺ヒマスガ此會計年度ノ關係ヲ、現在イ四月開始ト云フコトハ、曆年制ニ

改メルト云フコトハ、ソレヲ單ニ會計年度ト云フ立場カラ見テノ利弊ハドンナモノデスカ。
 ○次田委員 他ノ事ヲスキニシテ唯會計年度ケニ付テ考ヘテ見マスルト、政府部内デモ色々議論ハアル
 ノデアリマス、仕事ヲシテ居ル官廳、例ハ鐵道デアル下カ、逓信省ノ電信電話ノ工事トカ、サウ云フ方
 面デハ曆年制ヲ以テ舊イ間ニ設計ヲシ計畫ヲシテ、ソレカラ日ノ長イトキハ、キツチリ仕事ヲスル、斯ク
 云ク點ニ於テ曆年制ノ方が宜イノチヤオカト云フ説モアルノデス、例シ併シバ同様ノ會計年度ヲ地方
 團體ノ會計ニ付テヤルトシテ、ソレナラバ地方團體トシテ曆年制ニスレバ此工費ヲズツト減ズルコトガ出
 來ルカ、云フヤウナコトニ付テ調査ヲシテ見ルト、必ズシモ出來ルトハ言ハナイノデアリマス、間接的ニ
 ウト云フ風ニ申シマス、大藏次官モ參ツテ居リマスガ、大差ナインジヤナイカ、強クテ考ヘレバ今ノ工事
 施行ノ上ニ於テ曆年制ガ宜イト云フ程度デアリマス、地方長官ノ方ハ却テ冬仕事ヲスル方が宜イ、ト云ス
 メハ他ノ農繁期ニ仕事ヲスルト人夫が出テ來ナイ、土木工事ナドハ農繁期ニスルト人夫が出テ來ナイ、其
 點カラ云ヘバ現行ノ方が宜イチヤオカ、サウ云フコトヲ言フ人モアルノデアリマス、尙大藏次官カ如何
 カ御話ガアリヤスレバ、
 ○川越委員 只今法制局長官ノ言ハレタコトヲ大體盡キテ居ルト思ヒマス、私モ其點ニ付テ色々研究
 タシデアリマスガ、要スルニ日本ハ南北ニ非常ニ細長イ國デアリマスカラ、東京以北、北海道トカ東北又
 大連ガ内國ニセルト今ノ制度ハ因ルカラ曆年制ニシテ方が宜イト云フ議論ガ強イノデアリマスガ、併シガ

ラ九州中國アタリノ人達言ハセルト、合法制局長官ノ言ハレタヤウニシレ、現在ノ方ガ宜イ、是ハ氣候
其他ノ關係カラ來ルソデアツテ、ハトテラガ正シイト云フコトハナイダラウト思ヒマス、立場々々ニ依ツテ
便利主義ヲシテ居ルソデアリマスカラ、全體ノ上カラ御判斷ヲ願ハナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、議
論ニシテハ今ノ御話ノ通りニ通りアリマス。

御參考迄ニ申上ゲマスガ、滿洲國政府デハ最初建國當時、七月一日カラ六月三十日ト云フ會計年度ヲ採用
シタソデアリ、斯ガ二三三年ヤツテ居ル中ニ、滿洲國ハ日本ト異ツテ氣候ノ寒ノ所デアリ、ハスカラ、冬其
殆ト戸外ノ工事ヲ云々モ、ハ出來テ居ラズデアリマス、ハサウ云フ事情デ、日本デ言ヒヤシタラ北海道東北ノ人
達ノ議論ガ強イメデ、到頭ニ切ラサオト云フソデア、昨年會計年度ヲ變更シテ、曆年制ニ直シタソデアリ、
ス、其理由ハ先程カラ再々御話ニシタヤウニ、今ノ七月カラ六月ト云フ年度ニナリマス、滿洲國デ
ハ氣候ノ一番好イ仕事ノ出來ル期間ヲ潰シテ、冬ニナツテ新シク仕事ヲ始メル、是デハ到底仕事
ガ出來ナド云フソデア、會計年度ヲ曆年制ニ直シタソデアリマス、日本ハ滿洲國程氣候ハ惡クアリ、
又、日本ハ極部キハ滿洲ト同ジ状態、又一部ニハ先程申シタヤウニ、逆ノ方面モアリマス、ハ必ズシ
モ滿洲ノ真似ヲスル必要ハナク思ヒマス、是ハ御參考迄ニ申上ゲ置キマス、
色々點點考ヘ見ヤシテ、大體若シ白紙ヲ制度ヲ立テル、ハ新シク國ガ出來ル云フトオカシク、
スガ、新シク會計年度ヲ決ルルハ、云フコトハ、五月一日カラ、五月三十一日迄トスル、云フコトハ、相當

考慮サルベキ問題デハナイカト思ヒマスガ、先程カラ法制局長官カラ御話ガアリマシタヤウニ、日本ノ會
計年度ト云テモ、ハ三十年來ノ歴史ヲ持ツテ居ルソデアリマシテ、諸種ノ制度ト云フモノハ之ヲ基礎トシ
テ出來テ居リ、地方團體、陸海軍或ハ先程御話ノアリマシタ徵兵年度等モ之ニ合フヤウニ出來テ居ルソデ
アリマス、此現行會計年度ト云フモノヲ基礎トシタ諸種ノ社會制度ガ出來テ居ルモノヲソレヲ打破ツテ、
デモ、少クモ過渡期ニハ色々ノ混亂ガ起リマスガ、其混亂ヲ打破ツテ迄モ尙且曆年制ヲ採ラナケレバナラ
ヌト云フ痛切ナ必要ガアルカド云フコトハ、私ハ疑問タラウト思ヒマス、マア現行制度ガ行ケルナラバ、
ロ其方ガ色々ナ「フリクシヨ」ヲ起サナイデ宜イト思ヒマスガ、併シ他ノ議會ノ方ノ理由デ、今ノ會期デ
ハドウシテモ足ラヌ、變更シナケレバナラヌト云フコトニナリマシタラ、會計年度ヲ繰上ゲルト云フコト
ハ絕對ニ不可能ノ事デハナカラウト思ヒマス、西野サンモ能ク御承知ノコトデアラウト思ヒマスガ、從
來會計年度ノ變更ト云フコトニ付キマシテハ、大藏省デモ度々問題ニナツタコトガアリマス、會計法改正
ノトキニハ始終此問題ガ起ルソデアリマスガ、日本ノ明治政府以來ノ沿革ヲ調べテ見マスルト、或ル時期
ニハ六月カラ七月ト云フ年度ヲ採ツタトキモアルヤウデアリマス、又或ル時期ニハ曆年制ノ時モアツタヤ
ウデアリマス、明治初年ノ會計年度ハ始終往ツタリ來タリシテ不安定ノ状態ニ在ツタソデアリマスガ、少
クトモ議會制度ノ始ツテカラ、四月カラ三月迄ノ既定ノ制度ト云フモノハ動カナイ、ソレハ矢張相當ノ
理由ガアリマス、此現行制度ガ一番便利ダ、色々ヤツテ見タガ結局今ノ制度ニ落付イタト云フコト

が無言の間ニ有力ナ原因ニナツテ居ルノデハナイカト察セラレルノデアリマス、從來私共ガ關係スルヤウニナリマシテカラ、年度ノ關係モ色々考慮シマシタガ、其當時ノ議論ハ會計年度ヲ變更シヤウトスルト、初年度ノ歳入ト歳出トピッタリ合ハナイ、サウスルト其處ニ缺陷ガ生ズルノデ、ドウシテモ之ヲ巧クヤル方法ガナイ、ソコデ會計年度ノ變更ハイカヌト云フコトデ從來反對シテ來タノデアリマスガ、今日ノ日本ノ財政ハ、御承知ノ通り租税ト云フモノハホンノ一部分デアツテ、寧ろ赤字財政デ公債ノ募集ガ主デ、公債ノ募集ニモ色々時期ガアルデアリマセウガ、今日ノヤウニ赤字公債デ歳入歳出ノ「バランス」ヲ取ツテ居ル時代デアルト、先程申上ゲマシタ會計年度ノ變更ニ因ツテ財源ノ缺陷ヲ生ズルト云フコトハ、ドウシテモウニカ、ヤリクリガ付クノデヤナイカト云フ風ニ考ヘラレマスノデ、何カ議會制度ノ問題デ、ドウシテモ會計年度ヲ變更シナケレバナラヌト云フヤウナコトガアリマシタラ、寧ろ之ニ伴ウテ年度ヲ變更シテモ、色々面倒ナ事モ起リマセウケレドモ、不可能ノ事デハナイダラウ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマス、是ハ會計年度ノ變更ソレ自身ガ目的デハナイノデ、他ノ理由ニ依ツテ議會ノ會期變更ト云フコトヲ、ドウシテモヤラナケレバナラヌト云フナラバ、已ムヲ得ズ會計年度モ附イテ行カウ、今迄ハ會計年度ヲ變ヘルト云フコトハ財政上ドウシテモイカヌト云フ風ニ強ク反對シテ來タノデアリマスガ、今ノ所デハ財源ノ上カラ強ク反對スルニハ及ブマイ、斯ウ云フ風ナ考ニナツテ來タノデアリマス。

年度變更ニ伴フ諸種ノ困難、殊ニ先刻佛蘭西ノ話ガ出マシタガ、會計年度ヲ變更シテ二箇年ヤツテ又元

戻ツタ、非常ニ笑話ニナツテ居ルノデアリマスガ、其理由ヲ色々研究シテ見マスルト、要スルニ長イ間ヤツテ來タ會計年度ト云フモノハ、之ニ伴ウテ諸種ノ社會制度ガ起ツテ居ル、是等ノモノヲスツカリ直シテ、十分調整シ付イタ所デ年度變更ヲヤラナイデ、會計年度ノ變更ダケヲ突然ヤツテ、之ニ伴フ諸種ノ不便ヲ考慮シナカツタ爲ニア、云フ失敗ヲ起シタヤウニ私ハ思フノデアリマス、サウ云フ關係モアリマスノデ、大藏省ノ考ト致シマシテハ、先ヅ現行通りニ据エテ頂ケレバ結構ダト思ヒマス、ドウシテモ變更スルト云フコトデアレバ、七月カラ六月ト云フコトハ面白クナイカラ曆年制ガ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス。

○山崎委員 是ハ大シタ問題デアアサマセヌガ、租税ノ納期ノ關係、ソレハ會計年度ヲ假ニ現在ノ納期ニ不適當ナモノガアルトシテモ、其改正ハ會計年度ヲ變更シオクテモ、今ノヤウナ赤字財政カラ出來ルト思ヒマスガ、曆年制トナレバ假ニサウ云フヤウナ不便ナモノガアツテモ、ソレヲ改メルトニ都合ガ好イト云フヤウナ關係ハアリマセヌカ。

○川越委員 ソレハ納期ノ問題、納期自身ヲ重大トハ考ヘマセヌガ、會計年度ト合セマス爲ニ法規ヲ變更スルト云フコトハ非常ナ無理ガ出來マス、假ニ曆年ニ改正致シマシテ、四月一日ヲ一月一日ニ致シマシテ、大體ニ於テ納期ヲ之ニ合ラヤウニ變ヘテシマヒマス、或ル年度ニハ二箇年分ノ税金ヲ拂ハナケレバナラヌヤウナコトニナル、是ハ非常ニ面白クアリマセヌカラ、納期ノ問題トシマシテハ、假令會計年度ヲ變更

シマシテモ、餘り大キナ變更ハ出來ナイノダラウト思ヒマス、會計年度ヲ變更シテソレニ適合シタ納期ニ變ヘレバ、先程申シマシタヤウニ財源ノ不足ト云フコトガ起ル譯デアリマスカラ、是ハ事實上出來ヤセエカラ、納期ハ納期トシテ据置イテ、會計年度ダケヲ變更スルト云フ大體ノ考方ニナルノデハナイカト思ヒマス、大體ノ傾向カラ行キマスと租税ノ納期ハ段々下グラレテ來テ居ルノデアリマス、ソレヲ一舉ニシテ繰上グルト云フコトニナリマス、非常ナ負擔ノ關係ガアリマスノデ、或ル種ノ特定ノ税ニ付キマシテハ、サウ云フコトヲ考ヘル餘地モアルカト思ヒマスガ、大體論トシテ納期ニハ手ヲ著ケナイ方ガ宜イノデハナイカ、又租税ノ改正ヲヤルトキニ、其方ノ意味デ納期ヲ繰上グルト云フコトガアルカモ知レマセエガ、會計年度ニ伴フ爲ニ納期ヲ改正スルト云フコトハ如何ナモノカト思ヒマス。

○山崎委員 私ノ伺ヒタイノハサウ云フ意味デハナカッタノデス、租税ノ納期ト云フコトヲ基準ニ考ヘルト云フコトハ御話ノ通りデアリマスガ、サウ云フ見地カラ考ヘテ今日ノ租税ノ納期ガ假ニ不適當ノモノデアルトシテ、ソレヲ改メルガ爲ニハ現在ノ會計年度ヨリモ曆年制ニナツタ方が、改メルノニ便利デアルト云フヤウナ關係ハアリマセエカ、サウ云フ點ノ御尋デス。

○川越委員 ソレハ深ク研究シタコトハアリマセエガ、大體考ヘタ所デハドチラデモ大シタコトハナイト思ヒマス、納期ヲ變ヘル必要ガアルトシタラ、現行制度デモ變ヘラレルト思ヒマス、納期ヲ變ヘルト云フコトハ直接關係ハナイト思ヒマス、御參考迄ニ申上ゲマスルガ、納期ノ定メノアル租税收入ト云フモノハ割合

ニ少イ、此頃ノ歳入デ行キマス、納期ノ定メナイ隨時收入ト云ヒマスカ、其方ガ寧ロ多イ、納期ノ定メタル租税收入ト云フモノハ割合ニ少イヤウデアリマス、是ハ年ニ依ツテ違ヒマセウガ、大體サウ云フ風ハカツテ居リマス。

○齋藤委員 會計年度ヲ變更スルト云フト教育ノ年度モ變更スルコトニナリマスカ、現在學校ノ教育年度ハ會計年度デ行ツテ居ルヤウデアリマスガ、若シ會計年度ヲ曆年制ニ變更スルト、學校ノ方モソレニ伴フテ變更スルヤウニナリマスカ。

○次田委員 ソレハ必シモサウデハナイノデアリマス、會計年度ヲ曆年制ニシテモ教育年度ハ四月カ多ク月ニ据置ク、會計年度ヲ變ヘタカラ教育年度モ變ヘナケレバナラヌト云フ結論ニハナラヌト思ヒマス、○齋藤委員 併シ今ノ教育年度ハヤハリ會計年度ガ元ニナツテア、云フコトニナツタノデアリマス、カ、會計年度トハ空ク没交渉ニア、云フコトニナツタノデスカ。

○次田委員 ソレハ學級ノ増減ヲシマスル時ニハ豫算ヲ殖ヤサナケレバナリマセエ、豫算ヲ殖ヤシマスル時ニハ途中カラ殖ヤス方法モアリマスガ、大體年度ノ初カラ殖ヤスト云フコトニナリマス。

○田口委員 今丁度議題ニナツテ居リマス議會開會期變更ノ問題ニ付テ御審議ニナツテ居ル際、根本ノ問題ニナリマスカラドウカト思ヒマスケレドモ、ヤハリ之ニ密接ナ關係ガアリヤスカラ一寸御話ヲ申止ラテ委員諸君ノ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私議會振肅委員會ノ方ニ出席致シテ居リマシテ此處ニ

居ラレル濱田サン、山崎サン、ソレカラ齋藤サンモ振肅委員會ノ委員デアラレマスカラ能ク御承知ノコトデアリマスガ、私ハ他ノ方ト違ツテ初カラズト繼續シテ出テ居リマシタ關係上、私カラ御話スル方ガ好イカド思ヒマスカラ一寸申上ゲマス、實ハ會期延長ノ問題ハ振肅委員會最近議會ノ事務ガ非常ニ多クナリ、到底今日ノ會期デハ十分ノ審議ガ出來ナイ、ソレドウシタラ好イカ、議院法以下ノ問題デアレバ會期三箇月ヲ四箇月ハ五箇月ニ出來ルデアラウケレドモ、憲法ニ明ニ規定シテ居ル以上、憲法ヲ改正シナケレバ會期ノ延長ハ出來ナイ、而モ憲法ノ改正ト云フコトハ重大ナ問題デモアリ、殊ニ今日輕々シクサウ云フコトラスルコトハ宜シクナイ、勅令ニ依ツテ延長ハ出來ルケレドモサウ云フコトヲ望メナイキウナ状態デアルカラ、何カ其以外ニ良イ方法ガアルナラバト云フヤウナコトデ色々話ガアツタノデアリマスケレドモ、ドウモ是ト云フ名案モナイ、殊ニ豫算ノ如キ、二十一日ノ審査期間デハ到底今日ノ此龐大ガ豫算ヲ十分ニ審査スルコトハ出來ナイ、更ニ五日間ノ延期ハ出來マスケレドモ、ソレニシタ所デ二十六日間デアル、ソレデハ到底十分ニ審議ハ出來ナイカラ何トカシテモウ少シ延バス、少クモ二十一日ヲ十日間位延バシテ二十日位ノ豫算審査期間ニシタイト云フ議論モアツタノデアリマスケレドモ、到底今日ノ會期デハソレモ望メナイ、ドウシタラ好カラウカト云フヤウナコトカラ、議員諸君ガ第一議案ヲ貫ヒマシテモ、議會ニ行ツテ時間ガアツテモ控室ガ不完全デアツテ連モ議案審査ガ出來ナイ、殊ニ、東京ニ定住シテ居ル方ハ各自自宅ニ於テ勉強出來ルカモ知レマセスケレドモ、地方カラ來タ方ハ悉ク一戸ヲ構ヘテ居ルト云フ譯デハナ

シ、宿屋住ヒニシタ所到底十分ニ審議スル場所ガナイ、圖書館ノ如キデモ非常ニ不完全ナモノデアルカラ是モ到底十分ニ調べルト云フ譯ニ行カナイ、ソレデ何カ審議ノ爲ノ事務室ノ如キモノガ必要デハナイカ、サウ云フコトモ御話ガアリマシテ、十分ニ審議サヘ出來テ居レバ議會ノ質疑應答モ割合ニ深入シナクテモ濟ムノデハナイカト云フヤウナコトモ問題ニナツテ、サウ云フコトモ設備シテ貰ヒタイト云フ御希望モアリマシタ、ソレカラ普段カラ議員諸君ガ政治ノ實際ヲ能ク了解出來レバ、隨テ議會ノ質疑等モ少クナツテ、比較的議案ノ審査ガ容易ニナルノデハナイカト云フヤウナコトカラ、常置委員ヲ置イテ一週間ニ一度ナリ、或ハ問題ガ起ツタ度毎ニ政府ノ腹ヲ聽クト云フヤウナコトラスレバ、餘程能ク情勢ガ分ツテ、議會ニ臨ム時ハ既ニ相當腹ガ出來テ居ルカラ非常ニ進行ガ早イノデハナイカト云フヤウナ各種ノ問題ガ集ツテ、今日ノ議會會期ノ不十分ナヲ救ツタラ宜カラウト云フ話デアツテ、今日マデサウ云フ状態デ進ンデ來テ居リマス、所ガ先頃、總選舉ノ場合ニ雪ノ中デ選舉シナケレバナラヌ、斯ウ云フ時ニ選舉ヲスルノハ棄權モ多ク色々不便ガアツテ困ル、是ハ即チ會期ガ一月ニ再開シテ再開劈頭解散ニナルト云フコトカラシテ斯ウ云フコトガ起ルノデアルト云フ議論モアツテ、若シ是ガモウ少シ前ノ方ニ議會ガ開カレルト云フコトニナレバ好イダラウ、サウスレバ議會ヲ召集ガ十月或ハ十一月頃ニアレバ好イノデアナイカト云フコトニナツテ來タコトカラ、更ニ考ヘテ見マシテ年末年始ノ休會二十日ト云フ非常ニ長イ休ガアルカラ、之ヲ取去レバ議會ガ事實上會期延長ヲシタト同一ノ效果ヲ收メルスデハナイカト云フコトカラ、九月カラ十二

月頃マデ議會ヲ開イタラ好イデヤナイカト云フコトニナリ、此議會開會期ノ變更ト云フコトカラ隨テ會計年度ノ變更ガ必要ダト云フコトガ議題ニナツテ來タノデアリマスガ、今日御話ヲ承ツテ見ルト、議會之會期ヲ九月カラ十二月ニ變更スレバ二十日ノ利益ガアルガ、今ノ儘デモ一月十日頃ニ再開スレバ、十日間ノ利益ガアルデハナイカ、ソレデ相當效果ガ暴ルデハナイカト云フコトニナツテ來テ、段々休會ノ十日トカ十五日トカ二十日トカ云フ問題ダケニ捉ハレテ議論ヲスルノデ、吾々振肅委員會デ話ヲ聞イテ居ツテ此處ヘ來マスト、一週間或ハ十日間早クナツタコトデ會期ノ問題ガ總テ解決シテシマツテ是デ宜イデヤナイカト云フノデハ何ダカ物足ラヌヤウナ氣ガスルノデアリマス、吾々ハ二十日デモマルノ使ヘルコトニナレバマダ餘程好イデハナイカト云フ、根本ハ二十日ト云フコトガ起リダツタノデアリマス、所ガ今ニナツテ見ルト十日デモ好イデヤナイカ、一週間デモ利益デヤナイカ、五日デモ利益デヤナイカト云フコトニナツテ、何ダカ五日ダケ或ハ十日ダケ會期ガ事實上延ビル爲ニ會議ガ非常ニ促進出來ル或ハ事務ノ不足ヲ解決出來ルト云フノデハ——元々起リハサウデヤナクシテ、又今議題ニナツテ居リマス議會開會期變更ノ問題ノ如キモ、參考資料トシテ御擧ゲニナツタ五項目ノ一ツトシテ居リマスガ、元來倭サンノ演說ハ斯ウ云フ風ニ一ツツ分制シテ是ダケガ解決サレ、バ宜イト云フノデハナクシテ、是ハ全體トシテノ御話デアラナイカト思フノデアリマス、勿論會期變更、是ハ獨立シ得ルモノカモ知レマセヌガ、ソレハヤハツ常置委員ノ關係モ自ラアツテノ話デアツテ、唯五日トカ一週間トカ云フ問題ヲ假ニ解決シテモ、ソレ

ハ餘リ價值ノナイ問題デハナイカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスシ、今マデ私ガ議會振肅委員會ニ於テ衆議院ノ方ノ狀況ヲ知ツテ居リマス立場カラ一寸御參考マデニ申上ゲテ、此問題解決ノ上ニ其御會ヲ以テ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○山崎委員 法制局長官ニ伺ヒマスガ、此幹事ノ御調下スツタ九月案ノ長所短所、之ヲ御調ニナル時分ニ、日本ノ災害關係——大抵二百十日前後ニ災害ガ多イノデアリマスガ、其災害ノ復舊トカ或ハ之ノ仲ヲ救濟トカ云フ問題ヲ處理スルノニハ今ノ會計年度デハ非常ニ不便ガ多イ、手當ガ非常ニ遅レル、或ハ豫備金デヤルガ爲ニ十分ナ施設モ出來ナイデ非常ナ不便ガアル、ソレガ假ニ九月案ニナレバ丁度議會中ニ災害ノ處置ガ出來ルノデ、其邊ハ非常ニ便宜ガ多クハナイカト云フヤウナ問題ニ付テハ何カ御研究ガアリヤシクデセウカ。

○次田委員 其點ハ別ニ話ニ上リマセヌデラ、唯其コトニ付テ私ノ意見ヲ申上ゲマスガ、現在九月、十月頃ニ災害ガアリマシテ其復舊ニ關スル豫算ヲ通常議會ニ出スノデモ事務ノ方デハ非常ニ忙シイ思フシテ出シテ居ルノデアリマス、ソレガ十二月マデノ議會ニ出サナケレバナラヌト云フコトニナルト、出シ得レバ御話ノ如ク非常ニ好イノデアリマスケレドモ、敢テ不可能トハ申シマセヌガ、十二月マデニスツカリ調ベテ災害豫算ヲ組ミマスト云フコトハ餘程困難デハナイカト思ヒマス、現在デモ災害費ニ付テハ地方廳及ビ事務ノ方デハ轉手古舞ヲシテヤツト問ニ合ハシテ居ル状態デアリマス、十二月マデニ豫算ガ成立シ得レ

パツレハ結構ナコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、ソレガ巧ク行クカドウカト云フコトニ付テハ多少ノ疑ガアルノデハナイカト思ヒマス。

○山崎委員 其點ハモウ少シ實際ヲ御調願ヒタイト思ヒマス、ドウモ私ハサウモ考ヘマセヌ。

○次田委員 畏マリマシタ。

○山崎委員 是ハ決シテ九月案ガ良イトカ何下ガ云フ結論ヲ以テ上ゲルノデハナイノデアリマスガ、此九月案ノ可否ヲ決スル上ニハ今私ノ申上ゲタ點ハ相當考ヘナケレバナラヌ點ダト思フノデス、アナタノ御述ニナツタコトガ果シテ實際ニ合フカドウカ私少シ疑ヲ持チマス。

○次田委員 畏マリマシタ、是ハ從來ノ實例ヲ調べバ大體見當ガ付クト思ヒマスカラ調べマシテ申上ゲヨウト思ヒマス。

○濱田委員 九月案ニ付テニ二伺ヒマスガ、九月案ノ短所(ハ)ノ所ニ議會解散ノ場合ノ總選舉ガ農繁期ニ當ルト書イテアリマス、是ハ劈頭解散ヲ想像シテノ日ノ繰リ方ト思ヒマスガ、九月中旬ノ開會デ劈頭ニ選擧ハ十月頃ニ行ハレル、併シ我國ノ農村ノ實情ニ於テ十月ノ中旬頃ガ全部農繁期ニ相當シマスガ、私ハ全國的ニ見テ十月ノ中旬デハ農繁期トハ言ヘナイト存ジマス、尤モ地方ニ依ツテ早稻、晚種ノ區別ハアリマスガ、十月ノ中旬ガ實際ノ農家ノ繁忙期デアルトハ思ヒマセヌ、モウ少シ遅レルト思ヒマセヌ、是ガ一問、第二問ハ其次ノ(ニ)ノ「恐ラク現行會計年度ニ變更ヲ來サシメ」、此「恐ラク」ト云フ字ハドウ云フ意

味ナノステカ。

○次田委員 九月中旬ニ劈頭解散ガアリマシテ十月中旬ニ總選舉ガアルト致シマスト、是ハ先刻一寸御話ガ別ニシタガ、日本ハ細長ノ國ヲ區々ニナツテ居リマスカラ、日本全體ニ付テ農繁期ナリト申スコトハ言ヒ過ニナルト思ヒマスガ、此ハ東北地方ハ農繁期ニナルト思ヒマス、ソレカラ「恐ラク」ト云フコトヲ申シマシタノハ、九月カラ十二月マデト云フコトニ會期ガ決マリマシテ、而シテ現行會計年度ヲ其據置オテヤレヌモノカト云フコトヲ一番初ニ話合ツテ見タノデアリマス、到底難カシイダラウト云フヤウガ所カラ會計年度變更ノ場合モ考ヘナケレバナラスト云フコトニナリマシタ爲ニ、一番初ノ思想ガ玆ニ殘ツテ居ルト云フコトハドウデ大シタコトデアリマセヌ。

○濱田委員 恐ラク是ハ豫算執行上ノ關係カラ會計年度ヲ變更ヲ必要トスルズメナクテ豫算編成上ノ順序カラ會計年度ヲ變更ガ必要ニナルノデアリマセヌカ。

○次田委員 御話ヲ通リデアリマシテ、會計年度ヲ此儘ニシテ置イテ會期ガ九月ニ繰上ゲルト云フコトニナリマス、豫算ヲ作ル時期下豫算ヲ執行スル時期トノ間ニ現在ヨリカ四箇月々ケ餘計開キガ生ズルノデアリマシテ、歳入歳出豫算ノ組ミ方ガ困ルト云フコトデアリマス。

○濱田委員 詰リ豫算編成上ニ重キヲ置イテ居ル譯デスナ。

○次田委員 左様デアリマス。

○川越委員 先程ノ山崎サンノ御質問デスガ、法制局長官ノ御答ハ私モ大體其通りデアルト思ツテ居リマス。調べテカラト云フコトニナツテ居リマスカラ調査スレバ分ルコトデアリマスガ、從來ノヤリ方デ行キマス下、ドウシテモ九月カラ十二月マデニ其年ノ災害復舊豫算ヲ出スト云フコトハ一寸難カシイノデハナイカト思ヒマス、小サイ災害ハ宜シウゴザイマスガ、大キク災害ニナリマスト、災害ノ調査、善後處置ト云フコトニ相當期間ガ掛リマス、一例ヲ申上ゲマス、是ハ御承知ト思ヒマスガ、昨年ノ暮カラ今年ノ春ニ掛ケテ非常ナ雪ガ降りマシテ、雪害問題ト云フノガ非常ニ喧シイ問題ニナツテ居リマス、其雪害問題ノ對策ニ關スル復舊ヤ其他ノ豫算ト云フモノハ漸ク最近、昨、大藏省ニ出テ來タヤウナ状態デアリマスカラ、是デ以テ八九月頃ノ災害ノ状態ヲ推シマス、一寸九月カラ十二月マデノ間ニハ間ニ合ハスト思ヒマス、而モ雪害ノ豫算ト云ウテモ各省トシテハ一生懸命調査ヲ履行サレタコト、思ヒマスガ、昨年ノ暮カラ今年ノ春ニ掛ケテノ雪害ノ豫算ガ今頃出テ來ルヤウデハ、到底八九月頃ノ災害豫算ハ十二月マデニハ間ニ合ハスト今ノ所デハ考ヘテ居リマス、是ハ各省トノ關係デアリマスカラ、各省ノ官吏ヲ督勵シテ是非早ク出スト云フコトニスレバ或ハ出來ヌコトハナイカモ知レマセヌガ、現在ノ實情ハ左様デアリマス。

○山崎委員 尙ホ御調ヲ戴ケバ結構デゴザイマスガ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス、今ノ雪害ノ關係ト秋ノ災害ノ關係ハ餘程事情ガ違フト云フコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、秋ノ災害ハ非常ニ困ルト云フコトハ斯ウ云フコトガアルノデス、復舊ガ遅レルト次期ノ植付マデ復舊ガ出來ナイ、早クヤレバ

次ノ植付ニ間ニ合フノニ、遅レル爲ニ農家ハ一期休マナケレバナラス、斯ウ云フ關係ガ秋ノ災害ニハ多イノデアリマス、ソレカラ調査ニ暇ガ要ルト仰シヤルガ、私等ノ經驗カラ見マス、ソレヨリモ豫備金デ之ヲ處理スルト云フコトハ爲ニ非常ナ無理ガ行ク、調ハ疾ニ出來テ居ル、出來テ居リマスガ、豫備金デヤルト云フ爲ニ大キイ金ガ出セヌカ、ソレヨリモ無理ニ抑ヘテ置カナケレバナラス、抑ヘテ通常議會ヘ持ツテ行ク爲ニ工事ノ施行ガ遅レテ次ノ植付ヲモウ二期休マナケレバナラス、斯ウ云フコトガ非常ニ多イト思ヒマスガ、其邊ノ所ハ能ク御調ヲ願ヒタイト思ヒマス、雪害ノ方ハ今年ノヤウナ時ニハ四月頃マデ雪ガノガズノデアリマスカラ、ソレヨリモ雪害ノ調ト云フモノハドウセ遅レルコトハ已ムヲ得ヌノデアリマスガ、ソレヲ以テ秋ノ災害ヲ律セラレルト云フコトハドウカト思ヒマスカラ、能ク御調ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス。

○林委員長 一寸此間ニ御相談申上ゲマスガ、本日ノ會議ヲ午後オヤリニナリマスカ、ドウデスカ、一寸伺ヒマス、今日ハ涼シウゴザイマスカラ御差支ナカツタラ午後ヤツタラ如何デスカ。

○齋藤委員 ドウデスカ、僕ハ大體午前中位デ質問ハ済マシタラ宜イト思ヒマスガ、マダアリマスカ、ドウデシテモ今日ハ済マズマイ。

○濱田委員 私人委員長ノ仰セノ通り繼續シタラ宜イト思ヒマス、サウスレバドノ説ガ大體好サウダト云フコトノ空氣ガ分ルト思ヒマス、説ノ種類ニ依ツテハ此特別委員ガ早ク済ムダラウガ、説ニ依ツテハ長クナリマス、又説ニ依ツテハ早ク纏メタラ便利ダト云フコトモ出テ來マス、ソコノ關係ガアリマスカラ、

今日ハ午後モヤツタラドウデスカ。

○林委員長 今日ハ幸ヒ涼シウゴザイマスカラ、御異議ガナケレバサウ云フコトニ致シマス。

○齋藤委員 一寸會計年度ノコトデ承リマスガ、今ノ會計年度ハ確カ明治十八年カニ内閣制度ガ出來タ時分カラ今日マデ丁度五十年バカリ繼續シテ來テ居ルデアリマスカラ、之ヲ變ヘルト云フコトハ諸般ノ方面ニ故障ヲ來スコトハ申ス迄モナイデアリマス、一體此會計年度ヲ四月カラ翌年ノ三月マデニ決メタト云フノハドウ云フ所カラ起ツタデアツテ、サウシテ積極的ニドウ云フ利益ガアルノデセウカ、之ヲ今變更スルコトハ中々難カシイデアリマスカラシテ、會計年度其モノヲ獨立シテ考ヘテ、ナゼニ斯ウ云フ會計年度ガ起ツタデアルカ、又最前申シマシタヤウニ之ヲ維持スルコトガ積極的ニドンナ利益ガアルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス。

○廣瀬幹事 只今ノ御質問ニ御答致シマス、此四月一日制ニナリマス當時ノ大體政府部内ノ詮議ト云フモ左ハ、其當時主トシテ政府ノ歳入ノ主ナルモノハ納期ノ定メノアル地租ヲ主タルモノト致シテ居リマシタノデ、其納期ノ關係カラ致シマシテ、歳入ト歳出トノ均衡ヲ得ルガ爲ニハ、四月一日ヨリ會計年度ヲ始メルノヲ適當トスルト云フコトガ、専ラ詮議ノ中心トナツテ居ツタヤウデアリマス、今殘ツテ居リマスル文書ニ依リマスルト、大體其他ノ論點ニハ及ンデ居リマセヌデ、主トシテ其問題カラ此四月一日制ト云フモノガ決メラレタヤウニ、只今私共ノ方デ調べテ居リマス所デハ、承知致シテ居ルヤウ大次第デアリマス。

○齋藤委員 只今ノ御話ニ依ルト租稅納期ノ關係カラノミシテ斯ウ云フ會計年度ガ起ツタデアルカラ、他ニハ理由ガナイ、サウスルト此租稅納期ト云フコトハ其當時ト今日ト較ベマス——其當時ノ租稅ハ地租ガ主ナルデアツタデセウガ、今日ハ其他ニ色々地租ニ勝ル所ノ澤山ナ稅モ出來テ居ルカラ、納期ト云フ關係ハ今日カラ見ルト餘程薄ライデ來テ居ルヤウニ見エルノデスガ、兎ニ角サウ云フコトカラシテ決マツタ會計年度ヲ元ニシテ諸般ノ設備ガ出來テ居ルノデアツテ、之ヲ今變ヘルコトハ面倒デセウガ、獨立シテ見ルト云フトソレヨリ外ニ異議ハナイノデスネ、ドウデセウカ。

○川越委員 大體私共サウ思ツテ居リマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ今日ハ随分事情ガ違ヒマシテ、納期ノ定メノアル稅ト云フモノハ割合ニ稅收入ノ中デモ少イ部分ニナツテ居リマス、當時ハ今御話ニナリマシタヤウニ地租ガ殆ド歳入ノ大部分ヲ占メテ居ツテ、地租ノ納期ト云フコトガ重大ナ理由デ現行會計年度ガ決マツタト思ヒマスガ、今日デハ納期ノ問題ハ先程一寸申上ゲテ置キマシタガ大シテ重要ナ問題デハナイト思ヒマス、其他ノ方面カラ考ヘル方ガ寧ロ適當デハナイカト思ヒマス。

○濱田委員 議會振肅委員會並ニ衆議院ニ於キマシテ此議會開會期變更ノ希望ノ起リマシタ理由ハ、先程田口委員ガ仰セニナリマシタ通りニ大眼目ガアルノデス、即チ議會ノ審査期日ノ増加、解散ノ場合ニ於ケル總選舉ノ便利、此一ツガ主ナル理由ニナツテ居ルニハ申上ゲル迄モナイ、ソレデズツト此案ヲ拜見シテ見マスルト、十一月説ハ結論ニ於テ會期ヲ變更スルモノトシテハ第二義的ニ採ルベキ案デアルヤウニ考ヘ

ル、ソレデ私今此十一月案ニ重キヲ置イテ頭ヲ捻ツテ居ル譯デアリマスガ、之ニ付テ長所短所ヲ調ベテ見
 マスト一番心配ニ堪ヘマセヌノハ、十一月説ノ短所、即チ(ロ)ノ「年始年末ニ當リテ總選舉ヲ行フ虞多シ」
 ト云フ點デアリマスガ、之ヲ避ケレバ此案ノ如キハ甚ダ穩健ノ案ノヤウニ思ハレマス、ソレニ付テ年末年
 始ヲ避ケル方法ガ此十一月案ニアリヤ否ヤト云フ點ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウスト此十一月案
 ト去フモノハ見出シニアリマスル通り、十一月下旬ヨリ二月下旬ニ至ルト云フコトニ期日ヲ豫想サレ
 テ立案サレテ居リマスカラ、十一月下旬ニ開會、劈頭ニ解散ガ行ハレ、バ、十二月下旬即チ年末ニ於テ選
 舉ヲ行ウト云フコトニナツテ、短所ハ此處ニ列舉セラレテ居ル通りニナル、然ルニ十一月下旬ノ開會ヲ若シ
 モ十一月中旬開會スルコトガ出來ルト云フコトニナレバ、中旬ノ解散ハ十二月中旬ノ總選舉ニナルノデ
 アリマシテ、本當ノ意味ノ年末ノ混雜ヲ避ケルコトガ出來ルノデアリマスガ、此十一月案ハ十一月下旬デ
 ナケレバドウシテモ成立タナイ理由ガアルノデアリマスガ、或ハ十一月中旬ヨリ二月中旬ト云フコトニハ
 繰合セハ付カナイ立案ノモノデアリマスガ、此立案ニ關スル御檢討ノ經過結果等ヲ伺ヒタイト思ヒマス。
 ○次田委員 此十一月案ノ短所トシテ茲ニ列舉シマシタモノ、外ニ實ハモウ一ツ擧ゲレバ短所トシテ擧
 得ルモノガアルノデアリマス、ソレハ豫算編成上ノ問題ナラザラアリマス、現在一月ノ二十日、議會再開ノ劈
 頭豫算ヲ衆議院ニ提出シテ居リマスノヲ、十一月下旬ト致シマスルト丁度茲ニ二箇月開キガアリマスノデ、
 此十一月下旬案ニ致シマシテモ現在ヨリカ二箇月ダケ早ク豫算ヲ編成シナケレバナラナイ、隨テ豫算ノ實

行ノ時期ト豫算編成ノ時期トノ間ノ開キガ二箇月アル、是モ此處ニ擧ゲマセシタガ、幹事會ノ際ニハ
 ドウモ此間ニ現在ヨリカ二箇月開キガ出來ルト云フコトハ豫算編成上如何ナルモノデアラウカト云フ議論
 (モ出タノデアリマス、ソレデ十一月下旬ト致シマシタノハ成ベク其開キヲ一週間デモ十日デモ少クシヨウ
 下去フ所カラ十一月下旬ト出テ來タノデアリマシテ、ソレヲ十一月中旬ニナツタラドウシテモ行ハレナイ
 所ト云フ御質問デアリマスレバ、程度ノ問題デゴザイマスカラ二箇月我慢出來ルモノガ十日我慢出來ナイ
 ト云フモノデハナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ問題ニナルノハドウシテモ總選舉ノ間ヲ一箇月間ヲ
 置カサケレバナラヌカト云フコトデアリマス、現行制度ニ於キマシテモ一箇月内ニ選舉ヲ行ヘバ宜イノデ
 アルカラシテ、愈下ナレバアノ日數ハ少シハ短縮シ得ルノデハナイカトモ考ヘテ居ルノデアリマス。
 ○濱田委員 大藏次官ニ御伺申上ゲマスガ、今ノ豫算編成上ノ法制局長官ノ御意向ハハツキリシマシタ、バド
 ウデス、モウ十日位御融通出來マセスカ、別ニ此案ヲ私ハ固執スル譯デハナイガ、較ベル上ニ於テハ、
 ○川越委員 只今ノ問題ハ大體法制局長官ノ御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、唯實例ヲ申上ゲマスト御參考
 ニナルト思ヒマスガ、確カ大隈内閣ノ時ダツタト思ヒマス、大正三四年頃ノアノ内閣デハ年内ニ衆議院ダケ
 ハ豫算ヲ通スト云フコトヲ一ツノ建前ニサレマシテ、召集ハ繰上ゲテ、十二月初旬ダツタト思ヒマス
 ガ、議會ヲ召集シテ年内ニ衆議院ヲ豫算ガ通ツタノデアリマス、今問題ニナツテ居リマスコト、同ジコトヲ
 實行サレタノデアリマス、是ハ今法制局長官モ言ハレマシタヤウニ、十一月下旬若クハ十二月初旬ニ議會

ヲ召集サレマス、豫算ノ提出時期ガ今ノ制度カラ申シマスト約四五十日モ早クナル、サウナルト十一月中旬頃ニ豫算ガ決定ニナルノガ、九月中旬頃ニ豫算ヲ決定シナケレバナラス、サウナルト豫算概算ヲ出ス時期其他色々ナ時期ガ順々ニ繰上ツテ参リマスノデ、會計年度ヲ現行ノ儘ニシテ議會開會期ヲ十一月ニ繰上ゲルト云フコトハ非常ニ無理ガ生ジマス、折角大隈内閣ハサウ云フ例ヲ作ツタノデアリマスガ、次ノ内閣デハ直ダ戻ツテシマツタ、折角ア、云フコトヲ考出シテ又直グニ元ヘ戻ツテシマツタト云フコトハ、ヤハリヤリ方ニ何處カ無理ガアルカラデア、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、其後段々愚圖々々ニナツテ今日ノヤウニナツテ居ルノデアリマス、是ハ政治季節ト申シマスカ、サウ云フ時ニナリマスト中々理窟デ決メタヤウニ行キマセヌ、例ヘバ實情ヲ申上ゲマスト、十一月ノ中頃ニ大演習ガアリマシテ各大臣大演習ニ行カレマスノデ、主計局アタリデハ大演習前ニ一ツ豫算ヲ決メテシマハウト云フコトヲ永イ間ノ傳統トシテ守ツテ來タノデアリマス、是ハソコニ一ツノ「ライン」ガアリマスト徹夜シテデモ無理シテモ纏メテ呉レマス、所ガ其垣根ヲ一旦破ツテ大演習前ニヤラウト思ツタガドウシテモヤレナカツタ、大演習後ニナルトズルノニナツテ十一月一パイ掛ツテ、十一月末ニ豫算ガ漸ク決ツタト云フコトモ最近ハアルノデアリマス、是ハ事務的ニ言ヒマストサウ云フコトハ非常ニ困ル、ソレデ何カ垣根デモアツテソレヲ目標ニシテ仕事ヲシテ行クト云フコトニシマセスト、唯十一月幾日ト云フコトヲ途中ノ時日ヲ決メテ仕事ヲスルト云フコトハ、是ハ人情デスケレドモ、事實上非常ニ難カシイノデス、只今ノ所デハ十二月二十八日ガ御用終

ヒデアリマスカラ、ドンナコトヲシテモ徹夜ヲシテデモ御用終ヒ迄ニハ豫算ノ原稿ヲ印刷ニ送ツテシマフト云フコトヲヤルモノデアリマスカラ、十一月末ニ假ニ閣議デ決メテモ各省ノ事務當局ハ非常ニ無理ヲシテ徹夜ヲシテ年末ノ御用終ヒ迄ニハ全部ノ原稿ヲ印刷局ヘ送ツテシマフノデアリマスガ、何カサウ云フ目標ガアリマセスト、マア三日位ハ宜カラウ、五日位ハ宜カラウ、一週間位ハ宜カラウト云フコトデズルノニ行ツテシマフ虞ガアリマスノデ、今ノ十一月下旬ニ召集スルト云フコトニ御決メニナリマシテモ最初一二年ハ守ルカモ知レマセヌガ、大隈内閣ノ先例ヲヤウニ又何時カ今ノヤウニズルノニサツテシマヒハセメカト云フコトヲ心配シマス。

○濱田委員 十二月ノ年末モ大キイ區劃デアリ、或ハ大演習モ大キイ區劃デアリマスガ、議會制度ノ會期ノ上カラ——別段行政府ノ豫算編成ヲ牽制シタリ何カスル意味デハ決シテアリマセヌケレドモ、議會ノ開會ガ目前ニ迫ルカラシテ豫算ノ査定編成ヲ急ガナケレバナラスト云フ程、モノノ區切ノ有力ヲ機會ハナイト存ジマス、責任上下ドウシテモ提出シナケレバナラスノデスカラ、年末ヨリモ大演習ヨリモ強イ力ダト思ヒマシ、ソレデ十一月下旬ノ開會デモ行政府ニ於テ豫算編成上無理ガ出來ルト云フ御話ガ立ツンデアレバ、モウ一週間或ハ十日間繰上ゲテモ何トカ無理ガ出來ルノデアリマセヌカ、其點ヲ伺ヒタイノデス。

○川越委員 分リマシタ、ソレハ五十歩百歩ダト思ヒマス、十一月下旬デ好イノナラ、十一月中旬デモ政府トシテハ勉強シテ間ニ合ハセル、ドウシテモ働カナケレバナラスノデアリマスカラソレハ別ニ大シタ間

題チヤアリマセス、ドチラデモ出來ルト思ヒマス、唯實情トシテハ先程申シマシヤウニズル、ニナル
虞ガアリマス。

○濱田委員 ソレデ結構デス。

○齋藤委員 今ノ問題デスガ、ドウモ一遍大隈内閣デサウ云フヤウナ例ヲ開イタケレドモ、ソレハ別ニ法規
ニ根據ガアルデハナシ、ドチラデモ出來ルト云フノデズル、ベツタリニナツテ其例ガ破レテシマツタト
云フノデスガ、私ハ議會ノ會期ト云フモノハ議院法デ議會召集ノ期日ヲ決メタラドウカト思フ、亞米利加
邊リデハ御承知ノヤウニ憲法デ以テ議會ノ召集期日ガ決ツテ居ル、何カ法律ノ根據デ十一月十五日ニ議會
ヲ召集スルト云フ區切ガ限定シテアレバ豫算ノ編成ハ出來ルト思ヒマス、私ハ豫算ノコトハ分リマセヌケ
レドモ、大藏省ニ長ク居ツタ經驗ノ有ル人カラ話ヲ聞クト、ナアニ豫算ノ編成ハ一月ノ初デモ議會ヲ召集
シナケレバナラヌト云フコトガ決マレバソレハ出來ルト云フノデスガ、出來ヌコトハナカラウト思ヒマス
ガ、ドウデセウカ。

○川越委員 ソレハ私ハ不可能ノ問題デハナイト思ヒマス、議院法デキチント御決メニナツテ何月何日ニ
召集スルト云フコトニナレバ、ソレヲ目標ニシテ仕事ヲスルノデアリマスカラ出來ヌコトハナイト思ヒマ
ス、唯今年ノ暮ノ議會ヲ十一月ニ開クト云フコトニナレバ困リマスガ、來年カラサウ云フコトニスルト云
フノデハ二年準備ノ期間ヲ與ヘテ下サレバソレハ出來ヌコトハナイト思ヒマス。

○次田委員 只今ノ御話ノ議院法ノ中ニ十一月下旬ニ議會ヲ召集スルト云フ規定ヲ設クルコトガ出來ルカ
ドウカト云フコトニ付キマシテハ少シ考ヘサシテ載キタイト思ヒマス、ソレハ召集ハ勅命ニ依ルト云フコ
トニ憲法デ決ツテ居リマスカラ、ソレヲ法律デ制限スルト云フコトニナル虞ガアリマスノデ、此點ハモウ
少シ私ノ方デ研究サセテ載キタイト思ヒマス、ソレカラモウ十一月案ニ付テ實行上考慮ヲ要スルコト
ハ豫算審査期間ノコトデアリマス、十一月中旬ニ議會ガ開カレテ直グ豫算ガ出ル、二十一日經ツテ衆議院
ノ豫算委員會ノ審議ヲ済シソレカラ本會議ニ移ツテ、假ニ十二月二十日頃ニ貴族院ニ行クト云フコトニ
ナリマス、今度貴族院ノ方ハ豫算審査期間ガ年末年始ノ間ニ挾マルト云フコトニナツテ、從來ノ解釋デ行
キマスト豫算審査期間ニ休會ノ期間ガ加ヘラレルト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソコノ所ヲドウ云フ
風ニ調和ヲ執リマスカ、或ハ此點ニ改正ヲ加ヘテ翌年ニナツテ貴族院ニ送付スルト云フコトニシマスカ、
或ハ年始年末ノ部分ハ豫算審査期間ノ勘定ノ中ニ入レナイト云フコトニシマスカ、何カソコニ工作ヲスル
必要ガアラウト思ヒマス、御參考マデニ申上ゲマス。

○齋藤委員 今ノ點ハ議院法ヲ改正スレバ出來ルコトナラデスカ。

○次田委員 ソレガ疑問ノ在ル所デアリマス、現在議院法ノ中ニ閉會、停會ニ付テハ規定ガアリマスガ、ソ
レガ憲法違反チヤナイカト云フ議論モ出タコトガアルノデアリマス、閉會、停會ニ付テ議院法ノ中ニ規定
ガアツテソレガ認めラレテ居ルノダカラ召集日モ同ジチヤナイカト云フ議論モ或ハ成立ツカモ知レマセヌ

ガ、ドウモ憲法デ勅命デ...

○齋藤委員 イヤ豫算審議ノコトデスヨ。

○次田委員 豫算審議ノ問題ハ議院法ノ中ニ規定出來ルト思ヒマス。

○山崎委員 今ノ問題デスガ、ヤハリ審査期間ノ二十一日ガ延ビルモノトシテ御考ニナツテ行ク必要ガアルト思ヒマス、結局會期問題ヲ喧シク言フノハ豫算審議ノ二十一日ト云フコトニ議論ガアルノデスカラ、是ガ二十五日ニナルカ、三十日ニナルカ、兎ニ角延ビルモノトシテ見ルト、或ハ此十一月説ト云フモノハ旨イ工合ニ行クト云フ氣持モシマス、唯齋藤君ノ言ハレル貴族院ノ審査期間ハ休會中ハ入レヌトカ何トカ云フ規定ハ要ルカモ知レマセヌガ、二十一日ノ儘デ押シテ行クト云フコトハ難カシイト思ヒマスカラ、其意味ズ一ツ御考ヲ願ツダラドウカト思ヒマス。

○次田委員 其點ハ現在ノ二十一日ヲ抑ヘテ御話ヲ申上ゲタノデ、其方ガ變リマステバ又此方モ變ツテ來ル譯デアリマス、何レニシテモ貴族院ノ豫算審査期間ニ付テハ何カ手ヲ入レナケレバナラヌト思ヒマス。

○山崎委員 唯貴族院ノ手ニ豫算ガ入ツテカラ途中ニ年末年始ガ入ツテモ困ルト思ヒマスカラ、ソコ等ハ何カ旨イ工合ニ註文通リニキツチリ行ケバ宜イノダガ、審査期間ズモ或ハ例外的ニ何日延バスト云フ今ノヤウナ規定ハ結局必要ニナツテ來マセウ、サウスルト延長シタ場合ハ衆議院ガ間ニ挾ムカ、或ハ貴族院ガ間ニ挾ムカ、其邊ガ一寸ヤヤコシイ關係ガアルカモ知レマセヌガ...

○次田委員 衆議院ガ年内ニ濟ンデシマツテ翌年ニナツテ貴族院ニ行クト云フコトニナルト一番工合ガ好イノデアリマス、ドウモ政治ノ勢デアリマスカラサウ巧ク行キマスカドウカ、併シソレハ本問題ノ方ガ決マリマスレバ其方ハ附隨ノ問題ヂヤナイカト思ヒマス。

○林委員長 ソレデハ速記ハ止メテ懇談會ニ移リマセウ。

(懇談會ニ入ル)

○林委員長 ソレデハ本日ハ是デ特別委員會ヲ散會致シマス。

午前十一時五十分散會

二 第二回特別委員會

昭和十一年九月十二日内閣總理大臣官舎ニ於テ午前九時十五分開會

○林委員長 是ヨリ諮問第一號ノ特別委員會ヲ開會致シマス。

○湯澤委員 此前ノ會議デ、十一月中旬頃ニ議會ノ召集期ヲ變更スルコトニ付テノ私共ノ方ノ關係ノ利害ヲ研究致シタノデアリマスガ、内務省ノ方ノ關係ニ付キマシテハ、特ニ考ヘラレマス點ハ二ツアルノデア

リマス、一ツノ點ハ地方議會ノ議員選舉トノ關係デアリマス、地方議會ノ議員選舉ニ付キマシテハ、大體九月中ニ施行セラレマスモノガ三十府縣ニ上ツテ居ルノデアリマス、十月中ニ施行セラレマスモノガ八府縣デアリマス、是ハ十一月ニ議會ガ召集セラレマシテ、假ニ劈頭ニ解散セラレルト云フヤウナ場合ヲ考ヘマシテモ、地方議會ニ於テハ九月若クハ十月ニ大體施行サレマスカラ、重ツテ選舉ガ施行サレルト云フヤウナ場合ガアリマセスカラシテ、此點ハ取締ノ上ニ於テハ何等ノ支障ガナカラウト思ハレマスノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ地方議會ノ關係ニ於キマシテハ、會議ヲ開イテ居リマスル時期ガ、大體現在ハ十一月ノ半バ過頃カラ始マルノガ多イノデアリマス、地方ノ實情カラ考ヘマスルト、帝國議會ノ召集サレテ居リマスル期間ト、ソレカラ地方議會ノ開カレテ居リマス期間ガ成ベクハ重ナラナイ方ガ宜カラウト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、サウ致シマスルナラバ現在多クノ府縣ニ於キマシテハ、十一月ノ末カラ十二月ノ二十日頃迄ニ地方議會ガ開催サレルノガ多イノデアリマスカラ、ソレヲ出來ルダケ繰上ゲマシテ、十一月初メ頃カラ會議ヲ開イテ、帝國議會ト重複スル期間ハ極メテ短カクスルト云フヤウナ必要ガ生ズルダラウト思フノデアリマス、此點ハ自然ニ地方議會ノ召集期ヲ僅カノ期間繰上ゲルコトニナリマシタラ、其點モ支障ナク行ハレルダラウト思フノデアリマス、此地方議會トノ關係ニ付キマシテハ、十一月中旬頃ニ帝國議會ノ召集期ガ變更致シマシテモ大シタ支障ハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス。次ニ考ヘラレマス點ハ年末年始ノ關係デアリマス、議會ガ解散セラレマシテ選舉ガ年末年始ニ掛カリハシ

ナイカト云フ場合デアリマス、例ヘバ議會ガ十一月中旬ニ召集セラレマシテ劈頭ニ解散ガアリマス致シマスルト、總選舉ハ十二月中旬前後ニナルダラウト思ヒマス、是ハ地方警察ト致シマシテハ、歳末警戒ト云フノハ非常ニ力ヲ入レテ居リマス時期デアリマシテ、特ニ重大ナル警戒ヲ致シテ居ルノデアリマス、此歳末警戒ノ時期ニ接近致シマシテ支障ガアリハシナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ十一月中旬ニ召集セラレマシテ、解散ノ場合ガ年末年始ノ取締ノ間ニ選舉ガ行ハレルト云フコトニナリマスルト、選舉取締ノ上ニ於テハ相當ノ困難ヲ生ズルヤウニ思ハレルノデアリマス、即チ今申上ゲマシタ年末警戒ト選舉取締トガ同一時ニナリマシテ、取締ガ頗ル不徹底ニナルダラウト思フノデアリマス、其次ニハ年末年始ニ於キマスル所ノ慣習ニ基ク挨拶行爲ト云フモノガ選舉運動ニ利用セラレルト云フヤウナ虞ガアリマシテ、取締ノ上ニ諸種ノ紛議ヲ醸スルデアアルマイカ、斯ウ云フ心配ヲ致スノデアリマス。ソレカラ第三ハ惡質ノ選舉犯罪ハ多ク選舉期日後ニ發覺サレテ居ルノデアリマス、今日迄ノ實例ヲ見マスルト、選舉ガ濟ミマシテカラ二週間位ガ非常ニ檢舉ノ數ガ多ク上ツテ居ルノデアリマス、從ツテ選舉期日後ニ發覺致シマシテ檢舉ニ著手スルト云フヤウナ場合ガ多イノデアリマスカラ、丁度歳末年始ニ容疑者ヲ取調べナケレバナラスト云フコトニナリマシテ、此點ガ餘程困リハシナイカ、斯ウ云フ風ニ取締上カラ考ヘマシテノ困難ガ相當ニアルデアラウト考ヘラレルノデアリマス、從ヒマシテ出來ルナラバ、サウ云フヤウナ際ニハ此年末及年始ノ時期ト選舉ノ取締トノ關係トガ重ナラナイヤウナ風ニナルコトガ必要大事ト

思フノデアリマス、但シ是ハ十一月中旬ニ召集セラレマシテ劈頭ニ解散サレル場合ノ選舉取締關係ノ事デアリマシテ、屢アル事トハ思ハレマセヌガ、假ニ總選舉ガアリマス場合ニハ取締上相當ノ困難ヲ感ズル、斯ウ云フコトヲ私共ノ方ノ關係ニ於キマシテ御報告ヲ申上ゲマス。

○山崎委員 私ハ一寸政府ノ側ヘ一ツ研究ヲ願ツテ置キタイト思フ事ガアリマスカラ、此席デナクトモ宜シウゴザイマスカラ、一ツ御相談ノ上適當ノ時期ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ前回九月案トカ十一月案トカ、色々ナ案ノ利害ニ付テ參考ノ資料ヲ頂イタ譯デアリマスガ、アノ内ノ十一月召集ト云フ場合ノ關係デスガ、假ニ十一月案ヲ考ヘタ場合ニ、議會ガ劈頭解散ガアル、サウナリマスト今内務省ノ御話ノヤウニ選舉ハ十二月ノ二十日前後ニナルダラウト思ヒマス、ソレハ二十日以後ニナツテハイカスト思ヒマスガ、成ベクナラバ二十日前ニ、承諾期間ヲ二十日ト見テ一月十日頃ニハ當選ガ確定スル、サウナレバ其時ノ特別議會ヲ——一體今召集期ヲ四十日取ツテアリマスケレドモ、是ハ私ハズツト短縮シテ宜イト思ヒマス、交通ハ便利ニナツタシ、無論或ル程度ノ豫告期間ハ必要デアリマスケレドモ、ソレニシテモ二十日間位ノ餘裕ガアツタラ結構ダラウト思ヒマス、假ニ二十日間ヲ置クトシテ考ヘルト、二月ノ初ニハ特別議會ノ召集ガ出來ルト云フコトニナルデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ特別議會ヲ年度内ニ六十日ダケハ取レル譯デス、サウナレバ通常議會ニ出シタ總豫算ト云フモノヲ特別議會ニ提案ヲシテ、六十日ノ審議期間ガアレバ充分ハ貴衆兩院ノ審議ヲ盡スコトガ出來ルト思ヒマスカラ、ソレヲ特別議會ニ提案スレバ、

議會ノ解散ニ因ル豫算ノ不成立ト云フコトハナクナル、若シソレガ出來レバ之ヲ日本ノ將來ノ政治ノ大局カラ考ヘテ、非常ナ大キナ效果ダト私ハ思フデアリマスガ、其事ガ色々ノ法規其他ノ關係上、私ハ差支ナカラウト思ヒマスガ、政府デハドウ云フ風ナ御考デアルカ、是ハ重大ナ點デアリマスカラ、御協議ノ上適當ナ時期ニ一ツ御説明ヲ願ヘレバ大變結構ダト思ヒマス、サウ云フ大キナ效果ガアレバ、多少今内務省デ御話ヒナツタヤウナ選舉ノ取締ガドウトカ斯ウトカ云フヤウナ事モアリマセウケレドモ、是ハ餘程考ヘナケレバナラスト思フデアリマス、ドウカ一ツ御相談ノ上御答ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○次田委員 畏マリマシタ、實ハ一寸サウ云フ話ヲ聽イタノデアリマスガ、事柄ハ憲法ノ解釋ニモ關係ガアルト思ヒマスノデ、篤ト協議致シマシテ其上デ御答致シタイト思ヒマス、何レニシロ假ニ總豫算ヲ特別議會デ決メルト云フコトガ出來ナイニシテモ、年度ニ入ルニ先ダツテ其年度ノ豫算ハ一通リ決マツテシマフト云フ利益ハアルノデアリマス、法律上ノ關係ハ能ク研究シテ御答致シマス。

○黒田委員 一寸私、政府ニ伺ヒタイト思ヒマス、會計年度變更ト云フコトニ付テ、或ハ七月或ハ曆年ト云フコトガ是マデ唱ヘラレテ居ッタヤウデアリマス、政府ハ初ハ曆年ニ變更シタラ宜カラウト云フ考ヲ持ツテ居ラレタヤウデアリマスガ、ソレニ對シテハ重大ナ支障ガアツテ、ソレハ不適當デアルト云フコトデ、ソレヲ御棄ニナツタヤウデアリマスガ、其他ノ時期ニ會計年度ヲ變更スルト云フコトニ付テハ少シモ御考ニナツタコトハナイノデアリマスカ、或ハ現在ノ四月ヲ變更シテ五月ト云フコトニナレバ、七月ニスルト

云フ案ノ缺點モソレ程デナク、又七月ニスルト云フ案ノ利益ヲ幾分得ラレルコトニナリハシナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、五月ト云フヤウナコトニ付テ政府ハ御考ニナツタコトガアリマスカドウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○川越委員 私共ハ斯ウ思ツテ居ルノデス、會計年度ヲ變更スルト云フ事柄自體ヲ目的トシテ、今ノ會計年度デハドウシテモ忍ビ得ラレナイヤウナ缺點ガアルカラ、之ヲ獨立ニ會計年度ヲ動かシテ他ノ年度ニ更ヘヤウト云フヤウナコトヲ考ヘタコトハ、實ハ私共トシテハナイノデス、唯議會ノ開期ヲ繰上ゲルト云フ議論ガアリマスノデ、現在十二月ノ開期ヲ九月ニ繰上ゲルト云フヤウナ話ガ此前ノ會デ出タノデアリマスガ、議會ガ九月ニ始マルト云フコトニナリマス、會計年度ト云フモノヲ之ニ伴ツテ變更致シマセスト、議會九月カラ始マル、然ルニ會計年度ハ四月カラト云フコトデハ、議會ノ開期ト會計年度ノ間ニハ密接ナ關係ガアリマシテ、餘リ懸離レタ豫算ヲ——例ヘバ九月カラ議會ガ開カレマスニ拘ラズ、會計年度ハ現行ノ儘四月ニ据置キマス、殆ド半年前ノ豫算ト云フモノヲ議會デ決議スルコトニナリ、從ツテ政府ガ豫算ヲ編成スル場合ニハ一年乃至一年半先キノ豫算ヲ編成シテ出サナケレバナラヌト云フコトニナリマスノデ、豫算ノ實行ノ時期ト、豫算ヲ編成スル間ニ一年以上ノ開キガアツタノデハ、豫算ガ豫算トシテノ實ヲ爲サナイ、本當ノ見積ミタヤウニナツテ、實際ト豫算ト云フモノガ餘リ懸離レタモノニナル、ソレデハ困ルカラ假ニ議會ガ九月カラ始マルトシマスレバ會計年度ヲ一月トシナケレバナナルマイ、斯ウ云フ風ニ何ト

云ヒマスカ受身的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、會計年度ヲ一月ニ變更スル必要ガアル、從ツテ之ニ伴ウテ議會ノ開期ヲ繰上ゲテ貰ヒタイト云フノデハナク、寧ロ原因結果ノ關係ガ逆ニナルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ議會ノ開期ヲ變更スルト云フコトモ、必ズシモ九月ト御決メニナツタノデハナイヤウデアリマス、衆議院ノ決議案ノ御趣旨ヲ伺ツテモ、年末年始ガ會期ノ中ニ這入ツテ困ルカラ、年末年始ガ這入ラヌヤウニ議會ヲ開イテ貰ヒタイ、其一ツノ案トシテ九月ト云フ案ガ又今度九月デハナク議會ヲ春、四月ニ開クト云フ案モアルソデアリマス、サウ致シマス、先程申シマシタ議會ノ開期ト會計年度トノ關係カラ考ヘテ見マシテ、議會ヲ三月若クハ四月ニ開クト云フコトニナレバ、今度ハ會計年度ハ七月ニナル、斯ウ云フ順序ニナルソデアリマス、外國ノ例等ヲ調べテ見マシテモ、四月ニ會計年度ガ始マル國ト、一月ニ始マル國ト、七月ニ始マル國ト、三種類アルヤウデアリマス、ソレデ私共考ヘマスノハ、一月ニ會計年度ヲ變更スルガ宜イカ七月ニ變更スルガ宜イカ、云フ問題ガ又今度起ツタ譯デアリマスガ、一月案ト七月案トヲ比較研究シテ見マシテモ、七月案ト云フモノハ、會計年度トシテハ今ヨリハ寧ロ改惡ニナル、是ハ會計ノ方カラ云ヒマス、豫算ヲ執行スル方カラ云ヒマス、七月案ト云フモノハ現行法ヨリ寧ロ改惡ニナル、斯ウ云フ結論ニ達シタ譯デアリマス、憲法論ヤ何カ難カシイ議論モルヤウデアリマスガ、法律論ニ拔キニシテ豫算實行ト云フコトカラ云ツテ、若シ會計年度ヲ七月ニスルト云フト、丁度氣候ノ好イ、仕事ノ一番能率ノ擧ガル大事ナ時期ニ、調査トカ準備トカ、材料ヲ集メルトカ、契約ヲスルトカ、サウ云フ

風ナコトニ空費サレテシマツテ、愈々請負者ガ決マツテ是カラ仕事ヲ始メヨウト云フトキニハ、寒クナツテ仕事ガ出来ナイ時ニナル、云フヤウナ不便ガアリマスノデ、寧ロ七月案ト云フモノハ一月案ヨリモ悪イ、改悪ニナルト云フ風ナ結論ニ達シタフデアリマス、ソコデ若シ議會ノ開期ヲ變ヘル、之ニ伴ツテ會計年度ヲ變ヘルト云フコトニナレバ、ドウシテモ一月ニスル外ナカラウト云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス、ソレデハ只今御話ノ四月カラ一月線下ゲテ五月ニシタラドウカト云フコトハ、是ハマダ實ハ研究シタコトハゴザイマセヌ、考ヘタコトモアリマセヌガ、今申上ゲマシタヤウニ、議會ノ開期ヲ主トシテ、ソレニ伴フ會計年度ノ問題ヲ考ヘテ居ルノデ、若シ會計年度ヲ五月ト云フコトニシタラ、之ニ伴フ議會ノ開期ハドウ云フ風ニシマスカ、一月ニ召集シテ四月末ニ終ルト云フコトニデモナリマスカ、其點ハマダ研究シタコトハアリマセヌ。

○黒田委員 開期ヲ變更スルト云フ目的ハ、三箇月ノ會期ヲ充分ニ利用シヨウ、今迄ハ二十日間ノ年始休ミト云フモノガアツテ、是デハ益々會期ト云フモノガ短カク感ジラレル、三箇月デハ足りナイト云フコトデアルカラ、成ベク三箇月ヲ有效ニ使フコトノ出来ル期間ヲ得ヨウト云フノガ開期ヲ變更スル目的デアラウト思ヒマス、ソレデ七月トカ曆年トカ云フ變更ハ只今御説明ニナツタヤウニ非常ニ支障ガアル、ソレデ御止メニガツタ譯デアリマスガ、五月ト云フコトニナルト何ダカ大目的ハ達セラレルヤウニ思ヒマス、即チ三箇月ヲ充分ニ使用スルコトノ出来ル期間ト云フコトヲ考ヘマスレバ、五月ヲ會計年度トシテ、サウシテ

正月ノ初ニ議會ヲ召集シテ四月ノ半バカ四月ノ初ニ會議ヲ了ルト云フコトニナレバ萬事支障ガナイヤウニ思フノデアリマス、一應五月ニ會計年度ヲ變更スルコトニ付テ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ。

○川越委員 是ハ能ク研究致シマセウ、五月案ト云フモノハ研究スルコトニ致シマスガ、斯ウ云フコトハ今デモ考ヘラレルト思ヒマス、四月ノ會計年度デサヘモ、實ハ何時カモ申上ゲタト思ヒマスケレドモ、日本ノ北ノ方ノ人達ハ非常ニ不便ヲ感ジテ居ラレルノデス、其非常ニ不便ヲ忍ンデモ改正スルト云フコトガ善イカドウカト云フコトハ議論ニナリマセウガ、併シ今ノ四月ト云フ會計年度ハ仕事ヲスル上カラ行キマスト理想的ノ年度デハナイノデス、ト申シマスノハ四、五、六ト云フ一番氣候ノ好イ時ガ詰リ半分ダケハ準備ノ期間ニ潰サレテシマツテ、工事ヲ始メルノハヤハリ今ノ制度デ行キマスト九月、十月頃カラ本當ノ仕事ガ始ツテ行クノデ、一年中ノ一番好イ時期ヲ半分位潰シテシマフト云フ不便ガアリマス、無造作ニ變ヘラレルナラバ、ソレハ變ヘタ方ガ便宜カト言ヘバ便宜デハナイト思フノデアリマスガ、先程申シマシタヤウニ七月案ヲ採リマスト殆ド氣候ノ一番好イ時期ガ空ニ潰サレテシマフト云フ缺點ガアリマス、ソレデ五月案トナリマスト七月案程ヒドクハナイカモ知レマセスケレドモ、ヤハリ現行制度ヨリモ更ニ悪クナルト云フコトニナルノデアナイカト思ヒマス、是ハ即座ノ思ヒ付デアリマスガ、仕事ヲスル上カラ行ケバドウモ現行制度ヨリ能率ノ擧ラヌ惡イ制度ニナルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレマス、其他ノ細カイ點ハ

能ク研究致シマセウ。

○山崎委員 前回御願シテ置キマシタ災害ノ關係ハドウデスカ。

○川越委員 前ノ問題ニ付テモウ一點アリマス、ソレハ衆議院デ議會ノ開期ヲ變ヘヨウト云フ御話ノ中ニハ、年未年始ノ休暇ガ困ルト云フコトモアリマスシ、ソレカラ雪ノ降ル時ニ選舉運動ヲスルノデ困ルト云フ御話モアリマシタガ、一月ニ開イテ二月ニ解散ニナルト二月ノ一番雪ノ深イ時ガ選舉ニナル、會計年度ガ五月ガ善イカ悪イカト云フコトハ研究致シマスガ、議會ガ一月ニ開會ニナルトサウ云フ不便ガアリマス、是ハ餘計ナコトカモ知レマモスガ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ先達ツテノ會ノ時ニ山崎サンカラ御話ノアリマシタ從來ノ風水害ノ復舊豫算ノ時期ノ問題デアリマスガ、是ハ九年ト十年ノ二箇年度分ヲ調ベテ見タラデアリマス、内務省ト農林省ト違ヒマスガ、内務省ノ方カラ申シマスト九年ノ災害ト云フモノハ非常ニ大キナ災害デアリマシテ、其時期ハ昭和九年ノ九月二十一日ニ水害ガアツタデアリマスガ、一箇月經テマシタ十月二十日ニ内務省カラ大藏省ニ要求ニナツテ居リマス、サウシテ大藏省デ査定致シマシラ大藏省ノ省議ニ出シタノガ十一月十八日デアリマシテ、閣議ヘ出シマシタノハ十一月二十日ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ九年ノ災害デアリマス、十年ノ災害ハ度々アリマシタ、六月二十七日頃カラ七月十一日マデノモノガ一回、八月二十一日カラ九月一日マデノモノガ一回、八月二十六日カラ八月二十八日マデノモノガ一回、ソレカラ九月末ノ青森カラ關東ニ掛ケテノ災害ガ一回、大體ニ於テ四ツニ區切ラレテ

居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ内務省カラ豫算ヲ御要求ニナツタノハ、最初ノ六月下旬カラ七月上旬ニ至ル間ノ災害ニ對シマシテハ八月二日ニ御要求ニナツテ居リマシテ、大藏省ガソレヲ出シマシタノガ八月二十四日ニナツテ居リマス、次ノ八月末カラ九月初ニ起リマシタ災害ニ付キマシテハ、内務省カラ御要求ニナリマシタノハ十月二十日デアリマシテ、大藏省ガ査定シテ出シタノガ十一月四日デアリマス、ソレカラ九月下旬ノ災害ニ付キマシテハ内務省カラ出シタノガ十月二十九日カラ十一月十四日マデニ出テ來テ居リマシテ、是ガ大藏省デ決マツタノハ十二月十四日デアリマス、農林省ノ方ハ先程申シマシタ昭和九年ノ九月二十一日ノ風水害ノ復舊費ヲ御要求ニナリマシタノハ十月二十二日デアリマシテ、大藏省ガ之ヲ閣議ヘ出シマシタノガ十一月二十日、ソレカラ十年ノ風水害ハ、今内務省ノ時ニ申上ゲマシタ六月ノ末カラ八月ニ掛ケテノ水害デアリマスガ、是ハ農林省ハ九月十日ニ御要求ニナリマシテ、大藏省ガ出シマシタノハ十月三十一日デアリマス、ソレカラ十年ノ災害ガ起ツタコトガアリマスガ、此九月末ノ災害ニ付キマシテハ十一月七日ニ御要求ニナリマシテ、大藏省ガ十二月十二日ニ手續ヲ取ツテ出シテ居リマス、大體サウ云フコトニナツテ居リマス。

○田口委員 先刻黒田委員カラ御話ノ一月カラ召集シテト云フ問題ハ私共モ大體考ヘタコトデアリマスガ、其コトニ付テ經過ノ年ニ於テ憲法ノ毎年一回通常議會ヲ召集スト云フ規定ト何カ牴觸ガ起リハシナイダラウカト云フコトガ其時モ問題ニナツタノデアリマスカラ、御研究ノ時ニ其點ヲ御攻究願ヒタイト思ヒ

○次田委員 承知致シマシタ。

○西野委員 先刻御話ニテウマシタ年未年始ニ際シテノ選舉取締ノ困難ト云ラセテアリマスガ、此問題
 方若シ困難デハケルガ、絶對的クモデハナイ、或ル程度マデ不便ヲ忍ベバ出來得ルト云フコトデアリマ
 スレバ、其十一月案ケルモフク實行ガ絶對的ニ不可難デナイト思フンデアリマスガ、私共甚ダ選舉ノコト
 ハ不案内デアリマスガ、種々ノ關係ニ於テ是方非常ニ困難デアルト云ラセテ或ハ殆ダ絶對的ニ實行出來
 ナイト云フコトデアレバ、其點カラ此案ク實行ガ非常ニ困難デハサイカト思フンデアリマスガ、現行法ヲ選
 擧ノ期日ノ三十日以内ト定メラレタト云ラセトハ非常ニ重大ナ意義クアツタコトト考ヘマスガ、此三十
 日ト云フ期間ヲ動かスト云フコトハ非常ニ難カシヨトカト存シマスレドモ、何等カ特別ノ場合ニハ多
 少伸縮ノ餘地ノ在ルモノデアリマスウカ、伸縮ト申シテモ之ヲ縮ムルコトハ、法律止ハ三十日以内ト去
 風ニテウケ居リマスカラ幾日縮マテモ宜イッデアラウト思ヒマスガ、併シ事實上十日ト十五日ト云フ譯ニ
 モ參ラヌト思ヒマスレドモ二十日トカ二十五日以下ト縮ムラレルコトハ不可能ナコトカト存シマスレドモ、十
 度選舉運動ノ最中ニ年未年始ヲ含ムト云フ時ハ、此三十日以内ト云フコト十數日延長シテ、私共拘束
 案内デ自分ニ考ヘアリマスガ、年未年始ニ於ケル其取締ノ困難、種々ノ弊害ト云フコトカト此間
 題ヲ避ケルヤウナ工夫ハナイモノデアリマスウカ、私共サツトモ事情ヲ知ラヌ者デアリマスガ、只今デ

モ宜シウゴザイマスガ、適當ノ機會ニ御意見ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、ウレガ出來ルナラバ此案ク
 實行ト云フコトガ、此案ト言フト語弊ガアリマスガ、十一月末ニ開會スルト云フコトノ實行ハ左ノ其
 點ニ於テ困難ハナイゾヤサイカ、非常ニ重大ナ困難クマツニ感セラレルモノデアリマスカラ、少クモ
 ソ程度ノモソデアルカ、容易ク難ク得ルモノデアルカ、或ハ難カクモソ程度マデハ忍ビ得ルモノデ
 アリマスガ、其程度ヲ承知シテ置クタイト思ヒマス。

○次田委員

議會ノ解散ト云フコトハ唯理窟ダケ考ヘマス、何時アルコトカ分ラヌデアリマシテ、現

行制度ノサリ方ノ下ニ於テ十一月頃ニ臨時議會ヲ召集サレテ解散ト云フコトニナルト、丁度二十
 日程ノ置ケバ先ツ年未ニ選舉ヲシサケルガサタト云ク場合ノ想像ヲ得ラレル譯デアリマスガ、是マデハ大
 體十二月下旬ニ召集セラレテ一月二十日頃ニ再開ト云フコトデアリマスガ、サカ云フコトハ先ツ極稀
 有ノ場合ノ外サイ、サウ云フコトハ心配多ク必要ハサカウタノデスガ、十一月ノ中旬若クハ下旬ニ議會ヲ
 召集シテ、サウシテ普通ノ例ノ如ク野頭解散ト云フコトニサリマスルト、三十日ノ期間ヲ置キテ總選舉ヲ
 行ヒマスルハ十二月二十日頃若クハ二十三日後ト云フコトニナル、現行ノ三十日ト云フ制限ハ最長期ヲ
 觀テデアリマスカラ、何伯助繰上ガルコトハ出来カダラウト思ヒマスガ、併シ現行法デハ延バコトハ出
 來ナイ、而シテソレヲ延バストハ數々ノ弊害ヲ生ジ、目的ヲ達シラナイ、假令其
 期日十日前マデ延バストハソレトソレ取締止非常ニ困難、年未年始ノ後ト選舉運動ハ一緒ニサリマス

テ迎モ取締ガ出来ナイト云フコトニナル、結局大イニ延バシテ年末年始ノ社交上ノ關係ガ無クナツテシマツテカラ、即チ一月ノ末位ニ選舉運動ニ著手スルト云フコトニデモシナケレバナラナイ、ソレニシテモ其前ニ年末年始ガアリマスルト色々選舉取締上困難ヲ感ズルデアラウト思ヒマス、マア先刻山崎委員ノ言ハレマシタヤウニ若シ二十日過ニナルト云フコトニナレバ、ソレヲ二十日ト云フ期間ヲモウ少シ短縮シテ、其短縮スルコトハ現行法デ出来ルノデアリマスカラ二十五日位ニスル、併シソレヲ極端ニ短縮スルト云フコトハ選舉ノ精神ニ反スルコトニナリ、新議員ノ選出ヲ妨ゲルト云フコトニナルノデアリマシテ、其短縮スルコトニナルノデヤナイカト思ヒマス、期間ヲ延バスト云フ方ハ、延バスト云フコトニ制度ヲ改メマシテモソレヲ效果ノアルヤウニ運用スルコトガ中々難カシイノデハナイカ、サウ云フ風ニ只今ノ所考ヘテ居リマスガ、尙ホ研究致シマシテ申上ゲマス。

○湯澤委員 只今法制局長官ノ御話デ大體盡キテ居リマスガ、尙ホ私ノ方ノ關係モゴザイマスルカラ差加ヘテ申上ゲタイト思ヒマス、只今ノ改正選舉法ニ於キマシテハ選舉公報ヲ發行スルコトニナツテ居リマシテ、此選舉公報ノ發行ト云フコトハ今年ノ二月ノ總選舉デ初メテ行ツテ見タノデアリマスガ、此選舉公報ヲ發行致シマスルナラバ、是ハ各候補者カラ公報ニ掲載スベキ政見等ノ送達ヲ受ケマシテ、ソレヲ印刷ニ付シテ更ニ各選舉民マデ之ヲ配付スル、此公報ノ發行關係ト云フモノハ餘程選舉管理ノ上カラ申シマスル

ト、相當ノ手間ガ掛リ、時間ガ掛ルノデアリマシテ、~~二十日ト云フ~~日ト云フノヲ少シハ短縮出来ルカ分リマセヌガ、今御話ニ上リマシタ年末年始ニ差障ラナクマウナ程度マデ、或ハ一週間短縮ト云フヤウナコトハ餘程困難デハアルマイカ、寧ロ事務ノ當局ノ考カラ申シマスルト、三十日其モノヲ短縮スルト云フゴトハ餘程至難デハアルマイカト云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、是ハ解散ニナリマシテカラ直チニ極メテ短カイ期間ニ各候補者カラ公報ヲ出セト云フコトヲ要求スル譯ニモ參ラヌ事情デアリマシテ、本年ノ二月ノ選舉ノ狀況ナドヲ見マスルト、二月二十日ノ選舉ニ對シマシテ早イノガ二月六日ニ各候補者カラ最終日ノ公報ノ届出ト云フ風ニナツテ居リ、遅クモ九日ト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、其提出期間ヲ更ニ上ツ方ニ上ゲルト云フコトハ、立候補ノ關係、或ハ候補者自體ノ準備ノ關係ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、餘程難カシイヤウニ思ヘルノデアリマス、ソレカラ延バス方ノ關係デゴザイマスガ、選舉ノ告示前ノ事前運動ト申シマスカ、既ニ解散ガ起ツテソレカラ更ニ選舉ノ告示ヲズツト先ノ方ニ延バシテ一月ノ末ヲタリニ選舉スルト云フヤウナコトヲ考ヘマシテモ、選舉取締ノ方カラ申シマスレバ事前運動ト云フヤウナコトガ非常ニ厄介ナ問題ニナリマシテ、所謂歳末年始ノ儀禮上ノ關係ト此事前ノ運動ト云フモノガ混淆ヲ來スト云フヤウナコトカラ、餘程取締ガ困難ヲ生ズルノデハアルマイカ、斯ウ云フヤウナ風ニ考ヘテレルノデアリマス。

○山崎委員 警察ノ歳末ノ非常警戒ト云フノハ何日頃カラヤラレルノデスカ。

○瀧澤委員

大體ノ點少數同ニ分カマスガ、一番力ヲ入レマスルハ二十五日頃カラ後デゴザイマス。

○西野委員

只今ノ御話デ私ノ伺ヒタイ點ハ大體了解致シマシタ、此處デ法制局長官ニハツキリ伺フコト

ハ難カシクモ云ウト思ヒマシタ、今ノヤウガ御話デアリマストマア三廿日ノ期間ヲ年終ニ際シテ便宜

ニ伸縮スルト云フ立法的手段ニ依ル救済ハ難カシクモ云ウニ考ヘラレマス、サカスレバ結果カク言フカ若

シ十一月開會ト云フヤウナ制度ニ改メタ場合ニハ、議會ノ初期ニ於ケル解散ガ事實上續々ノ點ヲ於テ非常

ニ制限カレル結果ニ陥ルカクテ話デアツテ、政府トシテハ是アルガ故ヨ此案ハ本カス、即チ解散ニ不便カ

クテ居リマスカ、政府ノ政治上ノやり方が多少拘束セラレテ結果ニナルガラウト思ヒマスガ、

○森田委員 御話ノ通リダラウト思ヒマス、斯ク云フコトヲカカテ政府ガ解散ヲカク、

合カク考ヘルコトハ考ヘルダラウト思ヒマス、制度ノ上カク言ヘバ何時解散ト云フコトガ起ルカ分ラ

カク、政府ノ方デモ考ヘルコトヲ大ニダラウト思ヒマス、

○濱田委員 色々政府側ノ御立場カク御話ヲ承リマスガ、政府側トシテハ先般ノ月案マヤリ

テモ同意出來カク、云フ御意見カク、政府側ヲ統一シテ意見カドクカカテ

○次田委員 余日色々私共カラ申上ゲマシタコトヲ調査會デ十一月案ヲ付テ可否ヲ御決

料トシテ申上ゲタノデアリマシテ、政府ノ立場ヲ申シマスレバ總會ノ際ニ申上ゲマシタ如ク、此調査會ニ

於テ消極積極各方面カラノ利害ヲ考覈シテ結論ニ達シラレマスナラバ、政府ハ十分調査會ノ御意見ノ在ル

所ヲ尊重シテ善處シテ、斯ク云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯氣ノ仲ニ利害ノ點ハ能ク申上ゲテ御參考ニ

供シテ來儀デアリマス。

○渡田委員 十一月案ヲ付テ警察關係ノ御意見ヲ拜聴致シマスガ、實際問題トシテハ相當理由ノアル御著

眼ト思ヒマス、併カガラ是ハドノ案マシテモ何處カ數ハ少クヨルノダラウト思ヒマス、ドノ案ヲ持ツテ來

テモ何處カハハツク數カヨツテ來ルト思ヒマス、ソコデ大局觀トシテハ改正ノ效果多クシテ害ノ少イモノ

ヲ選ズヨリ佳方ガカク、何時マデ研究議論ヲシテ居ルモ局部々々ノ議論ヲカクテ話ガ盡キカト思

ハルカ、ソレヲ本會ニ特別委員會ヲ折角御設ケニサシタノデアリマスガ、是ハ何トカ其御意見當テ付テ

シテ比較的良好ノ案ヲ決メカレバカクテ責任ガアルカクヤウニ考ヘテ、ソレヲ前段ニシテ經過ハ申上

ル海用カク、一番十一月案ガ好カラウト云フ所マデ漕付ケテ、併シ此案カカテ局部々々ノ利害ヲ考

バ全ク御話カクヤウニアル、所テ警察ノ取締ハ任期満了後ノ總改選ノ時ニハ起テスノカス、今日ノ任期マ

ツトヤウテ來レバ、即チ普通ノ任期満了後ノ總改選ハ年終年始ニハ關係シカクヤウニ思ヒカク、唯年終

ノ解散ノ場合ニシテ御心配マシマス警察取締ノ問題ガ起テ來ル、誰方カク御話ノヤウニ解散ハ必シク

每期アルモノカク、毎期警察取締ノ關係ガ起ルカク、

年末ニ解散カク

五五

タ場合ニノミ此支障が起ツテ來ル、斯ウ云フコトニナル、ソレハ警察ノ方面カラ御著眼ニナレバ最モ著實ナ實際的ノ御考デアリマシテ、決シテ理由ノナイコトデハナイト思ヒマスケレドモ、一ツ此程度ノ皺ト云フモノハ我慢シテ此邊ニ纏メタラドウダラウカト私ハ思ヒマス、是ハ何時マデ研究シテ居ツタ所デ各案ニ必ズ長所ト短所ガアル、現ニ此參考書ヲ拜見シテモ長所ト短所ガ三ツ四ツ擧ゲテアルノデアリマスカラ、是ハ何時マデ研究シテ居ツテモ盡キナイト思ヒマス、私共ハ警察方面ノ御著眼尤モト思ヒマス、御尤モト思ヒマスガ、是ハ何カ警察機能ノ擴充ニ依ツテ一ツ遺憾ナ點ヲ出來得ル限リ防イデ戴クコトトシテ、比較的の利益ノ多イ十一月案ガ好イノヂヤナイカト私共思ハレルノデアリマス、是ハ各員ノ御高説ヲ拜聽シテ成程ト云フ過チヲ發見スレバ取消スコトモアルカモ知レマセヌガ、只今ノ所ハ私ハサウ考ヘテ居リマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス。

○山崎委員 暫ク懇談ヲ願ツタラドウデスカ。

○林委員長 ソレデハ是カラ暫ク速記ハ止メマシテ懇談會ニ移リマス。

(懇談會ニ入ル)

○林委員長 次ノ特別委員會ハ九月二十一日月曜日午後二時ヨリ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シマス。午前十時五十分散會

三 第三回特別委員會

昭和十一年九月二十一日内閣總理大臣官舎ニ於テ午後二時二十五分開會

○林委員長 是ヨリ特別委員會ヲ開會致シマス。

○次田委員 前同ノ委員會デ問題ニナリマシテ、法制局デ研究シテ申上ゲルト申シテ置キマシタ議會開會期ニ付キマシテ、所謂十一月案ヲ採用シ、而シテ開會劈頭衆議院ノ解散ガアリマシタ場合ニ、解散後ノ特別會ニ再ビ總豫算ヲ提出スルコトガ出來ルカドウカ、云フコトニ付キマシテ爾來法制局ニ於テ、法律上並ニ實際上ノ見地カラ研究ヲ遂ゲマシタ結果ヲ申上ゲマス、其結果ハ大體消極的ノ結論ニ到達致シタノデアリマス、先ヅ法律上ノ見地カラ攻究ヲ遂ゲテ見マシタトコロ、總豫算案ヲ提出スベキ議會ガ通常會ニ限ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、憲法ハ積極的ニ限ルトモ限ラナイトモ明文ヲ以テ規定シテ居ラナイノデアリマスカラ、結局憲法ノ各條規ヲ論理的ニ解釋シテ、其何レノ意味デアルカラ結論スルノ外ナイ譯デアリマス、而シテ之ガ解釋ハ色々アリ得ルト思ヒマスガ、主ナルモノトシテハ次ニ述ベマスニ通りノ學說ガアルノデアリマス、而モドチラガ正シイ解釋トスベキヤト云フコトヲ決スルニ付テ實ハ迷ツテ居ルヤウナ次第デアリマス。

其第三ノ學說ハ、國家ノ歳入歳出總豫算ハ之ヲ常會ニ提出スベキモノデアリマシテ、常會以外ノ議會ニハ

之ヲ提出スルコトヲ得ザルモノデアルト云フ説アリマス、其理由ハ憲法第四十一條ニ於テ議會ハ毎年一回開カレベキコトヲ規定シテ居ルノハ、豫算ノ一年制度ト相關聯スルモノデアリマシテ、總豫算案ハ毎年成立スルコトヲ要スルガ爲メ、之ヲ議定スベキ議會亦必ズ毎年一回召集セラレハモノデアルトヲ要スルトスルノデアリマス、常會ハ毎年一回召集ノ保障ガアリマスガ、其他ノ臨時會、特別議會ハ毎年一回召集ノ保障ガナイ、斯ノ如キ議會ハ毎年一回成立スルコトヲ要スル總豫算案ノ提案セラレベキコトヲ憲法ヲ要求シテ居ルトハ解スルコトガ出來カナイ、憲法第六十四條ハ憲法第四十一條ノ常會ニ總豫算案ヲ付議シテ協贊ヲ經ベキコトヲ規定セルモノト解スベキデアリ、即チ「國家ノ歳入歳出ノ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ハ協贊ヲ經ベシト云フ憲法第六十四條ノ規定ハ、憲法第四十一條ノ常會ニ總豫算案ヲ付議シテ協贊ヲ仰グベシト云フコトヲ規定セルモノト解スベキモノデアリ、即チ通常會ト他ノ議會トハ區別セラレルノハ、總豫算案ガ付議セラレルハ否キト云フ點所在ルト云フ學說カハオアアマス、從ツテ常會ニ於テ總豫算案ヲ否決セシムルカ又ハ審議中ニ衆議院ノ解散ニカツタト云フヤウカ場合ニ於キマシテ、憲法第七十一條ハ衆議院ノ豫算ヲ施行スベキコトヲ解スルノデアリマス、嘗テ第六十一議會、即チ大養内閣ノ解散後召集セラレマシタ三月ノ臨時議會ニ於キマシテ、衆議院ニ於テ此問題ガ論議ニナリマシテ、政府ハ大體右ノ趣旨ノ見解ヲ一應言明シテ居ルノデアリマス。

第二ノ説ハ、歳入歳出總豫算ヲ提出スルハ、常會デアルト其他ノ議會タルト問ハナイノデアリ、憲法第六十四條ハ國家ノ歳入歳出ノ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ハ協贊ヲ經ベキコトヲ規定セルモノト云フヲ以テ、其豫算ヲ提出スベキ議會ハ常會タルコトヲ限定スルハ明瞭ナル規定モアラセズ、又常會以外ノ議會ニ豫算ヲ付議シテハナラナイト云フ禁止規定モハナカシカ、總豫算案ハ如何ナル種類ノ議會ニ於テ提出シ得ルモノデアルト云フ説ハ、オアアマス、惟トシテ、歳入歳出總豫算案ハ其實質及其内容カヲ見マシテ、相當長期ノ審査期間ヲ必要トスルコトハ疑ヒカハ所アリマス、總豫算案ハ單ニ豫算案トシテハ、其重要イデカクシテ、政治上ノ各般ノ問題ハ實ニ總豫算案ヲ中心トシテ論議セラレルコトヲ宜シキ程重要カハモノデアリマス、又總豫算案ハ法律案其他ノ議案モ亦相當多數相伴スベキコトガ理論上カハ重要ノ際上カハ起ツテ來ルモノデアリマス、即チ總豫算ヲ付議セラレベキ議會ハ、總豫算案及之ニ伴フ諸法律案其他ノ議案ヲ審議スルニ十分ナル期間ヲ存セザルベカラザルコトガ理論上當然ナルカ、短期ノ臨時會又ハ特別議會ニ總豫算案ヲ提出スルコトハ條理上認めベカラズト云フ説ハ、オアアマス、諸君ハ十分ハ審査期間ヲ要スルベシト云フ通會議會ニ限ラナイ、特別議會又ハ臨時會ニ豫算ヲ提出シテモ憲法上差支ナクハ云フコトガ第二ノ説カハオアアマス。

茲ニ假ニ二ツノ學說ハ各ヲ前提トシテ、議會開會期ニ付テ假令十一月案ヲ採用シ、衆議院ハ解散期開會期頭ニ行ハレマシタ場合ニ於テ、特別議會ニ總豫算案ヲ再提出シ得ルハ否カト云フ點ヲ考ヘテ見ズルコトハ、次ノ如キ結論ト相成ルノデアリマス。

假ニ第一説ヲ前提ト致シマスレバ、常會ニ於テ衆議院ノ解散ガアリマシタ場合ニハ、即チ直ニ憲法第七十一條ニ該當致シマシテ前年度豫算ヲ施行スルコト、ナリ、最早政府ハ總豫算案ヲ特別議會ニ再提出ヲスル義務ガナイコトハ勿論、再提出スルコトガ出來ナイト云フ結論ト相成ルノデアリマス、政府ハ唯適當ナル追加豫算ヲ編成シテ之ヲ提出スルコトヲ得ルニ過ギナイ、總豫算案ヲ再提出スルコトハ憲法ノ認メザル所デアルト云フ結論ニナル外ハナイノデアリマス、假ニ第二説ヲ前提ト致シマスレト、抽象論トシテハ特別議會ニ總豫算案ヲ再提出スルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、實際論トシテハ斯ノ如キ場合ハ事實上認ムルコトガ出來ナイノデアハナイカト思フノデアリマス、其理由ハ既ニ述ベマシタ如ク總豫算案ヲ特別議會ニ提出スルコトノ認メラレルノハ、特別會ガ三月三十一日迄ニ總豫算案並ニ之ニ伴フ諸法律案其他ノ議案ヲ審議スルニ十分ナル期間ノ餘裕アルコトガ必要デアルニ拘ラズ、十一月召集ノ議會劈頭解散ト云フ場合ニ於キマシテハ、三月三十一日迄ニ少クモソレダケノ合理的ナ審議期間ノ餘裕ヲ置クコトハ到底不可能デアルカラデアリマス、現行衆議院議員選舉法ニ於キマシテハ、衆議院解散後ノ總選舉ノ期日ハ、解散ノ日ヨリ三十日以内デアリマシテ、而モ其時日ハ二十五日以前ニ勅命ヲ以テ公布セラレベキコトニナツテ居リマスカラシテ、總選舉ノ爲ニ約一箇月ヲ要スル、ソレカラ當選承諾期間ハ、當選ノ告知ヲ受ケマシタ日カラ二十日以内デアルコトヲ要スルノデアリマシテ、是ハ當選告知ヲ受ケマシタ日ガ總選舉ノ日ヨリ多クノ場合ニ於テハ二三日後デアリマスガ、場合ニ依リマスルトモソト澤山ノ日ヲ要スルコトガアリ

リマスンデ、解散後五十數日、先ヅ六十日位ハ新議員ノ選舉ニ關スル最小限度ノ必要期間ニナルノデアリマシテ、其期間經過前ニ召集セラレルコトハ法律上出來ナイコトデアアル、更ニ又召集期間、是ハ從來ノ慣例ニ依リマスレト、特別議會ノ召集期間ハ四十日ヲ置カナケレバナラヌト云フ規定ガ適用セラレルト解釋シテ居リマス、此召集期間、ソレカラ開院式並ニ其準備手續ノ期間等ヲモ勘定ノ中ニ入レナケレバナラナイ譯デアリマス、サウ致シマスレト假ニ二月初日ヲ召集日トシテ特別議會ガ召集セラレタトシテモ、二月ハ曆ニ於テ二十八日又ハ二十九日デアリマスカラ、三月三十一日迄ニ實際上總豫算案及之ニ伴フ議案ノ審議ニ對シテハ先ヅ五十日餘リ六十日足ラズノ期間ヲ期待シ得ルニ過ギナイノデアリマシテ、其期間ハ通常會期ノ三箇月ナルニ比シマシテ著シク短期ノモノニナルノデアリマス、審査ノ期間ニ一體何日ヲ必要トスルカト云フコトハ、憲法ニハ何モ規定ハナイノデアリマスガ、通常ノ場合ニ於テ總豫算ヲ付議スル通常會ノ期間ガ三箇月デアルト云フコトハ、照合ハセテ考ヘテ見マスレト、此三箇月ヨリ著シク短期ノ議會ニハ總豫算案ヲ提出シテ之ヲ審議スルニ十分ナリト云フコトハ出來ナイノデアハナイカト考ヘラレルノデアリマス、更ニ一方政治上ノ意見ト致シマシテハ、現ニ常會ノ三箇月ガ短期ニ過ギルト云フ説モアリマス、又豫算委員會ノ審査期間モ二十一日ガ短キニ過ギルカラ之ヲ延長スベシト云フ議論モアルノデアリマシテ、彼レ此レ之ヲ綜合シテ考ヘマスレト、前者考ヘマシタ如キ短期ノ特別議會ニ總豫算案ヲ提案スルコトハ、憲法ノ精神カラ考ヘ、又事實上ノ困難ヲ顧ミテ認ムルコトガ出來ナイノデアハナイカ、去フ風ニ見ルノデアリマス、

即ち豫算の通常會ニシテ提出タルコトガ出來ル、他ノ會ニハ提出スルコトガ出來ナイト云フ第一説ヲ採レバ勿論デアリマスガ、假ニ第二説豫算案ヲ提出タルコトハ必ズシテ通常會ニ限ラナイト云フ説ヲ採リマシタモ、十一月召集野頭解散ト云フコトヲ豫想致シマシテ、其解散後ノ特別議會ニ總豫算ヲ提出スルコトハ、場合ニ依ツテハ法律上出來ナイ事デハナイトシテモ、事實上ハツカシクソデハナイカト云フ結論ニ到達シタ譯デアリマス、大體法制局ヲ調ベマシタ所ヲ申上ケテ御參考ニ供シマス。

○山崎委員 法制局ノ特色ヲ御審議ヲ預キマシタコトハ御禮ヲ申上ケマスガ、只今ノ御説明ヲ伺ヒマシタモ、憲法ノ解釋論トシテニツク論カアル、斯ウ云フコトデアツテ必ズシテ法制局トシテ第一ノ説ヲ御採ルニナルト云フ意味デハサイソデヌネ、ト云フテ何ダカ少シ未練モアルヤウニ伺ヒマシタガ、ト云フモノデヌカ。

○次田委員 實ハトシテラガ宜イリカ迷ツテ居ルンデヌ、今日十一月案ニ對スル解釋トシテハ、河津ノ案ヲ採ツテモ結局出來ナイト云フコトトモナルゾデハサイカ、前申上ケマシタ通り政府ハ一應第一ノ案ヲ議會ニ答辯ヲシテ居ルゾデアリマス、併シ又法制局ノ内輪デモ、第一案ヲサツテハカラハト云フ議論モアリ、又サウヤデ窮屈ニ堪ヘヌデ宜イデハサイカト、特別議會ヲアルガ故ニ豫算分出セナイト云フ程窮屈ニ堪ヘヌデモ宜イデハサイカ、是ハ議案再提出ノ場合デアリマセヌケルホモ、假ニ九月頃ニ臨時議會ガ開カシテソコデ解散ニサカク、サカハルト其解散後ノ特別議會ハ通常議會トシテハハル、特別議會デハアルガ會期

ハ三箇月、而シテソレニ提案サレルト云フコトニナル、ドウモ通常會デナケレバ出スコトハ出來ナイ、又通常會ニ出シタモノハ絕對ニ出スコトハ出來ナイト云フコトニ付テハ、ソコニ未練カアルンデヌ、ソレデ言切ルコトニ付テハ躊躇シテ居ルンデヌ。

○山崎委員 私ハマダ憲法論ヲ研究シテ解釋デハアリマセヌガ、私等ノ常識デ考ヘマスト、憲法ニ議會ヲ毎年一回召集スルト云フ規定ケルコトハ、豫算ガ一年限リノデ、毎年豫算ノ審議アルガレバナラヌカ、憲法デ毎年一回議會ヲ召集スルト云フ規定ガアル、斯ウ云フ風ニ御考ヘサルコトハ是ハ理由上ナラヌコトダト思ワ、尚モ帝國議會ト云フモノヲ設ケラレマシタ以上ハ、少クトモ年一回開イテ、其處ニ民意ノ反映ト云フ機能ヲ豫算ガ一年限リデアルトカ、サイトカ云フ事柄デサツ、憲法政治ノ大精神カラ來テ居ルコトデアツテ、其事ガ規定ヲ根據ニシテ議會デサケレバ通常豫算ノ提出ハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ解釋ハ一是ハ議論ニナリマスケレドモ、私一個トシテハ左様ナ事ハ考ヘ得ナイト思ヒマス、サウシマス、問題ハ實際論トシテ審議ノ期間ガアルカナイカ、問題ハ之ニ依ツテ決シテ宜イデハサイカ、法制局長官ノ御話ヲ伺ツテモ、トウヤラ實際論ノ方ニ重キヲ置カレルヤウニモアル、サリトテ何ダカ憲法ノ方ニ願ヒテ少シ氣ニナルト云ツタ風ニ見エラソデアリマスガ、私等ハ是ハソウキリ實際論トシテ考ヘンバ宜イデハサイカト斯ウ思ウデヌガ、ソコデ實際論トシテドウデアルカ、斯ウ云フコトニ付テ只今法制局長官ノ述ベラレマシタ基礎計算ニ付テ、更ニ變ウタ場合ヲ考ヘル必要ガアルカサヤナイカ、ソレハ無論長官野頭ノ中ニ

ハアルコト、思ヒマスガ、一應ハ現在ノ制度ヲ基礎トシテノ御議論デアツテ、是ハヤア無理ハアリマセヌ、ガ例ヘバ衆議院ノ當選ノ承諾ノ問題ノ如キモ、是ハ此委員會ニ於テハナク、選舉法ノ委員會デ考ヘラルベキコト、思ヒマスケレドモ、一體現在ノ規定ノ當選者ガ承諾ヲ要スル、斯ウ云フコトニナツタノハ昔ノ制度ノ殘物デアツテ、今ノヤウニ候補者ガ自ラ立候補ヲ届出ルト云フヤウナコトヲ原則トシテ居ル選舉ニ於テハ、承諾期間ト云フヤウナモノハ殆ド必要ノナイ事デアアル、是等ハ選舉制度調査會ニ於テハ相當考ヘラルベキ問題ダト思ヒマス、唯茲ニ考ヘナケレバナラヌノハ、推薦候補ノ場合ダケデアリマスガ、推薦候補ト雖モ總選舉運動ノ期間中、其推薦運動ヲ默許シテ居ルハ、大體ニ於テ承諾ノ意思ガアルモノト推定シテモ宜イ譯デアリマスケレドモ、是ハ一應ノ承諾ハ要ラウト思ヒマス、ソレニシテモ二十日間ノ承諾期間ト云フモノハ必要ノナイト思ヒマス、是ハ長ク見テ十日モアレバ十分デアラウ、ソレデ貴方ノ今御述ニナツタ基礎時日カラ十日間ノ短縮ガアル、其次ニハ前回ニモ此處デ御話ガ出マシタヤウニ、議會ノ召集ニ四十日間ヲ要スル、是ハ寧ロ此委員會デ御審議ニナルコト、思ヒマスガ、是モ幾ラ長ク考ヘマシテモ二十日間モアレバ十分ダト思ヒマス、サウスルト兩方デ三十日ダケハ今貴方ノ御述ニナツタ材料タル時日カラ日取ノ餘裕ガ出テ來ル譯デアリマス、ソコデ今私ガ申上ゲマシタヤウナ前提デ計算シテ見マスルト、假ニ總選舉ガ十二月ノ二十日ニ行ハレルモノトスル、或ハヤリヤウニ依ツテハモット早く出來マセウ、十七八日位ニハ選舉ガ出來ルカモ知レナイ、之ヲ假ニ二十日ト見マシテ、推薦候補ノ承諾

期間ヲ十日ト見ルト云フト、三十日デ當選ハ總テ確定シテシマヒマス、ソレカラ假ニ二十日間ノ期間ヲ要スルモノトスレバ、一月ノ十九日ニハ議會ノ召集ガ出來ル譯デアリマシテ大體ニ於テ其年度内ニ七十日、或ハ六十九日ニナリマスガ、七十日ノ日數ヲ特別議會ニ取ルコトガ出來ル、是ハ通議會議ノ場合ニドウナルカト申シマス、通議會議ト雖モ假ニ年始ノ休ミヲ一月ノ十日迄取ルトスルト、矢張二週間ハ年末年始ニ休ムコトニナリマスカラ、サウスルト九十日カラ十四日ヲ引ケバ七十五日カ六日デアアル、一方ハ六十九日カ七十日、結局正味ニ於テ審議期間ハ五日差六日ノ差ニナル、通議會議ト特別議會ト間ニ五日カ六日ノ差ガアルト云フダケノ理由ヲ以テ、提出豫算ノ審議期間ガ不適當デアアル、斯様ニ結論ハ私ハ斷ジテ生ジナイト思フ、憲法ノ解釋上イカスト云フコトデアレバ是ハ別デアリマスケレドモ、必ズシモ左様ナ御意見デモナイヤウニ見受ケマス、サウナレバ左様ナ事實ヲ頭ニ置イテ考ヘタ場合ニハ、只今ノ御説明デハドウモ承服致シ兼ネルノデアリマス、此點ニ付テ、固ヨリ私ノ申上ゲマシタコトモ假定ノ事實ニ立ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレラガ決マラナケレバ正確ナ議論モ出來ヌコトデアリマスケレドモ、是ハ惟形式論位デ、好イ加減ト云ツテハ甚ダ語弊ガアリマスガ、簡單ニ取扱ハレルト云フコトハ、議會制度ヲ考ヘル委員會トシテハドウデアラウカ、モウ少シ眞劍ニ考ヘテ見ル必要ガアリハシナイカ、云フヤウナ感ジガ致スノデアリマスガ、假ニ私ノ申上ゲルヤウナ前提ヲ置イテ御考ニナツタ場合ニハドウデアリマセウカ、少シ取越シタ質問デアリマスケレドモ、御答ガ出來レバ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○次田委員 總豫算案竝ニ之ニ關聯スル各般ノ法律案ヲ議決スルニ一體何日アツタラ宜シイカ、何日アツタラ審議ノ期間ガ十分デアアルカト云フコトヲ形式的ニ論究スル根據ガ二ツアルト思ヒマス、一ツハ今ノ議院法ニ定メテ居ル兩院ノ豫算委員會デ二十一日間審議シナケレバナラス、已ムヲ得ザル場合ニハソレヲ五日ダケ延スコトガ出來ルト云フ規定、ソレヲ一ツ見ルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、總豫算案ガ付議セラレル通常會ノ會期ガ三箇月、是ハモウ憲法ニハツキリ決メラレテ、之ヲ延スコトハ出來ルケレドモ之ヲ短縮スルコトハ出來ナイコトニナツテ居ル、形式的ニハ此ニツシカナイデアリマス、所ガ假ニ今御話ノ如キコトヲ前提トシテ考ヘマシテモ、十二月ノ二十日前後ノ總選舉デハ、三箇月ノ會期ヲ年度内ニ取ルコトハ不可能デアアル、豫算委員會ノ審議期間ガ二十一日デアアルカラ兩院合セテ四十二日、ソレニ事實上ハ本會議デ豫算ヲ審議スルノガ兩方合セテ五日カ三日、ソレダケ加ヘレバ豫算審議ノ期間ガ十分デアアル、斯ウ云フコトニナレバモウ問題ハ極メテ簡單デ、解散後ノ特別議會ニ提案シテモ審議ノ期間ハナルト、矢張通常會ノ三箇月ト云フノガ標準ニナルノデハナイカ、委員會ノ二十一日ハ唯委員會ダケノ規定デアツテ、本會議デ何日豫算ヲ議論シヨウトモ、審査期間ガ自由デアレバ出來ル譯、假ニ特別議會ノ會期ヲ六十日ナラ六十日ト云フコトニシテ召集シテ之ニ總豫算案ヲ出シタ場合ニ、政府ハ其間ニ十分慎重審議シテ其豫算ヲ決定スルニ十分ナル餘裕アリト認ムルカト云フ議論ニナルト、結局ハ水掛論ニナルノデハ

ナイカト思フノデス、殊ニ此問題ハ解散後ノ總選舉ニ於テ政府與黨ノ勝ツタ場合デ、若シ政府與黨ガ負けテ内閣ノ變ツタト云フ場合ニハ、是ハ豫算ノ編成替等ヲシナケレバナリマセヌガ、事實上今御話ノ如キ時間ニ議會ヲ召集シテ總豫算ヲ提案スルト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、問題ハ政府ガ勝ツタ場合、幸ニ總選舉ニ勝ツテ大多數ヲ占メタノデアアルカラ、政府ノ政綱政策ヲ盛ツタ總豫算案ヲモウ一遍議會ニ出シテ、前年度豫算ヲ踏襲セズニ濟ムヤウニスルト云フコトハ、一方カラ言ヘバ望マシイコトニハ相違ナイノデアリマスガ、今申上ゲマシヤウナ點デ御話ノ如キ場合ヲ考ヘテ見テモ、ソレデ宜シイト云フコトハ通常會ノ會期ヲ三箇月ト定メテ憲法ノ趣旨ニ副フモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ疑ヒヲ持ツノデアリマス。

○山崎委員 御説明ニハドウモ遺憾ナガラ承服ハ出來マセヌガ、議論ニナルカラ申シマセヌケレドモ、或ハモウ少シ御考ヲ願ツタラドウカト云フ私ノ希望ヲ捨テテ行キマセヌ。

○黒田委員 一寸私モ御尋シマスガ、今ノ政府ノ御話デハ、第一ニ述ベラレタ消極論ヲ取ツテ居ラレルヤウニ思ヒマス、即チ豫算案ト云フモノハ通常議會デナケレバイカス、ソレダカラ如何ニ日數ガアツテモ特別議會デハイカスト云フ説ヲ執ツテ居ラレルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、サウデアリマスカ。

○次田委員 其點ハ前ニ申シマシタ通りニサウ云フ學說モアル、ソレカラ必ズシモ通常議會デナクテモ、特別議會デモ出スコトハ出シテ差支ナイト、云フニツノ學說ガアル、ソレヲ今問題ニナツテ居ル十一月召集、

劈頭解散、直ニ總選舉ヲ行ツタト云フ場合ニ當嵌メテ考ヘテ見マスト、第一ノ法律上通常會以外ノ議會ニハ豫算ヲ出スコトガ出來ナイト云フ解釋ヲ取リマスレバ是ハ問題ハナイ、假ニ特別議會ニ出シテモ差支ナイト致シマシテモ、其特別議會ハ總豫算ヲ審議スルニ足ルダケノ會期ヲ持ツテ居ル特別會デナケレバナラス、然ルニ其十分ナル會期ヲ取ルコトガ、今想像スルヤウナ場合ニハムツカシイデハナイカ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○黒田委員 サウナレバ十分ナ會期ヲ取ルコトガ出來ル場合ニハ提出スルコトガ出來ルト云フ御考デスカ。

○次田委員 ソレハソレデ宜シト思ヒマス。

○黒田委員 ソレデハ今山崎君ガ言ハレタヤウニ、七十五日モアルト云フヤウナ場合ニハ、政府ガ欲スレバ提出スルコトガ出來ルト云フ御説デスカ。

○次田委員 其七十五日ヲ以テ十分ナ會期トスルカセヌカト云フノガ、私ト山崎委員ノ説ノ岐レテ居ル所ナノデアリマス。

○黒田委員 ソレデハ九十日ナクテハ足りナイト云フ御説ナノデスカ、即チ通常議會ニ豫算案ト云フモノハ出サナケレバナラナイノデアルカラ、ソレハ三箇月デアルカラ、三箇月ナクテハ足りナイト云フ御考デスカ。

○次田委員 サウ云フ考デス、通常議會程ノ會期ヲ要スル……

○黒田委員 通常議會ト云フモノハ豫算ノミヲ審議スル會デハナクテ、法律案モアルシ又政治上色々ノ問題モアル、決シテ豫算案ダケヲ審議スル會デハナイ、デスカラ勿論通常議會ト云フモノハ非常ニ餘裕ヲ取ツテアツテ、豫算案ヲ審議シ又他ノ事モ議スルダケノ餘裕ヲ取ツテ居ル、ソレダカラ豫算ノ審議期間ト云フモノヲ特ニ短ク決メル必要ガアルノダテウト思ヒマス、然ルニ豫算ヲ提出スルトギニ、ドウシテモ通常議會ノ日數ダケナクチャナラヌト云フ其結論ノ出ル根據ヲ承リタイト思ヒマス。

○次田委員 特別議會ガ解散後五箇月内ニ必ズ召集シロト云フ規定ニナツテ居リマスコトハ、特別議會ニ豫算ヲ出セバソレダケデ宜イト云フ譯デハナイト思ヒマス、解散後ノ特別議會ハ、通常議會ヲ衆議院ガ解散ニナツタ其後ノ政治上ノ動キ、民意ガ其處ニ反映スルヤウニ特別議會ヲ五箇月内ニ召集スルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、矢張特別議會デモ通常議會ト同ジヤウニ、各般ノ事柄、各般ノ政治ニ關スル批判ガ行ハレルノデハナイカト思ヒマス、其間ニ立ツテ總豫算案ヲ審議スルト云フコトニナリマス、矢張通常議會ト略同ジ位ノ期間ガアル場合ニ總豫算ヲ提出スルト云フノガ憲法ノ精神ニ副フモノデハナカレヌカト云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○黒田委員 サウシマスト政府ノ御意見ハ、必ズシモ通常議會デナクテモ宜シイ、審議期間サヘアレバ宜シイ、其審議期間モ豫算ヲ審議スル期間ト、ソレカラ一般ノ他ノ事モ其時ノ情勢ニ依ツテ特別議會ニ、審

議スル期間ガアリサヘスレバ併セテ付議シテ宜シイ、即チ總豫算ヲ再提出シテモ宜シイト云フ御意見デスカ。

○次田委員 其通りデアリマス。

○濱田委員 今日ハ十一月説ノ當否ニ付テノ材料トシテ、豫算再提出ノ問題ノ研究ガ起ツタノデアリマス、餘リ此議論ガ廣ガリ過ギテ時間ガ延ビテモ如何カト心配シマスケレドモ、一寸憲法解釋ノ基礎觀念ニ付テ、一應政府側ノ御意見ヲ確カメテ置キタイト思ヒマス、此委員會ノ性質トシテ今後モ憲法解釋ノ議論ガ時々起ルダラウト思ヒマスカラ、私ハ此憲法解釋ノ基礎觀念ニ付テ一應政府側ノ御意見ヲ伺ツテ置クコトガ必要ダト思ヒマス、法制局側ノ御研究ニ依ルト、第一消極、第二積極デアルヤウデアリマスガ、第二ノ積極説ニ依ルト、憲法ニハ只今ノ意味ニ關スル限定竝ニ禁止ノ規定ガナイカラシテ、期間ニ關スル事實上ノ問題デアル、此基礎ノ觀念ヲ決メヌト云フト、是ハ大變ナ問題ガ起ルダラウト思ヒマス、例ヘバ議會ノ解散ガ、政府ノ提出シタ豫算案ノ重要ナル骨子ニ觸レテ、政府ト議會ノ多數黨ガ意見ヲ異ニシタ、ソコデ政府ハ解散ヲ實行シテ民意ヲ問フ、斯ウ云フノデ解散ヲスルノデアラウト思ヒマス、故ニ民意ヲ問フノデアレバ解散ニ因ル選舉ニ依ツテ現レタ結果ニ依ツテ、政府ノ所信ガ國民多數ノ贊成ヲ得テ居ル、或ハ政府反對ノ在野黨ノ意見ガ國民多數ノ意思デアル、云フトコロノ結果ヲ解散後ノ議會ノ上ニ現スコトガ解散ノ目的ダラウト私ハ思フ、此憲法解釋ノ根本觀念カラ云ヘバ、特別議會ニ衝突ノ原因トナツタ議案ヲ再ビ付議ス

ルト云フコトガ原則デハナイノデスカ、サウシナケレバ解散ト云フモノハ無意味ニナリハシマセヌカ、解散ニ依ツテ衝突シタル政府ノ所信ヲ民意ニ問フト云フ所ニ意義ガアル、ソレガナケレバ勝負ナシニ終ツテ解散ガ無意味ニナリマス、時ノ政府ニ在野黨ガ反對シタカラ懲罰ニ解散ヲスルト云フコトニ終リハシナイカ、解散ノ意義ハサウデハナイノデアリマシテ、長官自ラモ御説明ニナリマシタ通り、特別議會ハ所謂解散後ノ選舉ニ依ツテ現レタ結果ヲ捕捉シテ民意ノ暢達ヲ圖ル、之ガ特別議會ノ性質デアル、サウジテ見レバ、憲法ニ限定禁止ノ規定ガアレバ已ムヲ得ナイガ、規定ガナイ以上ハ成ベク解散後ノ議會ニ、所謂解散ノ原動力ニナツタ例ヘバ豫算案ヲ再提出シテ、國民ノ判斷ニ問フト云フコト、議會解散ノ意義デアリ憲法政治ノ意義デナケレバナラヌト思フノデスガ、甲ノ消極説ノ文理解釋ニ付テ色々御説明モアリマシタガ、ドウモ徹底シテ居ナイヤウニ思ヒマス、寧ろ憲法ノ解釋ト云フモノハ、限定禁止ノ規定ガナイ以上ハ、時代ノ進運ニ從ツテ民意ノ暢達ヲ圖ルト云フ趣旨デ、精々廣ゲテ解釋スルノガ宜イデハナイカト思ヒマス、而シテ本件ハ解散ノ場合ニ最モ問題ニナツテ居ツタ、衝突ノ原因トナツタ議案ヲ再審議シナケレバ、解散ト云フモノハ勝負ナシニナツテシマフ、無意味ノ懲罰ヲ行ツタト云フコトニナリハシナイカ、而シテ政府モ亦困リハシマセヌカ、自分ガ熱血ヲ濺ギテ編成シタル所ノ豫算ヲ在野多數黨ガ反對シタカラ、民意ヲ問フト云フノデ解散シテ、政府黨ガ多數ヲ制シタケレドモ、其熱血ヲ濺ギテ編成シタ新豫算ト云フモノハ成立シナイ、自己ノ意思ニアラザル豫算ヲ實行シナケレバナラヌ、ソレデハ解散シタ政府自身ニ取ツテモ解散

ガ無意味ニナル、又在野黨ガ勝ツタト云フコトニナレバ、民意ノ暢達ヲ圖ルベキ特別議會ニ於テ殊更ニ圖ラナイト云フコトニナリハシマセヌカ、私ハ解散ト云フコトノ意義ヲ徹底スル解釋ヲ施スコトガ、此場合ニ於ケル憲法解釋ノ重點デナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フコトニナリマスト限定禁止ノ文字ガアレバ已ムヲ得マセスケレドモ、限定禁止ノ文理解釋ヲ施スノ餘地ノナイモノヲ、間接的ノ解釋ニ依ツテ消極的ノ解釋ヲ定メルト云フコトハ私ハ不穩當デハナイカト思フ、此邊ニ付テハ何カ御研究デモアツタノデスカ、一應御所見ヲ拜承シテ置キタイト思ヒマス。

○次田委員 政府トシテハ之ヲ事務的ニ考ヘマスト——ソレヨリ先ニ解散ノ意義ニ關スル御説デアリマスガ、是ハ私ニ關スル限り全然御同感デアリマス、解散ト云フノハ政府ノ所信ヲ民意ニ問フノデアツテ、而シテ其民意ガ解散後ノ特別議會ニ現ハルベキモノデアルト云フ御説ニ付テハ全然御同感デゴザイマス、ソレデ從來ハドウ云フ風ニシテヤツテ居ツタカト申シマスルト、是ハ政府ガ會テ六十二議會ニ於テ答ヘマシタヤウナ解釋ヲ探レバ無論ノコト、サウデナク、一説ヲ採リマシテモ、實際解散後、年度内ニ特別議會ヲ開イテ總豫算案ヲ提出スル時間ガ今マデハナガツタ、然ラバドウシテ解散ニ依ツテ決ツタ民意ニ副フ事柄ヲヤツタカ、詰リ政府ノ政綱政策ガ國民ノ共鳴ヲ得タト云フ結果ヲドウシテ現ハシタカト申シマス、是ハ前年度豫算ヲ施行スル外ニ追加豫算ヲ計上致シマシテ、其追加豫算ノ中、政府ガ緊急ナモノト信ジテ居ルモノヲ以テ民意ト見テ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレヲサウ云フ面倒ナ手數ヲ執ラナイデ總豫

算案ガ其儘議決セラレルナラバ、是ハ政府トシテハ一番望マシイコトニ相違ナイト思ヒマス、殊ニ大藏省ノ事務ノ方カラ申シマスレバ、前年度豫算ヲ踏襲スルノト、ソレカラモウ一度シツガリシタ更正シタ豫算ヲ實行シ得ルコトハ、尙ト申シマスカ、手數ノ點カラ言ツテモ有ル方面カラ言ツテモ、前年度豫算ヲ踏襲セズニ濟ムト云フコトハ便利デアラウト思ヒマス、今マデハ憲法上ノ解釋ニ據リマシタカ、若クハ憲法上ノ解釋ハサウデナイトジテモ事實不可能デアツタガ爲ニ、追加豫算ヲ出シテソレデ政府ノ所信ヲ以テ特別議會ノ協贊ヲ經ルト云フ狀況チノデアリマス、ソレト同ジコトガ今想像シタヤウチ場合ニ起ツテ來ル譯チノデアリマス、憲法上ソレガ可能デアリ、不可能デアルト云フ解釋ガ決定シ、而シテ十分ニ審議ノ餘裕ガアツダ場合ニハ、ソレハ解散後ノ特別議會ニ總豫算案ヲモヅ一度提出シテ其成立ヲ圖ルコトハ好イノヂヤチイガト思ツテ居リマス。

○齋藤委員 此問題ニハ限リマセヌガ、ドウモ是マデ憲法上ノ問題ガ現レマスルト、憲法ノ法律的解釋ト、ソレカラ憲法ノ運用ニ關スル政治上ノ問題トガ混同セテレテ、議論ガ錯雜ニ流レルコトガ屬アルノデアリマシテ、此問題モ稍サウ云フ傾キガアルノデハナイカト、最前カラ私聞イテ居ルノデアリマス、憲法ノ法律上ノ解釋カラ言フト私ハ特別議會ニ通常總豫算ヲ出スト云フコトハ憲法自體ノ違反ニバナラナイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレハ一體豫算ノ不成立ト云フコトバドウ云フヤウナ場合デアルカ、此間ノ會ニ於テモ一體豫算ノ不成立ト云フコトハ何時決メラレルノデアルカト云フコトガ問題ニナリマシタガ、私

ハ豫算不成立ノ場合ハ三ツアルト思ヒマス、第一ハ兩院ニ於テ豫算ガ否決ニナツタ場合、第二ハ豫算ノ審議ガ未了ニナツタ場合、ソレカラ第三ハ議會ガ停會若クハ解散ニナツテ次ノ議會ガ開カレル迄ノ間、此開ガ豫算不成立ナノデアリマス、是ハ私チヨット今朝伊藤公ノ憲法義解ヲ見マシタ所ガヤハリ斯ウ云フコトガ書イテアル、議會ガ停會若クハ解散ニナツテ再開スル迄ガ即チ豫算ノ不成立ノ時期デアアル、解散ニナリマシタナラバ解散後ノ特別議會ガ開カレル迄ガ其翌年ノ豫算不成立ノ時期デアツテ、特別議會ガ開カレタ後ニ於テ尙ホ豫算ガ不成立デアルト云フコトハ言ヘナイ、即チ特別議會ニ於テ若シ豫算ヲ提出シテ其豫算ガ成立スルバ一向差支ハナイノデアリマスカラシテ、此法律上ノ解釋カラシテ實際上ノ問題ヲ考ヘテ見マスト、是マデノヤウナ總選舉後ノ特別議會デアツタナラバ、ソレハ實際上ニ於テ總豫算ヲ出スコトハ出來ナイノデアリマス、併シ例ヲ極端ニ取リマシテ假ニ法制局長官ノ言ハレルヤウニ三箇月期間ガナイト總豫算ヲバ審議決定スルニ不適當デアルト云フノガ憲法上ノ精神デアルト云フ解釋ヲ前提トシテモ、ソレナラバ議會ノ召集ヲ早クシテ——議會ノ召集ハ是マデハ十二月デアリ、又今回ノハ十一月中旬ト云フコトデアリマスガ、是ハ何モ憲法上ニ於テハ何時議會ヲ召集シナケレバナラヌト云フコトノ規定ハナイノデアリマスカラ、通常議會ヲバ十月ニ召集シテモ一向構ハヌ、九月ニ召集シテモ是ハ憲法違反デハナイ、假ニ十月ノ初ニ召集シテ劈頭解散ト云フコトニナルト、十一月ノ初頃總選舉ガ行ハレル、ソレカラシテ手續ヲ經テ特別議會ヲ開クト云フコトニナルト、特別議會ノ期間ヲ十分ニ三箇月充テルコトガ出來ルノデアリマ

ス、ソレデアアルカラ三箇月デナクチャイカスト云フコトヲ前提トシテモ、ヤハリ特別議會ニ於テ總豫算ヲ出シテモ構ハヌト云フコトニナル、又私ハ三箇月ノ期間ヲ置カネバ總豫算ヲ出スコトガ出來ナイト云フ憲法上ノ論據、是ハ實際問題ニナリマシテ、實際上政府ガ認メテ三箇月取ラナクテモ、二箇月デモ通常豫算ヲ審議スルコトガ出來ル、斯ウ政府ガ思ヘバソレハ總豫算ヲ出シテモ決シテ憲法違反チャナイト思フ、ソコハ實際上ノ憲法運用ニ關スル問題デアリマシテ、其時ノ事情ニ依ツテ政府ガ出シテ宜シイト思ヘバ政府ハ出スシ、出スコトガ出來ヌト思ヘバ政府ハ出サヌダケノコトデアアル、是ハ實際上ノ問題デアツテ憲法法律ノ問題チャナイト思フ、故ニ憲法ノ法律上ノ見地カラ申スナラバ、特別議會ニ總豫算ヲ出スコトハ決シテ違憲デハナイ、唯實際上ノ問題トシテ出スコトガ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、其時ノ事情ニ依ツテ決メルト云フコトヨリ外ニ私ハ方法ハナカラウト思ヒマスガ、ドウデセウ。

○次田委員 初ニ引用セラレマシタ憲法義解ノ豫算不成立ノ場合ノ第三トシテ議會ガ解散ニナツテ、其次ノ特別議會ガ召集セラレル迄ノ間ガ豫算不成立デアルト云フコト、是ハ私モ憲法義解ヲ讀ンダノデスガ、私ハ多少疑ヲ持ツテ居ルノデス、ソレハマダ私共ノ解釋デハ不成立ニナルカ、ナラヌカ分ラヌ状態ニ在ルノデ、其期間中ヲ不成立ト解釋スルコトガ宜イカドウカト云フコトニ付テハ私ハ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ是ハ今ノ議論ト直接關係ガアリマセヌカラ又他ノ機會ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、今御話ノ十月ニ召集シテ劈頭解散ニナツテヤツタ場合ニ、三箇月ノ期間ガアルカラソレハ特別議會ニ提出シテ

モ宜イデヤナイガ、ソレハ憲法違反デハナイト云フ御説バ、私モサウヤナイカト考ヘテ居リマス、唯十月ニ議會ヲ召集シテソコニ豫算ヲ出スト云フゴトハ、年度ハ豫算編成上ノ方ガテ故障ガアルノデヤナイカ、十一月ニ議會ヲ召集スルト云フゴトニ付テサヘモ大藏省デハ豫算ノ編成上非常ナ不便ガアル、即チ豫算ヲ編成スル時ト豫算ヲ實行スル時トノ間ニ期間ガアリ過ギルト云フ説ガアル位デアリマスガテ、更ニソレヲモウ一箇月繰上ゲテ十月ニ議會ヲ召集シテ、開會ノ初ニ豫算ヲ提出スルト云フゴトニナリマスト、實際ニ遠ク豫算ガ出來ルト云フゴトヲ其方カテノ支障ガアツテ、十月召集ト云フゴトハ事實難ガシイノデハナイカト思フノデアリマス、ソレガテ序ニ十一月案ニ致シマシテモ、今申上ゲマシタ如ク大藏當局ハ豫算編成ノ時期ト豫算執行ノ時期トノ間ニ、現在ニ較ベレバ約ニ箇月程ノ相違ヲ生ズル結果トシテ、若シサウ云フゴトニナレバ追加豫算ガ澤山ニ出ルゴトニナルデアラウ、確カ大隈内閣ノ時デシタガ、一度十一月ニ召集シテ、其時ニ翌年度ノ總豫算ヲ提出シテ、更ニ其議會ニ澤山ノ追加豫算ガゾロゾロ出テ豫算ノ全貌ヲ見ルノニ非常ナ支障ガアツタト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、マアサウ云フゴトガ起ル虞ガアルト云フゴトド、ソレガチモウ一ツハ議會ガ十一月ニ召集ニナレバ三箇月後ノ二月ノ中旬ニハ開會ニナル、サウスルト年度末ニガツテ財政上ノ緊急處分ヲシナケレバナクモ、從來ニ較ベテ多ク起リ得ルト云フゴトヲ心配スル、サウ云フヤウナコトヲ大藏當局ハ申サレテ居ルヤウデゴザイマスガテ、是モ十一月案ヲ御決定ニナリマス御參考ノ資料トシテ茲ニ併セテ申上ゲテ置キマス、何レニセヨ十月召集、劈頭解

散、ソレカラ直チニ總選舉ヲ行フト云フコトニナリマスレバ、特別議會ニ於テ豫算ヲ審議スルニ十分ノ會期ヲ取ルコトガ出來マス、而シテ其特別議會ニ總豫算ヲ提出スルコトハ、私ガ申上ゲマシタ第二ノ説ニ從ヘバ違憲デナイト云フコトハ御話ノ通りダト思ヒマス。

○齋藤委員 ツレダカラ私ハ法理論ト實際論ヲ區別シテ貫ヒタイト云フノデス、法理上ニ於テハ構ハストシテ、實際上ニ於テ十一月ニ召集スルト豫算ノ編成其他ニ於テ出來ナイ——若シ出來タナラバヤルルト云フコトニナルノデアツテ、是ハヤハリ法理上ノ問題デハナクシテ、實際上ノ運用ノ問題ヲラウト思ヒマス。

○西野委員 今ノ御話ハ私マダ了解ガ出來マセヌ、政府ノ御考ハドチラトモ本當ニ御決定ニ付ツテ居ラスト云フノデスカラ、此處ニ之ヲ決定シテ御答ハ得惡イカモ知レマセヌガ、只今ノ齋藤君ノ御話ノ如ク第一ノ説ニ依ツテ法理上イケナイト云フコトニ決ツテシマヘバ、説ノ善シ惡シハ別トシテ政府ノ意見ハ決ツテシマフ、第二ノ説ニ依リマスルト是ハ事實上ノ問題デアル、今齋藤君ノ御話ノ如クニ法理上ハ特別議會ニ提出スルコトハ差支ナイノデアルガ、總豫算ノ審議ト云フコトハ事實不可能デアラウト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、其第二ノ説トモ御決定ニナツテ居ラスノデセウカ、全然假定ノ問題トシテ第一ノ説ニ依レバ斯ウノ第二ノ説ニ依レバ斯ウト、唯假定的ノ議論ヲスルニ止マツテ居リマセウカ、其點ヲモウ一度伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○次田委員 詰リドチラノ説ヲ探ツテモ結論ハ同ジヤウニナリマスノデ、第一ノ説、第二ノ説、實際ニ迷フモノデアリマスカラ決メテ居リマセヌ。

○西野委員 是ハ憲法論トシテ色々御議論モアルダラウト思ヒマス、誰ガ考ヘマシテモ非常ニ重大ナ問題カニ知レマセヌガ、第二説ヲ採リマシタ場合ニ、是ハ先刻山崎君カラモ御話ガアツタノデスガ、法制局長官ノ想定セラレタ前提ト、山崎君ノ御話トハ、實ハ現行法ヲ其儘ニシテノ御話ト、ソレカラ相當ニ斟酌シ改善シテカラノ御話ト前提ガ違ツテ居ルヤウニ思ヒマス、先刻ノ法制局長官ノ御話デハ、假ニ十一月中旬召集、劈頭解散シテ一月ノ十九日若クハ二十日ニ議會ヲ召集シ得ル状態ニナツテ居ツタ場合ニ、尙ホ其餘レル七十日ノ期間デハ豫算ノ審議ガ足ラヌト云フヤウナ御話ノヤウニ承ツタノデスガ、一體豫算ノ審議ニ幾日費スヲ十分ナリトスルカ否ヤト云フコトハ、是ハ事實上ノ問題デ、幾日アツテモ不十分ト言ヘバ不十分デアリマスシ、其時ノ事情ニ依ツテ大急ギデヤラウト思ヒ、又存外ニ進捗スルコトモアラウト思ヒマス、今現ニ實際ノ事實トシテ毎年一月ノ二十日頃ニ豫算ヲ提出シテ居ルノデアリマシテ、會計法ノ規定ニ依ルト豫算ハ前年ノ議會ノ始ニ於テ之ヲ提出スベシト云フコトニナツテ居ルニモ拘ラズ、多年ノ慣行ニ依ルト言ヒマスカ、段々遅レテ今ハ開院式ガ行ハレテカラ二十日以上モ經ツテ初メテ豫算ガ提出ニナツテ居リマス、若シ法制局長官ノ御話ノヤウニ嚴格ナ解釋デ行クトスレバ、現在ノヤウニアト七十日シカナイノニ豫算ヲ提出スルト云フコトハ——豫算ヲ提出スル以上ハ三箇月ノ期間ガナケレバ審議出來ナイト云フ嚴

格ナ解釋デ行ケバ、現在ヤツテ居ルコトハ不當ト謂ハナケレバナラナイ、無論會期ノ短カイコトヲ今日不便トシテ居ル世ノ中デアリマスカラ、ソレハ九十日十分ニアルコトヲ必要トハシマセウガ、併シ解散後ノ議會ト云フヤウナ特別ナ事情ノ下ニ於テハ、又其時ノ政治上其他ノ特別ノ事情ニ依ツテハ、七十日デ好イノデヤナイカ、其邊ハ多少斟酌ノ餘地ガアラウト思ヒマス、隨テ今無理ニ想像シテモ仕方ガアリマセヌケレドモ、例ヘバ一月ノ二十日頃ニ召集シテモ會期ハ七十日シカナイノダカラドウシテモ年度内ニ豫算ノ成立ヲ見ルコトガ出來ナイト云フ、政府カラ言ヘバ議會ニ對スル遠慮ト云ヒマスカ、斟酌ヲ以テ、其時議會ヲ召集シ得ベキ状態デアルニモ拘ラズ、第二説ニ依レバ是ハ特別議會ヲ開イテ豫算ヲ審議スベキモノデハナイ、斯ウ云フ結論ニナルノダト云フ御話デアリマセウカ、ソコガ非常ニ了解シ兼ネルノデアリマスガ、モウ一度伺ヒタイ。

○次田委員 現在一月ノ二十日頃ニナツテ豫算ヲ提出シテ審議期間ハ七十日シカ實際ニ於テ使ハレテ居ナイ、ダカラ事實上七十日デ十分デヤナイカト云フ御話デアリマスガ、唯特別議會ハ憲法ニハ會期ノ定メラシテ居リマセヌ、其時ニ出ス案ヲ考慮シテ會期ヲ定ムベキモノデアルト致シマシテ、何ヲ標準ニシテ會期ヲ定メルカ、實際上七十日デヤツテ居ルカラソレデ行ケルノダト云フコトモ一ツノ見方ナノデアリマスガ、政府ノ方デ考ヘテ居リマスル所ハ、現ニ九十日ノ會期ガ短カ過ギテ困ツテ居ルト云フ説ト、又二十一日ノ委員會ノ豫算審査期間ガ短カ過ギテ困ツテ居ルト云フ説ガアル、ソレデヤハリ期スル所ハ何カ形式的

ノ根據ガ欲シイ、此形式的ノ根據ヲ探スト云フコトニナルト、常會ノ三箇月ト云フモノヲ採リタクナルゾデアリマス、今考ヘテ居リマス所ハ其邊ト御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○黒田委員 只今承リマシタ所ト先程ノ齋藤君ニ對スル御答トハ矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマス、先程私伺ヒマシタ時ニハ若シ期間ガ十分アレバ再ビ豫算案ヲ提出スルコトガ出來ルト云フ御答デアツタト記憶致シマス、所ガ今ハ三箇月ノ期間ガナケレバ再提出スルコトガ出來ナイ、再提出スルコトガ出來ナイ理由ハ三箇月ト云フ期間ニ根據ヲ置イテ居ルヤウニ承リマシタガ、何レヲ信ジテ宜シイノデアリマスカ。

○次田委員 豫算ヲ審議スルニ十分ナル期間ガアレバ特別議會ニ豫算ヲモウ一度提出シテ宜シイ、而シテ其豫算ヲ審議スルニ十分ナル期間トハ幾日デアルカト云フト、通常會ノ會期ヲ斟酌シテ三箇月ヲ必要トスルモノデアアル、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス。

○黒田委員 私ノ意見ハ申上ゲナイノデスガ、政府ノ御意見ガサウ確定シテ居ルノデアリマスカ、ソレダカラモウ此十一月案ニ於テ解散ニナツタ場合、政府ノ豫算ヲ再ビ提出スルコトハイケナイト云フ御説ナノデスカ、是ハ非常ナ大關係ガアリマス、若シ是ガ運用上期間ガアレバ宜シイト云フコトニナルバ、先程濱田君ガ述ベラレタヤウニ、憲法ノ運用上、政治ノ運行上非常ナ收穫デアリマス、即チ開期ガ變更サレタ爲ニ得ル所ノ效果ノ重大ナモノダト思フ、併シ今ノ政府ノ御説デ見ルト、ソレハ付イテ來ナイ、是ハ非常ニ遺憾ナコトダト思ヒマス、是ハ政府ノ御意見ニ依ツテハ餘程重大ナ結果ガ起キルト思ヒマスカラ、ソレハ

ハツキリシテ置イテ戴キタイ、而モ今日ハ御意見ガ略決マル、即チ十一月半バニ召集サレルコトガ宜シイト云フコトニ略御決マリニナル會議デアリマスカラ、政府ノ御意見ハハツキリ決メテ置キタイト思ヒマス。

○次田委員 政府ノ意見トシテハツキリ第一ノ説ヲ採ル、第二ノ説ヲ採ルト云フコトヲ御答申上ゲル時機ニマダ達シテ居ナイノデアリマス、法制局デ調べマシタコトヲ申上ゲルニ止マリマシテ、政府ノ意見ヲハツキリ申上ゲル爲ニハモウ一ツ手續ヲ執ラナイト申上ゲ兼ネルノデアリマス。

○山崎委員 モウ一點私念ノ爲ニ伺ツテ置キタイ、假ニ法制局長官ノ御話ノヤウナ考ヘ方ヲ採ルトシヤシテ、總豫算ヲ特別議會ニ出サナイ、斯ウ假定シマス、サウスルト次ノ年度ニ於テハ詰リ前年度豫算ヲ施行スルト云フ立前ニナリマスガ、其前年度豫算ニ對スル追加豫算ヲ前年度内ノ特別議會ニ提出スルコトガ出來マスカ、出來マセヌカ、其點ヲ伺ツテ置キタイ。

○次田委員 今十一月召集、劈頭解散、サウシテ出來ルダケ早イ機會ニ於テ議會ヲ召集スルト云フコトニサリマスルト、從來ノ前年度豫算ヲ踏襲シテソレニ對スル追加豫算ヲ付議致シマシタ特別議會ノ會期ハ長キハ四週間、短カキハ三週間ト云フ例デアリマスガ、今御話ノ如キ場合ニ於テハ追加豫算ハ提出シ得ルト思ツテ居リマス。

○西野委員 只今ノ山崎君ノ御質問ト法制局長官ノ御答トハ或ハ多少喰違ツテ居ルノデハナイカト思ヒマ

ス、山崎君ノ御質問ハ、恐ラク年度ノ終リ頃ニ特別議會ヲ召集シテ其年ノ豫算ハ出サス、例ヘバ一月二十日ニ特別議會ヲ召集シタト假定致シマス、特別議會ハ五箇月内トハナツテ居リマスケレドモ、今日ハ諸般ノ事情ガ變ツテ來テモット早ク召集シ得ルト云フコトカチ一月二十日ニ召集シタトシマス、先刻ノ及カナイ御意見カラスルト、一月二十日頃ニ特別議會ヲ開イテモ總豫算ヲ付議スル暇ガナイカラ豫算ハ提出シ得ラト云フ政府ノ立前デアル、私ハ其場合ニハ自分一個ノ考デハ、ソレハ豫算不成立ニナツタト云フヨリハ、政府ガ豫算ヲ提出シナイノデ豫算ガ不成立ニナルノダト思ヒマスケレドモ、自分ノ御意見ハ別トシテ、一方ニ政府ガサウ云フ御見解ヲ採ツテ、是デハ皆サンニ御審議ヲ願フ暇ハアリマセスカラ總豫算ハ提出致シマセヌ、來年度ハ憲法ノ規定ニ依ツテ總豫算ヲ提出致シマス、併シ前年度ノ豫算デハ色々不便ガアルカス、此特別議會ニ於テハ斯ウ云フ追加豫算ヲ出ス、斯ウ云フ追加豫算ヲ出スト言ツテ、追加豫算ノ形ニ於テ提出スル、實ハ總豫算ノ形ニ於テ協贊ヲ經ベキモノデアルガ、今日ハ豫算不成立ニナツタカラ、已ムヲ得ズ五月六月頃ニ開カルベキ特別議會ニ提出スベキモノヲ、年度内ノ丁度總豫算ヲ審議スベキヤウハ適當ノ時期ニ於テ追加豫算トシテ出セルカドウカト云フ御質問ダツタラウト思ヒマス、ソレハ出セルト云フ御考ハ對ウニ伺ヒマシタガ、ソレハ多少御答ガ御質問ノ趣旨ト行違ツタノデハナイカト思ヒマスガ……

○山崎委員 私人御尋シタノハ只今西野サンノ御話ノ通りデ、假ニ一月二十日頃特別議會ヲ召集スル、其ウシテ解散デ不成立ニナリマシタガ、不成立豫算デハ困ルカラ追加豫算ヲ要求致シマスト言ウテ提出ス

ル、ソレハドウモ常識的ニ考ヘテドンナモノデアラウカト實ハ懸念シテ伺ツタ譯デス、アナタノ御答ハ能ク分ツテ居リマス。

○西野委員 此點ハ大變法制局長官一人ヲ總攻撃スルヤウデ相濟ミマセヌガ、一ツ御研究ヲ願ヒタノ、第一說ヲ鑒テ御採リニナルノハ別問題トシテ、サウデナクテ今少シソニ裕トリノアル御議論ヲ、必ズ普通會議ガナクテモ總豫算ヲ提出スルノハ差支ナイノダ、斯ウ云フコトニナリマス、成ベク早イ機關ニ於テハ憲法ハ五箇月内ニ之ヲ召集スベシト云フコトニナツテ居リマスガ、是モ今日制定セラレルカバ其憲法ノ期間ハ短縮サレテ居ツタカモ知レマセヌ、其點ハ別問題ト致シマシテ、是ハ必要ニ迫ラレテ居ルノ兎ニ角民意ヲ問フト云フ意味デ議會ヲ解散シテ五箇月内ニ特別議會ヲ召集スルハソレハ一週間デモ二週間デモ早ク開キ得ルト云フコトニナツテ居リマスレバ、其前ニ總豫算ガ不成立ニナラントスル形勢ニ於テ國ノ必要カラシテ成ベク早ク議會ヲ召集シテ豫算ヲ成立サセルト云フコトノ最大ノ必要ニ迫ラレテ居ルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於テ特別議會デアルカ、或ハ會テアツタ例ノ如ク特別議會ニアラザルトシテ臨時議會デアルカ、ソレハドウモ宜シイガ、兎ニ角解散後ニ開キ得ベキ最早イ時期ニ議會ヲ開イテ豫算ヲ提出シテ、遅クトモ成ベク大速度デ以テ貴衆兩院ノ勉強ヲ強要シテ、サウシテ年度内ニ豫算ヲ成立シテ圖ルト云フコトガ、政府トシテハ絶大ノ政治上ノ必要ニ迫ラレテ居ルノデハナイカト思フ、ソレデハ其拘ヲズドウモ貴衆兩院ノ審議ニハ洵ニ不便デスル、三箇月ヲ足ラヌト言ツテ居ルハ三箇月内ノ氣

ノ毒デアルカラト云ツテ政府ガ手ヲ束ネテ豫算ヲ不提出ニシテ居ルト云フコトハ、豫算不成立ノ原因ガ議會ニ於テ審議シナイトカ、否決シタトカ云フノデハナクテ、政府ガ解散ヲ行ツタコトニ依ツテ議會ニ提出セヌト云フ消極的ノ結果デ、豫算ガ不成立ニナルト云フコトハ、是ハ憲法ノ豫期セザル所デハナイカト思ヒマス、是ハ一ツ事情ガ許セバ、即チ解散後ノ年度内ノ特別議會ニ豫算ヲ出シ得ルト云フコトニナツテ居レバ——ソレハ政治ノ其時ノ事情ニモ依リマセウガ、兎ニ角豫算ヲ提出スル、期間ハ二箇月デモ一箇月半デモソレハ間ニ合ヘバソレデ宜シイ、出シテカラコンナ短カイ期間デハ到底審議出來ヌト言ツテ議會ガ審議ヲ拒ンダラ、其時コソ憲法ニ於ケル帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セズダカラ、前年度豫算ヲ踏襲スルト云フ立派ナ理由ガ付クト思フ、其點ハ餘リ政府ノ御斟酌ガ過ギテ居ルノデハナイカト思ヒマス。

○**黒田委員** ソレカラ先程ノ政府ノ御考ヘ方トシテ、審議期間ガ三箇月ナクチャイカヌト云フ御説ハ私ハ非常ニ意外ナ感ニ打タレル、此點ハ餘程御考ヲ願ヒタイト思フ、ソレカラ此問題ハ先刻申シマシタ通りニ開期變更ト云フコトノ是非カ非カヲ考ヘル上ニモ大關係ガアル、若シ政府ガサウ云フヤウナ非常大消極的ナ——私ノ頭デハ不合理ナ考ヲ以テ臨マレルナラバ、此小委員會ハ通ツテモ、總會ニ至ツテ政府ノ意見ガチャント決ツテカラ反對ノ側ニ立タナケレバナラス入モアルカモ知レナイト思フ程重大ナコトダト思フ、サウシテ假決議程度ニ至ツテ政治上ノ手續ハ貴衆兩院ニ内々諮ラレル、サウシテ確定トナルノデアリマセウガ、其内々諮ラレル時ニモ、此開會期變更ニ伴フ最モ重要ナ一ツガ、唯政府ノ意見ニ依ツテ其效果

ヲ得ラレルカ、得ラレナイカ分ラナイト云フコトヲ以テ諮ラレナケレバナラスト云フコトハ洵ニ遺憾ダト思ヒマス、今日確タル政府ノ意見ヲ伺フコトガ出來ナイノ實ニ残念ダト私ハ思ヒマス、又確タル御意見ガ決ツテ今日出ラレルノガ相當ナ時機デヤナカッタカト思フ、私ハ少シ政府ハ怠慢ダト思フ、斯ウ云フ風ニ此小委員會ノ情勢ガナツテ居ルニ拘ラズ、政府ガ確タル意見ヲ決メテオイデニナラナカッタト云フコトハ私ハ洵ニ遺憾ニ思ヒマス。

○**齋藤委員** 此問題ハ斯ウ云フコトニ歸著スルノデヤナイデスカ、理窟カラ言ヘバ憲法上ニ於テハ特別議會ニ餘裕ガアレバ特別議會デ總豫算ヲ出シテモ行ケルノデハナイカ、實際問題トシテ出スコトガ出來ルカ、出來ヌカト云フコトハ其時ノ政府ノ責任ニ於テ決メルヨリ外ニ途ハナイノデアツテ、詰リ今日此處デハ政府ハ劈頭解散ノ場合ニ於テハ特別議會ノ召集ヲ早メテ、サウシテ特別議會ニ總豫算ヲ出セト云フコトヲ決メタ所ガ、ソレガドレダケノ力ガアルカ、ソレダカラ出サウト思ヘバ出スコトガ出來ル、ソコニ十一月説ト云フモノノ強味ガアル、之ヲ運用スル上ニ於テ十二月説ナラソレガ絕對ニ出來カイガ、十一月説ナラソレガ出來ル所ノ餘裕ガ確ニアルト云フコトガ、僕ハ結論ニナリハセヌカト思フノデス。

○**黒田委員** サウデアアルニ拘ラズ政府ハ九十日ノ期間ガナクチャイカヌ、提出出來ナイト云フ根據ハ九十日ナクチャイカヌト言ハレテ居ル、ダカラ全ク消極ノ議論ヲ採ツテ居ルノデ、折角ノ效果ト云フモノハ殆

○次田委員 御叱リヲ蒙リセシテ洵ニ恐縮デアリマス、ハツキリ政府モ前申シマシタ甲乙兩説ノ内何レヲ採ルカト云フコトヲ決メテ本委員會ニ臨ムバ宜シカワタ、忍ビマス、唯私共ノ考へ申説ヲ採リテモ乙説ヲ採ラザル結果ハ同シデアリト云フコトゾ、強ヒテ兩説何カト云フコトヲ決メテモ好イソク採ラナカト云フハ、最勅此委員會ヲ當初ニ申上ゲマシタヤウナ趣旨デシ、委員會ニ臨ンダ譯デカリマスガ、併ナガラ此委員會デ何等カノ御決定ヲ爲サル爲ニ政府ノ意思ヲ決メルモ、ニト云フコトデアリマスレバ、一ツ政府ヲ考テ決マル手續ヲ執ツテ貫フコトニ致シマス。

○濱田委員 大分議論ガ擴ガリマシタヤデアリマスガ、是非ハ長官ノ當ハレルヤウナ手續ヲ御執リテ願ヒタイト思ヒマス、法制局ノ考ノミデヤナシニ、マナ法制局ガ政府ノ意見ヲ中心ニナシテ居ル所ナラ、理事實デアリマスケレドモ、ソレヲ一ツ御檢討願フコトハ勿論、一應政府トシテ責任アル御考ヲ解釋シ其他御付テ御決メテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ序デスカラ一寸伺ヒタイワズガ、第一ノ消極説ハ根本觀念ハ憲法並通常豫算ト追加豫算ノ性質ニ相違ガアルト云フ解釋ナノデスガ、通常議會デモ追加豫算ハヤツ決居ルコトデセザ。

○次田委員 追加豫算、通常豫算ト云フ名稱ノ區別ハ、國家ノ豫算トシテ何モ政治上區別ハナク思フコトハ、前年度ノ豫算ヲ追加スルモイデアリ、或ハ來年度ノ豫算ヲ通常豫算デ出スゾ、年度ノ區別ハ

ナリマスケレドモ、何モ國家ノ豫算タルコトニ區別ハナイ、特別議會デ追加豫算ハ議セラレルガ、通常豫算ハ議セラレナイト云フコトハドウ云フ所カラ出ルソデスカ。

○次田委員 其學説ハ先ツ會計法ノ第七條ニ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ヲ始メ於テ之ヲ提出ス、此條ガカカテ、此前年ノ帝國議會ト云フコトハ通常會ト解釋スル外ハナイト思ヒマス、此會計法ノ第七條カラ考ヘテ見マシテ、又日本ノ會計制度ガ假豫算ノ制度ヲ設ケマセズ、總豫算ハ總テ會計年度開始前ニ成立スルコトヲ要スルコトトシテ居リマスル關係上、總豫算ヲ提出スル議會ハ通常會デアルコトヲ要スルコト云フ憲法ノ趣旨デアリ、サウ云フ説ナノデアリマス。

○濱田委員 只今御説明ノ豫算ト云フモノハ、通常ノ意味ニ於テ會計法ノ規定ニ依レバ會計年度ノ開始前ニ決メテケレバサト云フコトヲ御引用ニサツテナリマスガ、

○次田委員 引用シマシタ會計法ノ條文ハ、總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシト云フコトデアリマシテ、其前年ノ帝國議會ト云フモノハ通常會ヲ指シテアルト云フヤウニ解釋スル譯デアリマス。

○濱田委員 通常會ガ解散セラレタ場合ハ、通常會ト云フモノハ成立シテ居ラヌゾデスナ。

○次田委員 左様デゴサイマス。

○濱田委員 其解散後ハ消滅シタ譯デスナ。

○次田委員 左様デゴザイマス。

○濱田委員 常態ノ通常議會トハ違フノデスネ——ソレカラ會計年度ノ開始以前ニ通常豫算ト云フモノハ確定シナケレバオラスト云フ精神ハ、所謂消極說ノ解釋ノ根本觀念ニ觸レテ來ルモノデアリマスガ、特別議會ダツテ會計年度開始前ダツタラ此文理解釋カラ行ケバ構ハスト云フコトニナリハシマセスカ。

○次田委員 今申上ゲマシタノハ所謂第一說ノ憲法上通常議會以外ノ議會——臨時會、特別會ニ總豫算ヲ提出スベカラズト云フ論據ヲ申上ゲタノデアリマス。

○濱田委員 併シ豫算ト云フモノハ會計年度ノ開始前ニ確立シナケレバナラズト云フノガ會計法ノ精神デアリ、其文理解釋カラ行ケバヤハリ特別議會デモ年度開始前……

○次田委員 其方ハ差支ナイト思ヒマス。

○濱田委員 サウデスネ、會計法ノ原則、文理解釋カラ行ケバ、特別議會ニ出シテモ差支ナイト云ヌコトニナリマスネ。

○次田委員 其コトダケハサウデアリマス。

○山崎委員 何レ御考ヲ願フヤウナ模様デスガ、其場合ニ法制局長官ノ先刻黒田サシニ御答ヲダツタ會期九十日ナケレバ通常豫算ヲ審議スルノニハ不適當デアラウ、如何ニモ九十日ト云フ會期ノ全部ガナケレバ豫算ノ審議期間トシテハ不適當デアラウト云フヤウナ意味ハ御答ガアツタヤウデアリマシテ、九十日ト

云フ此形式ヲ非常ニ重ク御考ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、ソレハ議會ノ豫算審議ノ期間ヲ十分ニ取テウツト云フ、先刻西野サンカラモ御話ガアツタヤウニ、議會ニ對スル御親切ト云フカ、氣兼ね云ツカ、極メテ丁寧ナ御考ヘ方デアルカモ知レマセスケレドモ、併シ今日ノ實際カラ言ヘバ、下度西野サン御話ノヤウニ一月ノ二十日ニ總豫算ヲ提出シテ、今日既ニ九十日ノ會期ガ豫算ニハ必要デアルト云フ原則ハ採ツテ居ラスノデアリマス、是ハ政府ガ採ツテ居ラスノミナラズ、議會モ之ヲ慣行上認メテ來テ居ル、更ニ又豫算審議ノ實際ノ狀況ヲ見マス、貴族院ニ於テ豫算ノ大體三月ノ廿日附口ハデアツテ、ソコニ四十五日ト云フモノハ餘リガ出テ居ル譯デアリマス、假令ソレハ兩院ノ豫算委員會ノ審議期間ヲ多少延長スルトシテモ、ドウモ九十日ナケレバ通常豫算ヲ提出シテハナラズト云フ程ノ重イ意味ニ此九十日ト云フモノヲ御取リニナルコトハドウデアラウカト考ヘマス、此點ハ此處デ御答ヲ煩ハス必要ハアリマセスガ、御考ヲ願フ上ニ頭ニ置イテ戴キタイト思ヒマス。

○次田委員 能ク了承致シマシタ。

○濱田委員 此豫算再提出ノ論據ニ付テハ大體ニ應再度御檢討ヲ願フト云フコトデ納マリ掛ケテ居ルヤウデアリマスガ、前回ニ於テ議會振肅委員會ノ空氣モ成ベク此特別委員會ノ意見ニ一致セシムル手續ヲ執ルコトガ好イダラウト思フカラ、一應其方ニ齋藤君ナリ山崎君其他ノ政黨關係ノ委員諸君ト協力致シマシテ、振肅委員會ノ方モ成ベク纏メテ置キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、其經過ヲ此機會ニ甚ダ

僭越デアリマスガ私ヨリ申上テタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス、只今ノ豫算再提出ノ機會ヲ得ラレル
ト云フ見込ノコトモ實ハ振肅委員會ニ於テハ多少申上ゲタラバ、サウ云フコトニナルハ議會ノ機能ト云フ
モノハ大イニ發揮出來テ結構ナコトデアル、併シ是ハ政府ガ研究シテ確答スルト云フコトニナツテ居ルカ
ラ、ハ確定ノ問題ニハナツテ居ラズト云フ條件附テ報告シタラズ、唯振肅委員會ノ最モ重キヲ置キヤ
シ次期百ノ點デアリマス、參考案ノ十一月下旬ヨリ二月下旬マデト云フ十一月案ハ、前回デ明ニナリマシ
タ通り、是ハ吾々トシテハ十一月下旬デハ年末選舉其他ノ差支ガ起リマスノデ、内務ノ方面モ取締ニ困ル
ト云フ説出テ居ルコトデ、御尤デアリマス、又年末年始ノ色々ナ事項ガ關聯シテ來ルカヲ宜クアルヤ
イト云フコトモ常識上振肅委員會考ヘマシタ、是ハ十一月案トスルモ、十一月十五日ト云フコトヲ總
振肅委員會デハ言ツテ居リヤシタケレドモ、議會ノ召集日十五日ト限定的ニ言フコトハ此場合控入テ
カレバナルヤイカトモ思ヒヤシガ、大體ニ於テ中旬、二十日マデニ開院式ノ行ハレル程度デ政府側ガ同意
カレルヲ望ム、ソレハ十一月案ニ總テモ宜イ、斯ウ云フ條件附テ振肅委員會ノ空氣デアリマス、若シ
等シク十一月案ト申シマシタモ、十一月下旬ノ召集デハ振肅委員會ハ贊ハ總テマシマス、此點ハ大藏當局
於カレテ十一月案トスルベ、何レニシテモ豫算編成ヲ今ヨリ繰上テナケレバナラヌカラ、相當困難デア
ルト云フ御話デアリマシタガ、大藏省ニ於ケレテ二箇月ノ豫算編成繰上テ困難ヲ御忍ビ下サレテ御努力ヲ
ルト云フコトデアレバ、下旬ガ中旬ニ變リマスコトハ餘リ大シク相違モナイノデ、此處デハ大藏當局ノ

御所見ヲ拜承致シマシテ、若シ十一月案ニ今後繰マルト云フコトデアリマシタラバ、振肅委員會ハ實ガ
十五日ニ召集シテ戴キタリマシタガ、形ノ出ニ於テ二十日マデニ開院式ヲ行ハレラルト云フ政府
ノ御取計セ分願ヘルト云フ意味ニ於テ之ヲ總テタイ、斯ウ云フガ振肅委員會ノ實相デアリマス、此場合
出於キマシテ經過ヲ申上テテ置キマス。

○川越委員 只今御話モアリマシタカラ一寸大藏省ノ考テ述ベテ置キタイト思ヒマス、大藏當局ノ意見
シテ先程法制局長官カラ御紹介アリマシタラバ、重ネテ私ガ申上ゲル必要ハナカクウト思ヒマスガ、折
角濱田君シテ御話モアリマスカタ改メテ申上ゲマス、大藏省ト致シマシテハ先程モ議論ガアリマシタヤ
、只今ハ一月ノ二十日頃ニ豫算ヲ實際上提出シテ居ルノデアリマス、其二十日ニ提出スルノガ程度ハ
十一月ノ二十日或ハ十五日ト云フコトニナラヌ、豫算ノ提出ノ時期ト云フモノハ約ニ箇月短縮サレル
コトニナルデアリマス、現在一月二十日ニ豫算ガ提出サレルヤウニナリマシタコトニ付キマシタハ、是
ハ色々原因ガアリマス、ト申シマス、御承知ノ通り豫算ハ非常ニ浩濶ナモノデアリマシテ、アノ豫算書
ヲ印刷シマスノミハ、印刷局ガ晝夜兼行デ全能力ヲ發揮シテ取掛リマシタモ、約ニ箇月近イ日數ヲ要スル
クデアリマス、現在ノ事實ト致シマシタハ、十一月下旬ニハドウシテモ原稿ヲ印刷局ヘ送リマシタ、一
月二十日ニ間ニ合ハヌヤウナ次第デアリマス、ソレカラ原稿ヲ作りマシマス、豫定經費要求書ト云フヤウ
ナアツ浩濶ナ印刷原稿デアリマスガ、總豫算書ハ豫定經費要求書ト云クモノハ、各省ガ少シクマシテ

マシタモノヲ大藏省へ出シテ、ソレカラ印刷局へ廻送ノ間ニ約一箇月前後ノモノハドウシテモ要ルノデアリマス、デアリマスカラ只今ノ手續ト致シマシテハ十一月ノ中旬、場合ニ依ツテハ下旬ニナツタコトハアリマスケレドモ、十一月ノ中旬ニハ豫算ノ閣議ト云フモノガ決定致シマセスト、後ノ順序ガ段々狂ツテ參ル譯デアリマスカラ、之ヲ逆ニ考ヘテ行キマスト、十一月ノ旬若クハ下旬ニ議會ヲ開クト云フコトニナリマスト、豫算ノ閣議ト云フモノハ是カラ約二箇月引イタ九月月中旬頃ニハ決マラナケレバ議會ニ間ニ合ハスト云フコトニナリマス、サウ致シマスト閣議ノ時間モ此頃ハ段々ヤカマシクナリマシテ、元ハ二三日デ濟ンデ居ツタモノガ、一週間甚シキハ三週間モ掛ツタ例モアリマスガ、先ヅ相當ノ時日ハ閣議ニ要スルモト見ナケレバナリマセヌ、サウ云フ風ニシテ段々逆ニ計算シテ行キマスト、各省カラ概算ヲ大藏省へ出ス時期ガ大體七月三十一日、今年ハ八月ノ十日デ、臨時議會ガアリマシタノデ多少延ビマシタガ、大體七月三十一日マデニ各省カラ大藏省へ出スト云フ仕組ニ事實上ナツテ居リマス、是ガ二箇月手順ガ遅レマスト、五月ノ三十一日マデニハドンナコトガアツテモ各省カラ概算ヲ大藏省へ送ツテ貰ハナケレバ、後ハ審議ニ困ルト云フコトニナルデアリマシテ、七月三十一日マデニ各省カラ概算ヲ出シテ貰ツタノガ今日ノ實情デアリマスガ、議會ニ豫算ヲ提出スル時期ガ繰上リマスカラ、各省カラ概算ヲ出シテ貰ス時期ガ同ジヤカ繰上リマシレバ、大藏省ノ豫算審議期間ハドウセ同ジコトデアリマスノデ、先ヅ大藏省トシマシテハ時間的ニ考ヘマシテ大シタ違ヒハナイデアリマス、唯八月トカ七月トカ云フ非常ナ暑中ノ能率々下ツタ時分

ニ職務ヲ執ルト云フコトハ事實上非常ニ困ルコトデアリマスケレドモ、斯ウ云フコトハドウモ事柄自體ニ反對スル理由ニモナリマセヌノデ、役人ガ勉強シテヤレバ出來ルコトデアリマスカラ是ハ強ヒテ反對ノ理由ニハナリマセヌガ、要スルニ私共ノ最モ恐レルノハ果シテ各省ガ概算ヲ五月三十一日ト云フ時期ニ出シ得ラレルカドウカト云フコトニ非常ナ懸念ヲ持ツテ居ルデアリマス、是ガズルノハ遅レルト云フコトニナリマスレバ、是ハ大藏省ニシテモ豫算編成上ノ責任ハ負ヒ切レマセヌカラ、此問題ニ付キマシテハ唯大藏省ガ宜シトカ、イケナイトカ云フコトデナクシテ、政府全體トシテ各省ノ概算提出ノ時期ト云フモノガ五月三十一日ヲ嚴守シ得ルヤ否ヤト云フコトニ懸カルデアリマス、大藏省ガ宜シト御引受致シマシテモ、各省ノ概算提出ノ時期ガ非常ニ延ビルト云フコトデアレバ、到底責任ヲ背負ヒ切レヌ譯デアリマスカラ、是ハ只今ノ御話ハ大藏省ノミソ責任ト云フコトデナクシテ、政府共同ノ責任ト云フコトニシテ貰ハナケレバナラヌデアリマス、私共ガソレヲ引受ケルニ付キマシテハ、閣議等ニ於テ各省大臣並ニ各省ノ事務當局ノ固イ決心ヲ要求致シマシテ、何デモ彼デモ五月三十一日マデニハ大藏省へ概算ヲ送ツテヤルト云フ固キ旨質ガアリマスレバ、私共安心シテ十一月月中旬若クハ下旬ノ議會召集ト云フコトニハ同意致シテ差支カイデアリマス、大藏省ノ責任デナイト云フコトダケハ一ツドウカ御承知ヲ願ツテ、政府部内ノ手續ト致シマシテハ各省ガ十分ニ之ニ協力シテ必ズ出シテ貰フト云フコトガ第一ノ前提ニカルト思フデアリマス、ソレカラ第二問題ト致シマシテハ、先程御説ヲ伺ツテ居ルト一寸觸レラレテ居ツタデアリマス

ガ、五月三十一日マデニ各省ガ概算ヲ大藏省ニ送ル、而シテ其概算ハ翌年ノ四月以降ニ實行スベキ豫算デアリマス、此翌年ノ四月以降ニ實行スベキ豫算ヲ五月三十一日マデニ大藏省ヘ送ルトスレバ、各省デ之ヲ審議シテ或ハ新規ノ事業ヲ計畫シ其他色々各省ニ於テモ大藏省ヘ出ス迄ノ間ニハ、ヤハリ二箇月三箇月ノ準備ノ期間ハ要ルト思ヒマスカ、五月三十一日マデニ各省ガ概算ヲ大藏省ヘ出ストスレバ各省トシテハ非常ニ早イ時機ニ翌年度ノ豫算編成ノ準備ニ取掛ラナゲレバナラナイ、サウシマスト會計年度ヲ此儘ニシテ議會ノ開會ノ時期ノミヲ繰上ゲルト云フコトハ、豫算ノ執行ノ時期ト豫算編成ノ時期トノ間ニ非常ノ開キヲ生ズルト云フコトニナリマシテ、豫算ガ豫算デナイト云フコトニナル、例ヘバ見積リガ杜撰ニナルトカ、或ハ豫想以上ニ金ガ要ルトカ、或ハ豫想以上ニ金ガ要ラナイトカ、詰リ豫算ト云フモノハ單純ナル見積リデアツテ、比較的不完全ナモノニナル、極端ニ申セバ滅茶ナモノニナル、サウ云フ非難ハ免レナイト思フ又オアリマス、幸ニシテ今日ノ實情ハ先程申上ゲマシタヤウニ一月ノ二十日頃ニ豫算ヲ提出スル、隨テ大藏省デ審議スル時期モ遅レ、各省デ大藏省ヘ提出ナサル時期モ遅レテ居ルノデ、是ハ幸カ不幸カ、怪俄ノ功名ト云ヒマスカ、割合ニ事實ニ近イ豫算ガ組メル、所ガ豫算編成ノ時期ヲ二箇月繰上ゲルト云フコトニナリマス、翌年度ノ見込ヲ立テルノハ一年若クハ二年何箇月前ニ立テル、サウスルト見込ガ外レハ、口頭ノ豫算ガ多クナルト云フコトニナリマス、正確カ豫算ヲ組ミ得ルヤ否ヤト云フコトハ本質上疑問ガアルカデアリマス、ソコデ會計年度ヲ變ヘテ一月ニ繰上ゲテト云フヤウナ問題モ實ハ起ルノデアリマス、ソ

レハ別問題ト致シマシテ、會計年度ヲ四月ニシテ置イテ、議會開會ノ時期ヲ唯無暗ニ繰上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、今申上ゲタヤウナ本質的ノ故障ガ起ルノデアリマス、ソレガアツト、モウソハソレト下ゲルト云フコトニナリマス、又各省ガ五月三十一日迄ニ有ラユル場合ヲ想像シテ、有ラユル新規事項ヲ全部盛込シテ、所謂完全ナ總豫算ヲ出スト云フコトハ、今申上ゲタヤウニ諸種ノ困難ガアリマス、其結果今日カ想像シテ見マス、多分五月三十一日迄ニ出ス各省ノ概算ト云フモノハ、本當ノ骨組ガケラ出シマシテ、ドウシテモ必要ナ所謂基準豫算ニ近イモノヲ先ヅ大藏省ニ出シテ置イテ、サウシテ所謂新規事項ノヤウナモノハ追加概算ナリ若クハ追加豫算ナリデ要求スルコトニ事實上カセカト云フ懸念ガ極メ濃厚デアリマス、先刻御話モアラマシタヤウニ、過去ノ實例ニ於テ十一月ニ召集シテ議會ニ豫算ヲ出シタコトモアルノデアリマスガ、其豫算ハ總豫算トシテハ殆ド意味ノナイモノガ出來上ツテ、内閣ノ新規方針ヲドウスルトカ云フヤウナコトハ皆追加豫算ニ持ツテ行クト云フヤウナ惡弊ガ起ルガハカエウカ、サウ云フコトヲ實ハ心配シテ居ルノデアリマス、若シサウ云フコトモデモナリマス、折角ハ總豫算ト云フモノハ總豫算主義ト云フヤウナ性質ノモノニナリマシテ、豫算全體ヲ通覽スルノニ非常カ不便ヲ生ズルト云フコトモナリマス、又今日ノ會計法ノ上カテ諸ヒマス、追加豫算ヲ出シ得ルモノハ追加豫算ヲ出セル、斯ウ云フモノハ追加豫算ニ出シテハ困ルト云フヤウナ議論ガ議會デモ随分アリ、又吾々シテモ會計法ノ精神ニ副ハヌヤウナ追加豫算ヲ出スト云フコトハ甚ダ困ルノデ、是ハ追加豫算ニナルトカ

ナラヌト云フヤウナ紛議ヲ醸スコトガアリハセヌカ、サウ云フコトヲ懸念スルノデアリマス、デアリマスカラ豫算ノ編成ト云フコトハ、大蔵省ノ事務當局トシテハ、此委員會ノ御決議ニ依ツテ如何ヤウニモ努力致シマスガ、其爲ニハ各省ガ五月三十一日迄ニ完全ナル意味ノ概算ヲ出シテ貫ハケレバナラヌハ而シテ其期日ヲ必ズ間違ナク出シテ貫フト云フコト、今申上ゲマシタヤウニ何カガデモ追加豫算ニ持ツテ行クト云フヤウナコトハ極力避ケテヤツテ貫ハナケレバ、大蔵事務當局ガ唯引受ケタト云フコトダケデ此問題ハ解決スルモノデハナカラウト思ヒマス、モウツノ問題ハ、是ハ先程法制局長官カラ御紹介ガアリマシタガ、議會ガ早ク二月ニ濟ムト、三月一箇月會計年度ノ空キガ出來ルノデアリマス、其一箇月ノ空キガ出來ルト云フノハ、善イ方ノ意味ト惡イ方ノ意味ト二ツアル、善イ方カラ申シマスト、其間ニ新シイ仕事ヲスル上ニ色々ナ準備ガ要ルノデアリマスガ、豫算ガ成立シマスト直ニ其準備ニ掛カル、三月中ニ色々準備ヲシテ、官制ヲ出スモノハ官制ヲ出シテシマヒ、例ハ取調又ハ設計書ヲ作ルモノハ設計書ヲ作ルト云フコトガ、豫算ガ通ツテシマフト安心シテ其準備ガ出來マスカラ、四月一日新シイ年度ニ導入ルト、直ニ新規ノ事業デモ何デモ出來ルト云フノガ善イ方ノ點デアリマス、又惡イ方、困ル方ヲ想像致シマスト、二月ノ末カ三月ノ間ニ何か事變デモ起キマシタ時分ニハ一寸動キガ付カタクナル、其間ニ非常ニ困ルヤウノ事態ガ起リハシナイカ、議會開會中デアレバ追加豫算ヲ要求スルコトモ出來マスガ、議會ハモウ閉會シテシマツタ、サウカト云ツテ三月一箇月シカナイノ臨時議會ヲ開クト云フコトモ事實上出來マセヌ

カラ、其間ニ何か災害ノ事變ガ起ルト云フ場合ニハ一寸處置ニ困リハシナイカ、憲法七十條ノ非常處分ヲスル以外ニ途ナク幸ニ以テ剩餘金デモモ、從來ヤツタヤウニ剩餘金ヲ支出ト云フコトモ考ルノ餘餘ニテアラス、然レバ豫算上テハ殆ド剩餘金ト云フモノハアリマセヌ、取調又ハ設計書カラ、五月ノ年度末ニ當リテ議會ハ開カレナイ時期、剩餘金ガ有リ、非常ノ經費ノ支出ヲ要スル緊急事件ガ起ツタ場合、財政上ノ處分ヲシテ分ハナシト云フコトハ、是ハ理窟ノ問題デアリマス、非常ノ緊急事件ガ起ツタ事實上ノ問題トシテ政府ハ非常ニ困ルヤウナ立場ニ陥リハセヌカト云フコトハ、心配シ居ル譯デアリマス、先程御話ノアツク、十一月下旬ガ宜カ、十二月中旬ガ宜イカト云フコトハ、是ハ是ハ五十歩百歩ノ議論デアラス、十一月二十日ニ開會スルノガ宜イカ、十五日ニ開會スルノガ宜イカト云フコトハ、是ハ程度ノ問題デアリマス、別ニ其點ニ付テハ申上ゲマセヌ、大體論ハ、私ノ考ヘテ居ル事ダケヲ申上ゲマセヌ、豫算提出ノ時期ガ二箇月遅クナルハ、ケレドモ、三月三十一日始メ、從來ヨリ一箇月早ク議會ヲ終了スルデセウ、是ヤテ三月ノ末ニ終了シタノガ年度ハ、三月ノ末ニ終了スル、大體一箇月ノ餘裕ガ出來マスカラ、ソレカラ後ノ豫算編成ハ一箇月後レルコトニナル、二箇月後レルコトニナルハ、大ニ非感ヒマス、今デハ十一月ニ召集スルカラ、三月ノ末ニ開會ニナルケレドモ、十

十月ニ召集スレバ二月ノ末ニ閉會ニナルカラ、ソコデ現行法ヨリカ一箇月早く豫算編成ニ着手スルコトガ出来ル、ソレダカラ結局一箇月提出ガ早クナリハシマセスカ。

○川越委員 提出ガ二箇月早クナルト云フコトハ、詰リ七月ノ末ニ出シテ居ツタモノガ、五月ノ末ニ各省カテ言ヘバ出サナケレバナラス、大藏省カラ言ヘバ一月ノ二十日ニ出シテ居ツタモノガ十一月ノ二十日頃ニ出サナケレバナリマセスカラ、二箇月早クナルト云フコトハ其通りデアリマス、唯各省カラ言ヘバ、今迄カラ三月ハ議會ガアリマスケレドモ、今度ハ三月ニ議會ガナインデスカラ、各省ハ準備ノ期間トシテ五月ノ末ニ使ビ得ルカモ知レマセンヌ、サウ云フコトハアルカモ知レマセヌガ、唯考ヘラレマスノハ、歳出豫算ヨリモ歳入豫算ノ方が實際ハ困ルダラウト思ヒマス、ト申シマスノハ四月ノ年度ニ這入ツテ、サカシテ少クモ半年位ノ状態ヲ見マセスト、翌年度ノ歳入ガドレ位取レルカト云フコトハ、是ハ本當ノ事務的ノ問題アリマスケレドモ、少クトモ半年位ノ実績ヲ見タ上デナイト、本當ハ翌年度ノ見當ガ付カ大キクシテ、新年度ニ這入ツテ直ニ翌年度ノ歳入ヲ推算スルト云フコトニナリマスカラ、先程申上ゲマシタ通り歳入ノ歳出ノ確實性ト云フモノハ非常ニ薄弱ニナルト思ヒマス。

○齋藤委員、詰リ各省ガ豫算編成ニ取掛カルノハ、議會ガ濟ンダ翌月カラシテ取掛カルノチヤナレドモ、議會ガ三月ノ末ニ濟メバ四月カラ取掛カラレル、二月ニ濟メバ三月末カテ取掛カラル、云フコトニナリハシマセスカ。

- 川越委員 ソレハ各省ノ方ノ準備ノ期間ダケハ御話ノ通りデセウ、一箇月三月ガ使ヘマスカラ。
- 齋藤委員 ソレデスカラ是マデ七月三十一日迄ニ各省カラ豫算ヲ提出スルト云フコトハ、一箇月繰上ガテ六月三十日迄ニ豫算ヲ提出スルト云フコトニナリカセヌガ、何故カト言ヘバ、是迄ハ四五六七八九十箇月所セテ、今度ハ議會ハ三月ニ濟ミマスカラ三四五六七八九十箇月ニナツテ一箇月繰上ガル。
- 川越委員 各省ノ方ハソレデ宜シノデスカ、大藏省ハソレデハ困ル、豫算提出ノ時期ガ二箇月繰上ガルカラ、各省カラ貰フ時期ハ二箇月繰上ガテ貰フカレ困ルデスカ。
- 濱田委員 豫算ヲ印刷スル所ハ早クスルコトハ出来マセヌカ、唯各省ハ豫算ヲ提出スル所ハ、各省カラ貰フ時期ハ二箇月繰上ガテ貰フカレ困ルデスカ。
- 川越委員 民間ニテハ豫算ヲ見タラドウデス。
- 川越委員 印刷局ガナカレタラ、アレダケノモツヲ中々十一月二月デハ出来マセヌ。
- 濱田委員 印刷局ニハ器械ト人ニ限リガアルデセウ、民間デハレバ人間ト器械ニ限リハナイ、帝都印刷力ハ全面的ニ動員シテモ出来マセヌカ、印刷能力ハ下位デス。
- 川越委員 三十日ト云フソレハ見當デセウナ。
- 黒田委員 印刷ノ方法ヲ變ヘル所トハ出来マセヌカ。
- 川越委員 數字デスカラ間違ヒマシタラ目茶々々デス。

○藤田委員 横手書イタラドウデス。

○川越委員 ソレハ一ツ研究シテ見ヤセウ。

○濱田委員 一寸怪シクナツテ來タノデ心配ナノデスガ、私共三名ガ努力シテ、議會ノ振肅委員會ヲ十一月ノ方ニ引寄せ來タデスガ、ソレハ中旬ヨ云フコトガ非常ナ重大ナ條件ニナツテ居ルデス、十一月下旬下迄ソノ二十五日ヲ意味スルモノ申中ト云フヲ十五日ヲ意味スルモノトシテ置クコトニ十日間召集日ノ異動タカラ、事實上ニ於テ政府ニモ御異存ハアルマイト云フ豫想カラ、實ハ三名ガ中旬ヲ條件トシテ努力シテ來タ、所ガ此法制局カラ頂イタ參考案ノ結論ニハ、第一ニハ開期ヲ移サズシテ一月ノ休會ヲ一月十日ヲ以テ打切ルコト、是ハ一番簡易ナラデス、第二トシテハ十一月案、是ハ十一月下旬ヨシ三月下旬トスルコト、此案ハ法制局局部ノ意見デアツタメデスカ、政府各方面ト聯絡ヲ取ツタ參考案ハナカヌタメデスカ、川越君ノ意見ヲ聽イテ見ルト政府内部ノ聯絡ガ取レテ居ナイヤウニ思ヒマスガ、實際ハドウイハスカ。

○次田委員 一通リハ相談ヲシタ譯デアリマス、以テ色澤問題ニナツテ、東京府省考ヘテ見ルト、ア、云々點モアル、斯ク云フ點出アルト云フコト、ソレヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、ソレハ大體中旬案キ村ノ私共ガ考ヘテ居リマス、一番大キイ故障ハ大演習ノ關係デ、陛下ガ何時東京ニ御還御キナルカ是ハ最難從來ノ例ハソレヨリ早ク御還リニナツタコトモアリマス、ソレカラ後ニナツテ御還リニナツタコトモアリマ

ス、開院式ト云フモノハ重大ナ儀式デアリマシテ、是ハ御親臨ノ上デ式ヲ擧ゲテ居ラレルノデグリマ
スカヲ召集ハ別ト致シマシテモ、陛下ノ御還御ニナツタ上デ開院式ヲ行フ、其點ガ一番大キイ點デア
メデアリマス、ソレハ此前ニモ申上ゲタノデアリマス。

ソレガ丁度發言ノ機會ヲ得マシタカラ、モウ一ツ申上ゲ、置キタイト思ヒヤコトハ十一月中旬中
中旬三議會ガ開會セラレマシテ、衆議院豫算委員會ヲヤツテ、假ニ衆議院ガ年内豫算決議決トシ
シマス、直ニソレガ貴族院ニ送ラレル、サウシマス、貴族院豫算審査期間ニ付テ、議院法ノ規定ハ
カシテ知イシラナケレバナラズコトニナルデアリマス、ソレカラ假令年内ニ衆議院豫算審査決ハ十
二月下旬ナラ下旬ニ済マヌ中ニ休會ト云フコトニナラズ、二十一日ノ期間ガ休會中ニ於テ出云
ナコトニナリマシテ、是ハ考ヘテ見レバ、余アモ問題ニナリ得ルコトデアリマス、余ハ余カ政府
其豫算ヲ一度撤回シテ東マテ出直スト云フヤウナ方法ヲ探ツタト聞イテ居ルンデアリマス、兎ニ角問題
ニナリ得ルンデ、一月案ヲ御採用ニナリマスナラバ、其點ト立云フ風ニスルカト云フコトモ此委員會
ガ同時ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、私共ノ考ヘテ居リマス所デハ、休會ト云フモノハ委員會ニ於テ豫
算審査期間ノ申ニ勘定シナイト云フコトニシ、同時ニ其休會ニ付テ政府ノ同意ヲ必要トスル、去々ヤ
ウナ出トニデモスレバ宜イデヤナイカ、是ハ私ダケノ考デアリマス、此問題ハ十一月ニ御定メニナルナラ
バ同時ニ此委員會ガ御考置ヲ願ハサケレバナラズト思ヒマス。

○山崎委員 御尤ト思ヒマスガ、其點ハドウデスカ、アナタノ方デ幹事案ト云フカ、一ツ原案ヲ御起草ヲ願ツタ方デ宜クハアリマセヌデシヤウカ。

○濱田委員 川越サンノ方ノ御議論ハ分リマシタガ、是ハ政府トシテ確カリ相談シテ貰ハナイト、決メタ所ガ實行ガ出来ナケレバ何ニモナリマセヌ、大變ナ行違ヒヲ生ジマス、ドウゾ委員總會ト云ヌモノアリマヌシ、アナタ方ニ難キヲ責メルノデナリマセヌ、色々御盡力ニ依ツテ参考案ガ出来タノデアリマス、ウデスカ、之ガ川越サンノ言ハレル通りニ七月三十日迄ニ出ツテ居ツタモノヲ、二箇月繰上ガタセテ豫實オモソクガ出ナイ、先へ行ツテ行詰リヲ生ズルト御互メ體面ニモ關ハルト思ヒマス、豫算再提出ニ關スル憲法ノ法理上ノコトハ是ハ議論ニ屬スルコトデアリマセウガ、之ガ出来ナケレバ十一月案ハ吾等反對ト云フ迄ニハ振肅委員會ノ空氣ハカツテ居ラヌデス、併シ十一月中旬説ト云フモノハ事實的ニ限定サレテ居ル之ガ行ハレナイコトヲ決メテ、先へ行ツテ政府ト委員會ト立場ガ違ハレテモ御互ニ困ルハ豫算ノ編成ガ出来ヌト云フナラ出来ヌデ、此十一月説ハ排除シナケレバナラヌコトニナリマス、吾々ノ内情ヲ申上ゲル下...

○次田委員 其點ハ諒承致シマシタ。...

○西野委員 一寸濱田サンニ伺ヒマスガ、此處デ伺フノハ筋違ヒカ手知レマセヌガ、十一月説ヲ特ニ中...

旬迄繰上ゲナケレバナラヌト云フノハ、ソレハ何カ日取ノ關係デ、年内ニドウ云フ風ナ關係ガアルト云フノデ、此問題ヲ決メル上ニ於テ二十日デモ宜イノカ二十五日デモ宜イノカ、ドウシテモ十五日デナケレバイケナイカト云フコトノ理由ヲ承知シテ置キタイ。

○濱田委員 振肅委員會ノ經過内容ヲ赤裸々ニ申シマスレバ、少クモ二十日頃ニ開院式ヲ御舉行ニナルヤウニシナイト、劈頭解散ニナツタ折ニ、十二月二十五日迄ニ選舉ガ濟マナイト云フ意味ナノデス、ソレハ改正ノ評議ガ年末年始ニ掛カツテハイケナイ、二十五日迄ニ選舉ガ濟メバ、内務當局ノ御心配ニナツテ居ル選舉取締ノ問題ニモ觸レテ來ナイ、之ガ五日デモ後レテ年末年始ニ懸カルト云フコトニナルト、社會狀態ニ於テ宜シクナイ、二十五日迄ニ選舉ヲ濟マス、サウスレバ開院式ガ二十日頃迄ニ行ハレ、施政方針カ何カデ衝突シテ解散ニナルト云フ状態デアリマスカラ、二十五日頃ニ解散ニナリ、其間一箇月置イテ十二月二十五日ニ選舉ガ濟ム、二十日ニ開院式ガ行ハレルトスレバ十一月中旬ニハ召集ニナラケレバナラヌ、ソコデ前回ニサウ云フ時期ニハ御還幸ニナツテ居リマスカト先例ヲ御尋申シタ所ガ、早イトキニハ十八日御還幸ニナリ、又數年續イテ十一月二十日頃御還幸ニナツテ居ラレルト云フコトデアリマス、サウスルト二十日ト二十一日ハ一日違ヒデアリマスガ、其點ハ次善ニ行ハレ易イ二十日ニ開院式ヲヤツテ頂キタイト云フノガ十二月十五日迄ニ選舉ガ濟メバ年末年始ノ喰違ヒガ相當避ケラレル、斯ウ云フ爲デス。

○林委員長 今日ハ決メテ出テ來マセヌカラ、政府ノ御考ヲ願フト云フコトニ致シテ、他ニ御異議カ...

午後四時四十分散會

○ 總理事務 總理事務員會ノ決議ニ依リテ...

議會開會期ノ
變更ニ關スル 特別委員會議事速記錄 (第四回及
第五回)

目次

- 一 第四回特別委員會 昭和十一年十月十九日……………一頁
- 二 第五回特別委員會 昭和十一年十一月六日……………三三二

一 第四回特別委員會

昭和十二年十月十九日內閣總理大臣官舎ニ於テ午後二時二十分開會

○林委員長 帝國議會ノ開會期變更ニ關スル特別委員會ヲ開會致シマス。

○次田委員 前回ニ解散後ノ特別議會ニ再ビ總豫算ヲ提出スルコトガ出來ルカト云フ憲法上ノ疑義ニ關スル件トシテ、ソレカラ十二月中旬ニ若クハ下旬ニ議會ヲ召集スルトシテ、豫算ノ編成方間ニ合フカト云フニト關シテ、政府ノ意見ヲ取纏メテ御報告ヲ申上ダルヤウニト云フコトニナツテ居リマス、ソレヲ此際申上ダタイト思ヒマス。

解散後ノ特別議會ニモウ一度總豫算ヲ提出スルコトガ出來ルカト云フ問題ニ付キマシテハ、政府部内ニ於キマシテ話合ヒヲ致シマシタ結果、此憲法ノ解釋ニ關スル疑義ハ今ノ政府ガ積極消極何レニ決定ヲ致シマシテモ、ソレガ後ノ政府ヲ拘束スルモノデナイコトハ申ス程モナインデアリマシテ、之ヲ本當ニ權威ノアルヤウニ決定致シマスニハ、樞密院官制ノ定ムル所ニ從ヒマシテ樞密院ノ意見ニ待タナケレバナラナイ次第デアリマスガ、マダ現實ノ問題トナツテ居ラナイ架空ノ問題ニ付キマシテ樞密院へ御諮詢ヲ奏請スルト云フコトハ如何ナモノカ、從ツテ閣議ヲ正式ニ此問題ヲ決定スルコトハ差控エタイト云フ話合ヒニナツタフデアリマス、右ノ次第デアリマスカラ私カラ政府ノ見解ヲ閣議ヲ決定シタモノガ斯様々々デアルト云フ

風ニ御披露申スコトハ遺憾ナガラ致シ兼ネルノデアリマスガ、併シ此問題ニ關スル政府ノ大體ノ意旨ハ私カラ一通リ申上ゲ得ルト思フデアリマス、ソレハ大體解散後ノ特別議會ニハ總豫算ヲ再ビ提出スルコトヲ得ズト云フ消極說デアアルノデアリマス、即チ我憲法ノ解釋トシテハ、總豫算ヲ提出スルノハ通常議會ニ限ルノデアアル、通常議會ニ於テ總豫算ガ否決セラレマシタ場合デモ、貴衆兩院ノ議ガ一致シナイコトニ依ツテ總豫算ガ不成立ニナリマシタ場合デモ、或ハ總豫算議決前ニ衆議院ガ解散トナリマシタ場合ニ於キマシテモ、其年度内ニ開カル、他ノ議會ニハ最早總豫算ヲ提出スルコトガ出來ナイノデアアル、直ニ憲法第七十一條ガ働クベキモノデアアルト云フ解釋ナノデアリマス、此點ニ於テ私ガ此前ノ委員會ノトキニ申上ゲマシタ法制局ノ解釋ト云フモノハ訂正スルコトニ御承ヲ願ヒタイノデアリマス。

次三十一月ニ議會ヲ召集スルトシテ、豫算ガソレ迄ニ間ニ合フカドウカ、大藏次官ハ五月三十一日迄ニハ詰リ議會ガ線上ゲラレルト同シ程度デ、大藏省ハ豫算概算ガ同付セラレル日ガ線上ゲラレルナラバ差支ナイト云フ意味ノコトヲ御答ヘ致シマシテ、各省ニ於テ五月三十一日迄ニ豫算ノ概算ヲ大藏省ニ送付シ得ルヤ否ヤト云フコトニ付テ各省ノ意見ヲ聽イタイノデアリマス、所ガ各省ハ大體——全部デハアリマセヌガ、多クノ省ハソレハ困ルト云フ回答ヲ致シテ居ルノデアリマス、從來ハ年度ガ始リマシテ四、五、六、七、ト四箇月各省デ豫算概算ヲ編成スル時間ガアツタノデアリマスガ、ソレガ五月三十一日迄ニ線上ガルコトニナリマス、三、四、五ト三箇月ト云フコトニナルノデアリマス、所ガ三箇月ノ中ノ三月ハマダ前

年度中デアアルノデアリマス、マダ其年度ニモ這入ラナイ前ニ、其次ノ年度ノ豫算ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトデアアルノデアリマシテ、實際ニ於テハ四月五月二箇月ノ間に編成シナケレバナラヌト云フヤツテ關係ニナル、其豫算編成ニ使ヒ得ル時間ガソレダケ短縮スルコト、ソレカラ年度ノ初頭ニハ年度繰越ノ交渉トカ、詰リ前年度ノ豫算繰越承認ノ事務ニ付キマシテ、各省ガ大藏省ト交渉シナケレバナラヌト云フヤツテ、一方ニ於テ其色々ノ交渉ヲヤリツ、一方ニ於テ各省ノ會計課デ豫算ヲ編成スルト云フコトハ、非常ニ一時ニ仕事ガ嵩マツテ、充分豫算編成ニ力ヲ入レルコトガ出來ナイト、云フ事務上ノ故障ガ其困難ノ第一點デアリマス、ソレカラ第二ニ是ハ前カラ大藏次官ガ屢申上ゲマシタ通りニ、豫算編成ノ時期ガ早クナルニ從ツテ實際ト遠イ豫算ヲ作ル、實際ニ即シナイ虞ノ多イ豫算ヲ作ラナケレバナラヌ、詰リ上手デナイ、良イ豫算ガ作レナイコトニナル、大體ニ於テ此二ツハ點デ五月三十一日迄ニ大藏省ニ豫算見積ヲ同送スルコトガ事情甚ダ困難デアアルト云フコトヲ各省デハ申シテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ點ガ申上ゲテ委員各位ノ御考慮ヲ願フヤウニト云フコトヲ申付カリマシタノデアリマス、ソレカラモウツツ附加ヘテ申上ゲタイコトハ、是ハ屢、申上ゲタ事ナノデアリマスガ、陸軍ノ特別大演習ニ天皇陛下ガ行幸ニテリマス、其御還幸ノ日ニテニ關スル事ナノデアリマス、昭和二年カラ今日迄十年間ノ中、御還幸ニナリマシタ月日ヲ調べ見マスト、其内半分迄ハ十一月二十二日ニ御還幸シ、残り半分ニ於テは十一月二十三日ニ御還幸シ、ソレツテ居ルノデアリマス、此御還幸ノ日ニテカモウ少し線上ガルヤウニ大演習ノ方ノ計畫ヲ編成シテ貰ヘナイモノデアラウカト、云フコトヲ

陸軍當局ニ話ヲシテ見タノデアリマスガ、陸軍當局デハ是ハ參謀本部デ其計畫ヲスルノデアルカラシテ、必ズ二十日前ニ御還幸ニナルヤウニ大演習ノ計畫ヲスルト云フコトヲ保障スルコトハ出來ナイト、云フ返事ナノデアリマス、御承知ノ通り御還幸ニナリマシテモ直ガ即日ハ無論クコト、其翌日開院式ヲ行ハセラルト云フコトハ困難デアリマシテ、先ツ開院式ヲ行ハセラル旨ヲ仰出サレマシテ、ソレカラ其翌日ニ開院式ヲ舉行ニナリマスカラ、其御還幸ノ日ガ假ニ二十一日デアツタト致シマスト、二十三日ニ開院式ヲ舉行セラレル、最初ノ會議カ早クテ二十四日ト云フコトニナリマシテ、劈頭解散ノ場合ヲ想像致シマスルト、十二月ノ二十日ヲ過ギテ二十五日頃ニ總選舉ヲ行ハレルト云フコトニナルノデアリマシテ、司法省、内務省、遞信省ノ當局ニ於テ、ノデアリマシテ、其事ニ付キマシテハ是迄モ申上ゲマシタ通り、司法省、内務省、遞信省ノ當局ニ於テ、餘リニ年末ニ差迫ツタ總選舉ハ、取締其他ノ關係ニ於テ困ルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、其事ヲ併セテ御報告申上ゲマス。

○**預算委員** 一寸伺ヒタイデスガ、特別議會ニ總豫算ヲ提出スルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ問題デスガ、法制局ノ方デハ消極説ヲ取ツテ居ラレルト云フコトデスガ、前同ニハドウデアツタデスガ、消極モ積極モナカクデスガ、一寸忘レマシタガ、

○**次田委員** 只今御報告ヲ申上ゲマシタノハ、政府部内デ話合ヒマシタ結果、政府デハ本體消極説スアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、而シテ其點ニ於テ前同ニ私ガ法制局ノ意見トシテ申上ゲタコトハ取

消ス願ヒタイト云フコトヲ申シタノデアリマス。

○**齋藤委員** 實際問題トシテハ兎ニ角、憲法ノ法理上カラシテ特別議會ニ出セヌト云フ其根據ハドウ云フ所ニ在ルデスカ。

○**次田委員** 憲法ノ第四十二條ニ毎年帝國議會ヲ召集スベキコトヲ規定シテアリマス、而シテ憲法ノ第六十四條ニ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ毎年帝國議會ノ協贊ヲ經ベント云フコトヲ定メテ居ルノデアリマス、此二ツノ條文ヲ照シ合セテ考ヘルト、總豫算ハ毎年提出スルコトヲ要スルカラシテ、之ヲ議定スベキ議會モ亦毎年一回必ズ召集セラルコトヲ要スルコトヲ規定シテ居ルモノト云フ風ニ解スルノデアリマス、總豫算ノ性質及其内容ニ鑑ミマシテ、且之ニ伴フ法律案其他ノ議案ノ審議ヲ考ヘマシテ、之ニ相當スル長期ノ審査期間ヲ要スルト云フ意味デ通常會ハ三箇月ト云フコトモオツテ居ルモノト解スルデアリマシテ、通常會以外ノ臨時會若クハ特別議會ニ於テハ、憲法ハ毎年ノ召集又其會期ノ長短ヲ云フコトニ付テハ何等保障シテ居ナイノデアリマス、ソレハ斯ノ如キ議會ニ總豫算ノ如ク毎年提出スルコトヲ要シ且之ガ審議ニ關シ相當ノ長時間ヲ必要トスルモノ、審議セラルベキコトヲ豫想シナカク爲ナリト解スルノ外モ、イト思フイデアリマス、其召集ト、ソレカラ會期ノ最短期ニ付テ、常會ニ於テ規定シテ居ルガ如キ憲法上ハ保障ノナイ議會ニ總豫算ヲ提出スルコトヲ得ト解スルコトハ、恐ラク憲法ノ精神ニ副イオモレテラウ、常會ト常會以外ノ議會トノ區別セラルベキ點ハ總豫算ガ付議セラル、ト否トニ在ツテ、總豫算ガ付議セラルベ

キモノガ常會デアツテ、然ラザル他ノ會ハ總豫算ヲ付議セラルベキモノデアナイト解スルノガ其一點デアリマス、ソレカラ第二ノ點ハ憲法第七十一條ノ解釋カラ致シマシテ、先ツ從來ノ關係カラ申シマシレバ、解散後ノ議會ガ次ノ會計年度開始前デアリマシテモ、翌年度總豫算ヲ提出セズシテ、唯翌年度ノ追加豫算ノミヲ提出シテ居リマス、翌年度追加豫算案ノ提出ト云フコトハ、之ニ對應スル翌年度ノ總豫算案若クハ總豫算ノ存在スルコトヲ前提トスルモノデアアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、然ルニ從來ノ慣例ガ解散後ノ議會ニ翌年度ノ總豫算案ヲ提出セズシテ、唯翌年度ノ追加豫算案ノミヲ提出シテ居ルノハ、之ニ對應スル翌年度ノ總豫算ガ存在スルコトヲ前提トシテ、解スルノ外ハナイデアリマシテ、茲ニ所謂翌年度ノ總豫算トハ、議會解散ノトキ既ニ翌年度總豫算案ノ不成立ト云フコトガ決マツテ、而シテ憲法第七十一條ノ適用ニ依ツテ憲法上當然ニ前年度ノ豫算ヲ内容トシテ翌年度總豫算ガアツテ、ソレヲ指スモノト解スル外ナイデアリマス、此政府ノ先例ハ常會ノ解散ハ憲法第七十一條ノ豫算不成立ヲ當然伴フモノトノ解釋ヲ前提トシテ居ルモノデアリマス、即チ一度常會ガ解散セラレタ曉ニハ、當然ニ前年度ノ豫算ヲ施行スルコトガ確定シテ、之ニ對應スル追加豫算案ヲ提出スルノハ格別ト致シマシテ、最早翌年度ノ總豫算案ヲ提出スル餘地ナキモノト解釋シテ斯ノ如キ先例ガ出來テ居ルモノト思フデアリマス、而シテ斯ノ如キ解釋ハ解散後ノ議會召集ノ時期又ハ其召集セラレタ議會會期ノ長短ニ依ツテ差異ヲ生ズベキモノデアナイト考ヘラレルノデアリマス、解散後ノ議會ガ相當長期ノ審査期間ヲ存シテ、次ノ會計年度開始前ニ召集

セラレタ場合ニハ、憲法第七十一條ハマダ適用ヲ見ナイデアアル、更ニ翌年度ノ總豫算ヲ提出シ得ルト云フ議論ガアリマスガ、此議論ニ從ヒマス、解散後ノ議會ニ付キマシテハ憲法第四十五條ニ五箇月以内ニ之ヲ召集スベシト云フ制限ガアル許リデアリマスカラ、其召集ノ時期及會期ノ長短ノ定メ方如何ニ依リマシテ、或ハ豫算ガ不成立ニナリ或ハ豫算不成立ト云フコトガ生ジナイト云フコトニナリマシテ、事實上政府ノ考ヘ如何ニ依ツテ翌年度總豫算ノ成立不成立ガ決定セラレ、其解散後ノ議會ニ翌年度ノ豫算案ヲ提出スルガシナイカト云フコトガ決メラレルコトニナルノデアリマス、斯ノ如キ解釋ハ憲法ノ如キ之ガ解釋ノ嚴肅タルベキモノ、解釋トシテハ如何ナモノデアラウカ、恐ラクハ是ハ憲法ノ精神デアナイト云フノガ第一點デアリマス、ソレカラ解散後ノ特別議會ニ總豫算案ヲ再ビ提出シテ宜シイト云フ議論ヲ押詰メテ參リマスルト、結局所謂憲法第七十一條ノ豫算不成立ト云フコトハ、其年度ノ御仕舞マデニ豫算ガ成立シナイ、若シ年度ノ御仕舞マデニ何等カノ方法デ豫算ガ成立シ得ル道ガアルナラバ、マダ不成立トハ言ヘナイノダト云フコトニ歸著スルノデアリマス、サウナリマス通常會ニ於テ豫算ガ議決ニ至ラザイデ解散サレテシマツタ場合ノミナラズ、通常會ニ於テ豫算ヲ議會ガ否決シタ、而シテ其後ニ議會ガ解散サレタト云フフヤウナ場合ニ於キマシテモ、モウ一度解散後ノ特別議會ニ其否決セラレタ總豫算案ヲ提出シ得ルト云フコトニナルノデアリマス、又ソレト同ジヤウニ通常會ニ於テ貴衆兩院ノ議ガ一致シナイデ豫算ガ成立シナカツタ場合ニ於テモ、其後ノ臨時議會若クハ特別議會ニモウ一度總豫算ヲ提出シテ其協賛ヲ求メルコトガ

出來ルト云フ解釋ニナラナケレバ論理ガ一貫シナイコトニナルノデアリマス、ソコマデ考ヘルベキモノデアラウカ、一度議會ノ意思ヲ問ウテ、議會ガ否決シタナラバ其場合ニモウ豫算ハ不成立ト考ヘルコトガ正シイ解釋デハナカラウカト、云フ風ニ考ヘルノデアリマス。

大體右述ニマシタヤウナ次第デ、日本ノ憲法ノ建前トシテハ總豫算案ヲ通常會ニ提出スベキデアル、而シテ通常會ニ於テ豫算案ガ議定セラレズ、若クハ豫算ガ成立ニナラナカツタナラバ、モウ其時ニ豫算ガ不成立ト云フコトハ確定シテ、政府ハ必ズ其翌年度ノ豫算トシテハ、前年度豫算ヲ踏襲スルト云フコトヲ決メナケレバナラヌノダト、憲法第七十一條ガ直ニ働イテ來ルノデ、政府ガ次ノ特別議會ニ總豫算ヲ再ビ提出スル餘地ハナイノダ、ソレガ憲法ノ精神デアラウ、マア大體サウ云フヤウナ理論ヲ消極説ヲ採ル譯デアリマス。

○齋藤委員 別ニ議論ヲ致シマセヌガ、前同ニモ一寸一言シマシタガ、ドウモ憲法ノ法理上ノ問題トシテ、憲法ノ運用ニ關スル問題ヲ常ニ混同セラレルノデアリマス、今ノ法制局長官ノ御意見ハ憲法ノ運用上ノ問題デ、又實際問題トシテハサウナラナクチャナラヌノデアリマスケレドモ、法理上ノ觀念ニ於テ少シ承服シナイ所ガアリマス、私ハ法理上ニ於テハ一向差支ナイケレドモ、實際上慣例上ニ於テハサウ云フコトヲヤツテ居ラヌシ、又出來得ベキモノデナイト考ヘテ居リマス、結局法理ト云ヘバ極メテ無味乾燥ノモノデアリマスケレドモ、法理上ニ於テハ私ハ出シテモ宜カラウト思ヒマス、併シ事實ニ於テハ中々出セルモノデア

ハアリマセヌ、又從來ノ慣例モ出シテ居リマセヌカラ、實行上運用上ノ問題トシテハ全然違イノデアリマスケレドモ、法理觀念ニ於テハ少シ勝ニ落チヌ點ガアリマス、併シソレハ今日彼此ノ議論シタ所ガ實益ノカオ問題デアリマスカラ致シマセヌガ、ドウモ其點ニ付テ少シ私自身ニ於テ承服セヌ所ガアリマス、ソレバ多クノコトヲ申上テ置キマス。

○山崎委員 今ノ憲法ノ解釋問題ニ付テハ、モウ私ハ何モ申シマセヌ、二ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、一ハ政府ノ方デハ會計法デ「總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ヲ始メ於テ之ヲ提出スヘシ」此規定ヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、正面カラ解釋シマスト矢張十二月ノ中ニ總豫算ヲ提出サレルモノト解釋スベキモノト思フノデアリマスルガ、實際ハ豫算ガ後レルト云フヤウナコトカラ、翌年ノ二月ノ三十一日ニ御提出ニナルト云フヤウナ慣例ニナツテ居リマスガ、正面カラ解釋スレバ矢張十二月ノ中ニ提出スルノガ正シクハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソレガ假ニ正シイモノトシマスト、法ハ矢張議ツテ行カレルノガ當然ノ事デアル、之ヲ護ルトスレバ現在ノ豫算ノ編成期ハ當然繰上テラレナケレバナラナイ、今ノ制度ニ於テハ繰上テラレルノガ相當デハナイカ、今後レテ居ルコトハ寧ろ法ヲ忠實ニ行ツテ居ラヌ、斯ウ云フコトデハナイカト思フデスガ、其點ヲ先ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○川越委員 今ノ山崎サンノ御質問ノ歳入歳出ノ豫算ハ前年ノ帝國議會集會ヲ始メ於テ之ヲ提出スルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ法律論トシテハ色々解釋

ノ規定ト云フモノハ色々法理的ノ議論モアリマセウケレドモ、矢張全體ノ運用ト申シマスガ、ニ依ツテ然ルベク——何ト申シマスカ解釋シテ今日マデ來テ居ル現状デアリマシテ、集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スベシト云フコトハ、議會ガ成立シテサウシテ兩院共ニ議事ニ入ル、其議事ニ入ル始ニ提出スル、云フ風ニ今日事實上カテ解釋サレテ居ルノデアリマス、法理的ノ解釋ガ善イカ悪イカハ別トシテ、例ヘバ現在ノ制度トシテハ、十二月末ニ所謂議會ガ召集サレマシテモ、議長ノ選舉ガアツタリ色々シマシテ、鬼ニ角兩院ガ成立シテ開院式ガ行ハレマシテ、サウシテ議會ガ休會ニナツテ、事實議會ガ議事トシテノ議事ヲ御開キニナルノハ一月ノ二十日前後デアルヤウデアリマスカラ、此會計法ノ解釋ト致シマシテハ、議會ガ召集サレタトキニ直ニ出セト云フ風ニ私共考ヘテ居リマセヌデ、議會ガ議事ニ入ラレル其始ニ出ス、斯ウ云フ風ニ事實上解釋シテ今日マデ來テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ休會ヲスルトカ、シナイトカ云フコトハ是ハ議會ノ慣例デアリマシテ、若シ此慣例ガ改メラレテ、サウシテ十二月ニ召集セラレタナラバ、開院式ガアツテ直ニ一般的ノ議事ガ始マルト云フコトデアリマスナラバ、是ハ會計法ノ規定ニ依ツテ總豫算ハ當然十二月ノ末ニ出サカケレバナラスコトニナラウト思ヒマス、是ハ議會ニ於ケル慣例ト申シマスガ、或ハ申合セト申シマスガ、鬼ニ角實際問題トシテハ十二月中ニハ議會ノ議事ガ開カレナイ、一月下旬ニ議事ガ開カレル、其議事ノ始ル劈頭ニ豫算ヲ出セバ宜イ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ來テ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ先年一度問題ガ起ツタコトデアリマス、大正天皇ガ崩御サレマシタノハ十二月二十五日デア

リマスガ、其時ハ既ニ議會ガ召集サレマシテ成立シテ居ッタノデアリマス、普通ノ年デアリマスナラバ、議會ハ成立シテ開院式ガアリマシテモ、議事ニ入ラスシテ休會サレテ、一月ノ下旬ニ又議事ノ始マル劈頭ニ豫算ヲ出スノデアリマスケレドモ、其大正天皇崩御トキニハ十二月二十五日ニ崩御ニナリマシテ、崩御ニナレバ直ニ國葬ニナルノデアリマス、國葬ノ經費ハ議會ノ開會中デアアルニ拘ラズ、國家ノ大典ト云フ國葬ノ經費ヲ豫算外支出ノ形ニ於テヤルコトハ面白クナイ、折角議會ガ開カレテ居ルノデアアルカラ議會ニ於テ此國葬ノ費用ヲ議決スルト云フコトガ、議會政治ノ上カラ見テ極メテ必要デハナイカ、云ウヤウナコトカラ其年ニ限ツテ何ト申シマスガ、十二月ノ末ニ召集セラレタ議會ガ議事ニ入ラレタ、詰リ國葬豫算ノ審議ヲナサレタノデアリマス、其時ニ大藏省ハ色々此點ヲ研究致シマシテ、總豫算ハ議會集會ノ始ニ出セト云フコトハ、先程申上ダテ解釋デ來タノデアリマスケレドモ、其時ハ十二月ノ末ニ議會ガ議事ニ入ルノデアアル議事ヲ入ル以上ハ集會ノ始ニ出セト云フ會計法ノ規定ニ依リマシテ、其年ハ總豫算ヲ十二月ノ末ニ出サカケレバナラスノデハナイカ、云フ風ニ實ハ私共色々考ヘマシテ、其點ニ付テ研究シタノデアリマスガ、各派ノ方々、議院ノ方トモ色々打合セラ致シマシタガ、マア其間ニ色々ノ議論モアルノデアリマスガ、各種ノ議論ヲ除キマシテ結論ヲ申上ゲマスト、集會ヲ始メノ議事ト云フノハ一般的ノ國務ヲ議スルト云フコトヲ意味スレバ宜シイノデアツテ、國葬豫算ト云フサウ云フ特別ノ議事ヲスルトキニハ、マダ會計法ノ意味カラ云ツテ、何ト申シマスカ總豫算ヲ出サヌデモ宜シイ、議會ガ一般的ノ議事ニ入り總豫算ノ議事ヲ

爲スト云フ其劈頭ニ出セバ宜シイノダト云フ風ニ議院側ノ御解釋モ決マリマシテ、大體ノ點ヲ相談ノ上
デ、實ニ其年總豫算ハ矢張一月ノ末ノ休會明ケノ議會ノ劈頭ニ總豫算ヲ出スト云フコトニ決マツタ譯デア
リマス、今日ト致シマシテハ會計法ノ規定ハ集會ノ始ト書イテアリマスケレドモ、ソレハ唯議會ガ召集サ
レテ開院式ヲ舉行サレタト云フ意味デナクシテ、一般的ノ議事ニ入ル其劈頭ニ出ス、斯ウ云フ風ニ解釋シ
テ居ルノデアリマス。

○山崎委員　モウ實際ノ實情ハ今御話ニナツタヤウニ取扱ツテ居ルコトハ能ク承知シテ居ルコトデアリマ
スガ、ソコデドウモ此憲法トカ或ハ之ニ附随スル法律ノ解釋トシマシテモ、矢張實際ノ運用上ハ相當者
ヲ宜イモノデヤナイカト思フデアリマスガ、其問題ハ此程度ニシテ置キマス。

次ニ御尋シテ置キタイト思ヒマスノハ、今法制局長官ハ各省ノ概算提出ニ付テ諮ツテ見タトコロガ、多少
ノ省ハ大藏省ノ言ハレル五月末ト云フコトハ困ルハ、斯ウ云フコトデアツタト云フ御話デアリマス、私コ
レ御尋シテ見タイト思フコトハ、一體各省ノ概算ノ編成ナリ、延イテツレガ大藏省ノ査定ニモ關係シテ參
リヤスガ、私共ノ外部カラ彼此レ言フノモドウカト思ヒマスケレドモ、私共ノ觀察スルトコロデハ、各省
概算ノ編成ノ仕方、ソレカラ從ツテ大藏省ノ査定ノヤリ方等ニ付テ事務的ニ見テ相當ニハ刷新スベキ餘地
ガアルンデヤカイヤカハ私共ノ乏シイ經驗カラシマシテモ、其點ハ矢張考ヘサセラルル點ガアルヤウニ思
フ、是ハ此處ニ御出ノ西野サントカ大藏次官サトハ必ズ私ト同ジヤウナ感シラ御持チニナルノデハナイカ

ト思フ位ナノデアリマス、其邊ニ付テハ政府ハ相當ノ御研究ガアツタノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、
唯各省ノ事務次官會議ニ、五月末迄ニ出セルカ出セヌカ、唯是ダケヲ御聽キニナル場合ニハ、是ハ甚ク普
ト總務事務カモ知レヤセヌガ、各省ノ責任者トシテハ、成ルベク責任ノ掛カラヌ方ガ宜イ譯デアリマスガ
ラ、ソレハ困ルト言ハレルコトモ私ハ無理イチト思ヒマスケレドモ、問題ハ更ニ突進ンデ一體概算ノ編
成ノ仕方等ニ付テ改善ノ餘地ガアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テハ政府ノ出極ニ居ラレル方々ハ相當御考
ニナルベキ事デハナイカ、マア庶政ニ新トカ何トカ云フコトヲ類ニ言ハレテ居リマスガ、サウ云フ大藏
問題デオク、唯事務的ニ考ヘテモ餘程刷新ノ餘地ガアルノデハナイカ、云フ風ニ外部カラ素人觀察デアリ
マスガ、サウ云フ感シガスルノデアリマス、其點ヲ充分御考ニナツタ結果ガアルカドウカ、其點ヲ伺ツテ
置キタイト思ヒマス。

○大田委員　大藏省ノ方ハ現在ハ七月末日迄ニ各省カラ豫算概算書ガ來テ居ルノデアリマスガ、議會ノ開
會期ガ事實上從來ヨリ二箇月繰上ダラレテ、ソレダケ早ク議會ニ豫算ヲ提出シナケレバナラヌト云フコト
ニナルナラバ、概算書ハ從來ヨリ二箇月繰上ダテ五月末日迄ニ大藏省ハ貫カナケレバナラヌ、二月ノ末ニ
議會ガ濟ンデシマラナラバ、三月モ豫算編成ニ使ヘルノデアルカラ、五月末日迄ニ拵ヘルト云フコトニ付
テ各省ノ意見ヲ徵シテ譯ナシデアリマス、マアソレニ對スル返事ノ困難ダト云フ程度ハ其省ニ依ツテ違フ
ノデアリマスガ、一番強ク議論ヲスル所ハ、現在通り七月末日デサケレバイカヌ、之ガ一番強ク議論デア

リマス、五月末日デハ迎モ出来ナイ、七月末日デナケレバナス、從來通り七月末日迄ニ大藏省ハ出ツテ、
 差支ナイト云フナラバ結構ダ、斯ウ云フノデアリマス、要スルニ今迄議會ハ、只今御話ノ如ク三十二月ノ
 二十日過ぎノ召集ヲ拘ラズ、一十月ハ豫算ヲ提出スルノヲ延シテ居ル、議會ガツレダケ豫算ヲ審議スルノヲ
 喰込シテ居ルノデアリマス、其一十月ヲ何處デ持ツカ、サウ云フコトニ歸著スルノデアリマス、大藏省ハ
 其一十月ヲ各省ノ方デ持ツテ貫ヒタイ、各省ハ其一十月ヲ強ク主張スル省ハ一十月ヲ自分ノ方デ持ツドコ
 ロデハナイ、大藏省ニ其一十月以上、モウ一十月勉強シロト云フコトニナツテ居リマス、餘リニ意見ノ間
 隔ガ酷過ギルノデ實ハ吾々ノ方モ困ツタノデアリマス、之ガ其一十月ヲ例ヘバ自分ノ方デモソレダケ勉強
 ニスルカラ大藏省ノ方モ勉強スルヤウニト云フ話合ガ付クト非常ニ結構ト思ヒマシテ、多少其間ノ話合モ
 シ別見タノデアリマスガ、ドウモソレハ出来ナイト云フコトガアルノデアリマシテ、今日御報告申上ゲテ
 ヤウニ落著イタノデアリマス、更ニ又豫算概算ノ方ノ審議ノ手續ヲ改良スルコトニ依ツテ、各省並ニ大藏
 省デ使ツテ居ル時間ヲ短クスルコトガ出来ルカ、ドウカト云フコトハ、此問題ヲ審議スル際ニハ問題ニト
 マナカツタノデアリマス、此點ハ御注意ヲ伺ヘバサウズベキデアツタト思ヒマス。

○山崎委員 是ハ特別委員會デスカラ打明ケテ御話ヲ申上ゲテモ差支ナイト思ヒマス、ドウゾ其御積リデ
 御聽テ願ヒタイト思ヒマス、兎ニ角政府デ議會制度調査會ト云フモノヲ設ケラレテ、而モ議會ノ會期ノ間
 題ハ政府ガ——政府デハアリマス、マイガ幹事ト申シマスカ、其方面カラ第一ノ調査項目ヲ御擧ゲニナツ

テ、サウシテ茲ニ特別委員會ト云フモノガ出来タ譯デアリマス、或ハ政府ノ側カラ仰シヤレバ、ソレハ衆
 議院デサウ云フ論ガ出タノダカラ、ソコデマダドシナモノカ、政府ノ方ハ考ヘハナカツタケレドモ調査會
 ハ懸ケテ見タノダ、斯ウ云フ極ク輕イ意味ニ御考ニナルカモ知レヌ譯デアリマスケレドモ、兎ニ角議會
 制度調査會ト云フモノヲ御設ケニナツテ、サウシテ皆熱心ニ此問題ヲ政府カラ審議ヲ御求メニナツテ居ル
 ノデアリマス、從ツテ此委員會テ重要ナ問題トナツテ居ル點ニ付テ、政府側ノ御考ヲ委員會ノ方カラ擧
 めテ向ツ場合ニハ、申ス迄モナイコトデアリマスガ出来ルダケ御調ベト御努力ハ、實ハヨシナコトヲ申
 上ゲテハ甚ダ御無禮デアリマスガ、當然ナケレバナラヌ譯デアリマス、ソコデ此會期變更ノ問題ニ付テモ
 隨分數回ニ互ツテ特別委員會ガ開ケテ居ル譯デアリマスシ、場合ニ依ツテハ前回カ其前位ニ決定セシメカ
 知レナイ位ノトコロマダ御話合ガ進シテ居ル譯デアリマスガ、其大事ナ點ニ付テノ御報告ヲ、政府
 側トシテ責任ヲ持ツテ御遣リニナル場合ニハ、私共ノ側カラ言ヘバ少シ御取扱方ガ簡單過ぎバシナイカハ
 是ハ露骨ニ申上ゲマス、各省デサウ言ハレテ居ルナラバ、ソレガ果シテ絶對ノモノデアルカドウカト云フ
 コトハ、是ハドウモ法制局長官ナリ其他政府ノ中樞ニ御立ニナツテ居ル側トシテハ、モウ一ツ御檢討ニナツ
 多然ルベキコトデハナイカ、私等ガサツト考ヘテ見テモ、先刻申シマシタヤウニ概算ノ編成ハ隨分是ハ長
 イ間ノ因襲デモアリマセウシ、私等ノ乏シイ經驗カラ考ヘマスト、ヤリヤウニ依ツテハ各省ノ編成ハ相當
 時日ノ短縮ノ餘地ガアルト私ハ思フ、短縮スルノガ實ハ當リ前デヤナイカト思フ位デアリマス、之ヲ改善

スルト云フコトハ實ハ事務ノ刷新ト云フ點カラ云ヘバ犬キイ一ツノ問題デハナイカト私ハ思フ、之ガ改善
 サレテ參リマスト今日ノ主計局ノ豫算査定ノ日子モ餘程短縮ガ出來ル譯デアリマス、此邊ハ會期間問題ノ有
 無ニ拘ラズ、庶政ヲ刷新シテ行カウト云フ氣持ノ内閣トシテハ當然是ハ著手サルベキ一ツノ點デハナイ
 カト思フ位デアリマス、其邊ニ付テ御考ニナラナカッタコトハ、御小言ヲ申上グル譯デアリマセヌガ、
 實ハ甚ダ遺憾ニ思フヤウナ氣持ガスル譯デアリマス、併シソコハ考ヘナカッタト云フ御話デアリマスカ
 ラ、是レ以上申シテモ仕方ガアリマセヌケレドモ、ドウモ何ダカコ、ラテ直グ結論ニ持ツテ行クノハ早イ
 ヤウナ氣持ガスルノデアリマスカラ、其氣持ダケヲ申上

○西野委員 私ハ二ツノ點ニ付テ伺ヒタイト存ジマス、第一ノ問題ハ先刻御話ノアリマシタ解散後ノ議會
 々總豫算ヲ提出スルコトノ能不能ト云フ問題デアリマスガ、是ハ先刻法制局長官ヨリモ御話ノアリマシタ
 通り、政府ニ於テハ正式ニ議ヲ御決定ニナラナイ、謂ハハ個人的ノ考ト申シマスカ、大體コンナ意見モア
 ルト云フ意見ノ御紹介ニ留マツテ居ツテ、終局ノ憲法論トシテハ決定デハナイ、從ツテ閣議ノ決定ト云フ
 モノモ正式ニナラヌト云フ御話デアリマスカラ、將來是ハソレノ自由ニ討議ヲシ得ル問題デアリ、又
 必要スレバ不日正式ノ方法ニ依ツテ決定セラレル場合モアルコト、思ヒマスカラ、此際深ク其點ヲ此處
 論議スル必要モナイト考ヘマス、又議院制度調査會ノ特別委員會若クハ本會議ニ於テ此點ニ付テハ決定ヲ
 致シテ置ク必要モナイト存ジマス、是ハ深ク申シマセヌガ、私モ此點ニ付テハ先刻ノ法制局長官ノ結論ニ

對シマシテハ遽ニ御賛成ヲ申兼ネル者デアリマスガ、此點ハ茲ニ申上グルコトヲ省キマス、唯御話ノ中ニ
 從來政府ノ執ツタ方針ガト云フコトヲ抽象的ニ御話デアリマシタ、會計年度ノ開ケル前ニ解散後ノ特別
 議會ガ開ケタ場合ニ於テモ、之ニハ總豫算ハ出セナイモノト云フ前提ノ下ニ總テ取扱ツテ居ルト云フ御話
 々抽象的ニ伺ヒマス、如何ニモサウ云フ風デアツタカノ如ク聞ユル節ガアル、私ハ從來ニ此ノ例ヲ除
 クノ外ハ、選舉法ノ關係、其他ノ關係カラ申シマシテモ、解散後ノ特別議會ト云フモノガ年度内、詰リ新
 會計年度ノ開ケル四月一日前ニ開カレタト云フ場合ハホンノ一ニ一ノ場合シカナイノデヤナイカト存ジマ
 ス、是ハ私能ク調べテ居リマセヌカゾ或ハ間違ヒカモ知レマセヌガ、最近ノ實例トシテモ、六十二回帝國
 議會デアリマスカ、是ガ殆ド唯一ノ例デアリマス、其前ハ第十九回ノ解散ヲ受ケタ第二十回デアリマス、
 此時ノ事情ハ能ク存ジマセヌガ、其二三位ガ唯一ノ例デハナイカト思フノデアリマス、此御題シマシタ
 シタ例デハサウ云フ風ニ考ヘマス、是ハ私甚ダ不詮索デアリマスカラ間違ヒマシタラバ御許シテ願ヒタイ
 ノデアリマスガ、此後ノ場合ノ六十一議會ノ如キハ吾々ノ記憶ニモマダ新シイ問題デアリマスガ、多分是
 ハ二月二十二日ニ解散ニナリマシテ二月二十日カ二十一日位ニ總選舉ガ行ハレ、ソレデ大急ギ三月二
 十日ニ召集サレタヤウナ模様デアリマシテ、三月二十日カラ二十四日マデ五日間開カレタノデアリマス、
 是ハ若シ二月二十二日アタリニ總選舉ガ行ハレルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、三月二十日ニ召集
 シタ年度内十日間ヲ總豫算ヲ成立サセテシマヌト云フコトハ、是ハ殆ト不可能デアリマセウ、今後

オウ云フ場合ニオウ云フコトヲ望ムト云フコトハ無理ナ話ト思フゾアリマス。從ツテ肝腎ヲ法律論ニシテハ五日デモ未且デモ同ジダ。法律ハサウカモ知レマセヌガ、大體私共ガ豫テカラ議論シテ居ルノハ、斯ウ云フ場合ヲ想像シテ申シテ居ルノデハナイデアツテ、モウ一月二十日位ニ特別議會ガ召集サレテ居ツテ現在ニオウテ居ルト云フコトデアレバ總豫算モ出セルハ、總豫算ヲ出セル位ニ特別議會ガ開カレルト云フコトヲ前提トシテ考ヘテ居ルノデアリマス。三月二十日ニ開ケタ、ソレモ形式的ニ言ヘバ、三月二十日ニ開ケタカラ年度開始前ニ開ケタ場合モアルデハナイカ、サウ云フ場合ニモ出サナカッタデハナイカト抽象的ニ申サレルト、從來サウ云フ例ガ幾ツモ轉ツテ居ツテ、從來幾度カ吾々ハサウ云フ場合ヲ通過シテ總豫算ヲ出サナイカノ如ク心得ラレマスガ、サウ云フ次第デハナイト思ヒマスカラ、從來斯ウ云フ慣例デアツタト云フ御話ハ、是等ノ一二ノ例外ヲ以テ御話ニナリマスノカ、或ハ私ニ心得違ヒガアリマスノカ、御教ヲ願フテ置キタイト存ズルノデアリマス。

○大田委員 私人ノ説明ノ申上ゲ方ガ餘リ抽象的デアリマシテ、如何ニモ、如何ナル場合、詰リ今十二月召集ト云フコトヲ假定シテ、ソレカラ解散、總選舉ノ特別議會ト云フ風ニ假定シテ考ヘタ、其特別議會ノマツチ長官會期ヲ持チ得ル會期デ年度内ニ議會ヲ召集サレルコトガナイコトハ御話ノ通りデアリマス。今マシテ實例ハ、明治三十七年ノ三月ニ臨時議會ヲ召集セラレマシテ、其時ハ前年度豫算ハモウ既に二月ニ被メニ施行ノ勅令が出テ居リマス。ソレカラモウツハ、先刻御指摘ニナリマシタ昭和七年ノ三月ニ平日

召集ニナラズ場合ガアルノデアリマス、私ガ説明ヲ申上ゲマシタ申上ゲタカウタ事柄ハ、豫算ガ不成立ニナラズ、而シテ不成立ニナレバ直チニ憲法ノ第七十一條ガ働クモノト解釋シテ、前年度豫算ヲ施行スルガ爲メ追加豫算ヲ年内ニ開イタ特別議會若クハ臨時議會ニ提出シ得タノダ。追加豫算ヲ出ス以上ハ、總豫算トシテ本豫算ガアルト云フコトヲ推定シ得ル、其本豫算ハ衆議院ガ解散ニナツタコトニ依ツテ憲法ノ第七十一條ガ直チニ働イタ前年度豫算ガ施行サレ、ソレガ詰リ來ルべき年度ノ總豫算ニナツテソレニ對シテ追加豫算ガ今年度ノ臨時議會ニ提出サレルヤウニナツタノダト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマシテ、長期又特別議會ガ從來アツタト云フ積リデハナカッタデアリマス。ソレハ若シサウ云フ風ニ御聽取スルナリマシタダ、サウ云フ趣旨デナカッタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス。

○西野委員 二十議會ト六十二議會トハ共ニ三月二十日ニ至ツテ特別議會ヲ召集セラレタ場合ハ先例デアリマスカラ、其點ハ只今御話ニ依リマシテ能ク諒承致シマシタ。第二點ニ付テ伺ヒタイ、是ハ政府全體ノ事トシテ法制局長官ヨリ御説明ヲ願ヒマシマス。或ハ大藏省ノ問題トシテ大藏次官カラ御説明ヲ願ヒマシマス。ドチラデ結構ハヌデスガ、ソレニ付テ私ニ伺ヒタイ、一段々豫算編成期ノ關係カラ議會ノ召集期ヲ繰上ゲルコトハ非常ニ困難デアルト云フ御議論ハ何レモ承リマシタダ、其程度ハ此間此處デ色々御話が出マシテ、出來得ルナラバ段々少シデモ、三日デモ四日デモ召集期ヲ繰上ゲタイト云フキタ御話カラ、私ハ元ノ起リ能ク存ジマセヌガ、初メ十一月下旬ト云フ考ガアタ下旬トモ色

色長短がアツテ、段々ソレガセリ上ツテ到頭十一月ノ半バト云フ所マデ參リマシタノデ、大分セリ上ツテ行ツタヤウニ經過ハ考ヘラレマス、ソレデ先般來皆サンノ御話ノ中ニモ出マシタシ、憲法施行ノ初メニ於テハ、第一回帝國議會以來數年ノ間ハ十一月下旬ニ開カレタ、之ヲ目的トサレタ、私ハ十一月下旬ト云フコトハ其様ニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、十一月下旬カラ十二月初メノ頃ニ開カレルヤウニナリ、其後段々種々ノ事情カラ遅レ勝ニナツテ參ツテ、大正三年デスカノ頃ニ一回十二月初メニ開會シタ例ガアリマス、謂ハ、其時代ニ於テ好適ノ施設デアツタノデス、ズツト昔ニ返ツテヤツタノヲ又止メテシマツタ、之ニハ大藏省ノ豫算編成ノ順序、其間ニ於ケル當局者ノ苦心等ノコトハ申上ゲルマデモナク私能ク存ジテ居リマスガ、サウ云フコトガアツテヤツテ居ツタフデアリマス、今回ハソレヨリモ少シ線上ゲロト云フ所マデ行ツテ居ルノデアリマスカラ未ダ會ツテ經驗セザリシコトヲヤルノデアリマスガ、從來ヤツタコトノアル十月下旬程度デアレバ各省ガ困ラズ、困ルト云ツテモ今日ヨリ多少勉強シナケレバナラヌコトハ分リ切ツテ居リマス、大藏省モ其程度ナラバ豫算編成ヲ間ニ合セル確信ガアルケレドモ、ソレヲ十一月中旬ヘ持ツテ行カレテハ困ルト云フ御話デアリマスガ、嘗ツテヤラレタコトガアリ、又復古的ニヤラレタコトガアルコトサヘモ、今ハ既ニ豫算ノ規模ガ大クナリ、政府ノ施設スベキコトモ多クナツテ居ルカラ昔ノヤウニハ行カヌ、昔ハ簡單デアツタカラ出來タガ、今ハ出來ナイト云フノデアリマスガ、次ニ伺ツテ置キタイノハ、先刻モ各省ノ事務關係ノ御方ガ非常ニ困難デアルカラト云フ御話デアツタノデアリマスガ、山

崎君ノ御話モアリマシタガ、最後ノ結論トシテ、閣議ニ於テソレ等ノ事務上ノ支障ヲ御認メニナツテ、議會ニ於テ所謂議院政治ノ眞髓ヲ發揮スル爲ニ、庶政一新ノ精神ニ基イテ斯ウ云フ風ナ、會期ノ充實ト申シマスガ、トニフイシエンシト」ヲ増スト云フコトヲヤル際ニ於テモ、其希望ニ應ズル爲ニモサウ云フコトガ事務上出來ナイコトハ無理モナイト云フコトヲ閣議デ御決定ニナツテ、斯ウ云フコトハ政府トシテ實行出來ナイト御決定ニナツタノデアリマスガ、或ハソレハ此處デ事情話トシテ伺ツテ置クダケデ、ソレヲヤルガヤラナイカト云フコトハ政府ニ於テモ決マツテ居ナイト云フノデアリマスガ、其點ヲ立入ツテ伺ツテ置キタイ。

○次田委員 大正三年ニ嘗ツテ實行シ、ソレカラ議會ガ始マツタ頃ニハ數年實行シタノニ拘ラズ今日ハ出來ナイノハドウ云フ意味デアルカト云フ御質問デアリマス、ソレハ今日ハ豫算モ非常ニ膨脹致シマスシ、政府ノ施設スベキコトガ非常ニ澤山出來タノデ出來ナイノダト云フ趣旨ト聞イテ居リマス、ソレカラ第一ノ問題ハ、是ハ内輪話ヲ申上ゲマスト、各省ノ次官會議デ色々内輪話ガアリマシタコトヲ閣議デ話ヲ致シマシテ、議院制度調査會ノ特別委員會ニ報告シナケレバナラヌ順序ニナツテ居ルガ、是ハドウ云フ風ニ取扱フカト云フコトヲ聽キマシテ、サウ云フ困難ナ事情ガアルト云フコトヲ能ク委員會ニ於テ説明スルヤウニト云フコトヲ申付カツテ今日申上ゲタヤウナ譯デアリマス。

○黒田委員 法制局長官ノ先程カラノ御説明ニ付キマシテ私ハ承服出來ナイ點ガ多クアリマス、併シソレ

ヲ私ハ今議論シヨウトハ思ハナイケレドモ、先程カラ西野君、山崎君カラ述ベラレタヤウナ感想ヲ私モ懐イテ居ル者デアリマス、先程カラ伺ツテ居リマス、何ガカ政府ハ此委員會デ出来掛ツテ居ル成案ニ對シテ非常ニ冷眼視シテ、サウシテ非常ニ鋭イ批評ヲ加ヘテ、苟モ少シデモ疑義ノアル所ハ消極的ニ之ヲ解釋スル、何ガカ主客顛倒シテ居ルヤウナ感ヲ懐イテ居ルノデアリマス、即チ政府ハ庶政一新ノ大業ヲ爲スルニテス看板ヲ掲ゲテ居ル、誠ニ私ハ結構ナ事ダト思フ、其心持デ此政府トシテハ非常ニ重キヲ置カレタ議院制度調査會ノ特別委員會、而シテ此特別委員會ノ議題ト云フモノハ此議院制度調査會ニ於ケル改革項目ノ最モ大ナル、最モ顯著ナルモノデアル、他ニ餘リ大キナモノハナイト考ヘラレド、ソレ程重大ナコトヲ議シテ居ルノニ、之ヲ成立タセテ而シテ政府ガ非常ナ偉大ナ改革ヲ斷行スルト云フ熱意ガ元々ナイヤウニ思ハレド、全ク政府ノ爲スベキコトヲ吾々ハ一生懸命成立タセヨウトシテ居ル、之ヲ政府ハ非常ニ冷眼視シテ、苟モ疑ガアレバ直グニ之ヲ消極的ニ解釋シテシマフト云フ感ノアルコトハ私ハ實ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、サウシテ見マス此案ハ是デ立消エニナル譯デアリマス、ソコデ他ニドウ云フ案ヲ持ツテ居ラレドカ、マサカ此特別委員會デ何ニモ改革案ヲ決スルコトガ出来ナイ、唯運用上少シノコトシカ出来ナイ、運用上少シノコトヲヤル下云フナラバ此委員會ガ爲スベキコトヂヤナイノデ、是ハ議院ノ力ノ各派ノ考ニ依ツテ習慣的ニ作ラレドコトダラウト思フ、サウシテ見ルト此委員會ハ全ク失敗ニ終ツタト云フコトヲナル、而モ此間中カラ新聞ノ論調ヲ見マス、政府ハ諸ツタケレドモ委員會ノ力ヲ色々難カシイ議論ガ

アツテ出来ナカッタ、恰モ政府ノ方デハ案ヲ出シテ成立タセル意思ガアルノニ委員會ノ方デ承知セヌト云フ風ヲ見エル、誠ニドウモ不満足ナ有様デアルト思ヒマス、一方カラ言ヘバ、本當ニソレガ儀式的ニサレテ、是ガ成立タナイト云ヌコトナラ、政府ハドウ云フ案ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ承ルタナ。

○次田委員 色々御叱リヲ蒙リマシテ恐縮デアリマスガ、議會ノ會期ニ付テ色々案ニ付テ御研究ヲ願フ其間チ政府トシテモ御質問ニ應ジ若クハ自發的ニ氣ノ付イタコトヲ申上ゲルト云フコトヲ進行シテ居リマスルノデ、決シテ此委員會デ御決メニナラウト云フコトヲ妨害スルトカ、革新ノ案ヲ現狀維持ニ執着シテ邪魔ヲシヨウト云フ趣旨デハ毛頭ナイノデアリマス、其事ハドウシテ能ク御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、氣入付キマシタ事柄、又御尋ニカリマシタコトニ對シテハ十分申上ゲベキモノト思フテ申上テ次第デ答リマス、新聞ノ記事ノコトハ、私實ニ其新聞又讀マナイノデアリマスガ、ソレハ非常ナ間違ヒガアツマシテ、御話ノ通りニ寧ロ此會デハ議會ノ會期ニ對スル解決ヲスルベク、非常ノ努力ヲシテ戴イテ居ル、色々ノ政府ハ都合ヲ申立テ、居ルト云フコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、新聞ノ記事ガ間違ヒガハナカト考ヘマス、此十一月召集ト云ヌ案ガ成立タナカッタカラ政府ハドウスル積リデアルカト云フ御尋デアリマス、實ハ何カ改善ヲシヨウト云フ際キヤ何處カニ故障ガアルコトハ是ハ已ニ得ナイノデアリマス、天候例ニバ現在ノ議會ノ會期ニ致シマシテモ、ソレヲ捉ヘテ、議會ハ實際上ハ十一月末ニ議事ガ開

ケルモノダト云フコトヲ前提トシテ、豫算ノ編成ナリ法律案ノ準備ナリ政府内部デモ色々致シテ居ルノデアリマス、ソレガ線上ガルトカ何ト云フコトニナリマスレバ政府ノ内輪デ色々不都合ナコトガアルノハ當然ナコトダト思フノデアリマス、政府ハソレドウ事務上便利ヲ感ズルカ、不便ヲ感ズルカト云フ御質問ガアリマスレバ、事務ノ者トシテバドウモ色々不便ナ事ガアリマスト申上ゲルヨリ外ハナイコトニナルノデアリマシテ、ソコハマア利害ヲ商量シテ見テ、利益ガ多ケレバ多少ノ不便ハ忍ブト云フコトニナルデハナイカト思フノデアリマス、唯併シドウ云フヤウナ便不便ガアルカト云フコトハ十分ニ申上ゲテ御検討ノ際ノ参考ニ供スベキモノダト思ツテ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、此案以外ニドウ云フ案ヲ持ツテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ此特別委員會ガ開カレマス際ニ直グ案ヲ具シテ御参考ニ供シタト思ヒマス、十一月開會説ガ成立チマセヌデアリマスレバ其時ニ申上ゲマシタ他ノ數案ノ中カラ御取捨ヲ願フノ外ハナイノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、政府ハ今ノ所ドノ案デナケレバナラヌトハ考ヘテ居リマセヌ、御意見ヲ伺ツテ、御決定ニナリマシタ所ニ從ツテ考慮シテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス。

○黒田委員 他ノ案ト云フコトヲ仰セラレマシタガ、他ニドウ云フ案ガアルノデアリヤスカ。

○次田委員 ソレハ二月ノ初メニ帝國議會ノ會期變更ニ關スル考察ト云フ刷物ヲ差上ゲテ居リマス、ソレニ九月中旬ヨリ十二月中旬マデトスル案、一月上旬ヨリ四月上旬マデトスル案、十一月下旬ヨリ二月

下旬マデトスル案、三月下旬ヨリ六月下旬マデトスル案ト云フヤウナ案ヲ申上ゲマシタ、結論トシテ以上ヲ通覽考慮スレバ左ノ三案ハ記載ノ順序ニ從ツテ採用セラルベキモノト云フコトヲ申上ゲテアリマス、第一ハ會期ヲ移サズ一月ノ休會ヲ一月十日ヲ以テ打切ルコト、是ガ第一案デアリマス、第二案分中一月案、詰リ今御審議ニナツテ居ル案デアリマス、第三案ガ九月案、九月ニ召集シテ十二月マデ、斯ウ云フヤウニ申上ゲテアルノデアリマス。

○黒田委員 私人ノ記憶デハ、九月カラ始マル、會計年度ガ正月ニナルト云フ案ハ大演習ノ關係上到底難カシト云フ結論ニ到達シ、又七月ニ會計年度ヲスルト云フコトモ、是ハ問題ニハナラヌト云フ話合デゾツタト思フノデスガ、サウデヤナイノデスカ。

○次田委員 會計年度ヲ變更スルト云フコトデアレバ曆年ニ倣フノ外ハナイダラウ、結局會計年度ヲ變更シテアル案ハ九月ニ召集シテ十二月マデ、斯ウ云フコトニ歸著スルノデアリマス、九月ニ始マツテ十二月ニ終ル——九月ニ召集スルト云フ案ハ大演習ノ關係ガアルカラドウデアラウカト云フ御言葉ガゴザイマシタガ、マルデ死ンデ居ルモノトハ思ツテ居ナイノデアリマス、ドウデゴザイマシタカ、私ハサウ了解シテ居リマス。

○濱田委員 段々同僚ノ各位カラモ御尋ガゴザイマシテ法制局長官ヨリ詳細ニ御説明ガゴザイマシタ、吾々モ色々質問致シタイコトモアリマスケレドモ、大分時間モ、過ぎタヤウデアリマスノデ、私ハ此場合ニ斯ウ云

アコトヲ一ツ御諮リテ願ヒタイ、只今法制局長官ノ御答辯ニアリマシタヤウニ參考案モ色々出テ居リマスガ、何レノ案デモ行政部面ノ働キヲ此儘ニシテ置イテハ吾々ガ如何ニ改正案ヲ研究シテ見タ所ガ其間ニ摩擦ト支吾ノ生ズルト云フコトハ、是ハ到底免レヌコトデアアル、政府ノ各部面ガ満足ダ、利害モ衝突シナイト云フコトヲ求メルコトハ至難デアアル、故ニ何處カノ部面デ各位ノ今言ハレル通り我慢ヲシテカシバナラヌ、十一月案モ困難ノヤウニ聞エマスケレドモ、冷靜ニ考ヘマスト、現ニ必ズシモ困難デナイト私ハ考ヘマス、御配付ニナリマシタ、最近ニ於ケル陸海軍特別大演習行幸並還幸年月日「昭和二年ヨリ十箇年ノ調ガ列記サレテ居リマス、五回ハ十一月デ差支ナイコトニナツテ居リマス、十月中ニ御還幸ガ三回、十一月ノ二十日以前ニ御還幸ガ二回、斯ウナツテ居リマス、十年ノ内半分ハ斷然差支ナイ、アトノ半分ガ今日御説明ノ通り十一月二十日ガ四回、二十一日ガ一回、假ニ二十一日ガ二遍アツタトシテ、二十一日ガ一番還幸御還幸、二十一日ニ御還幸ニナレバ、開院式御議定等ノ關係ガ宮中ニ於テ御日取ノ關係ガアルトシカモ二十四五日ニハ開カレルコトニナル、開會劈頭解散ニナルニシテモ十二月二十四五日ニハ選舉ガ濟ム——選舉ガ行ヘル、年末ノ混雜ト云フコトモアルガ、十二月二十五日ニ選舉ガ濟ムバ左様ナ忍ブベカラザル混雜ト云フコトデホナカラウ、國內ノ大問題デアアル總選舉ヲ十二月ニ濟マセテ後新年ヲ迎ヘルト云フ國民的感想榮却又テ落付ガ起ツテ來ル、ソレデカラ此御還幸日ト云フコトヲ反對理由トスルコトハ理由トシテハ餘リ不十分ハ大カラウ、又畏イコトデハアルガ、議會ノ機能發揮ニ付キマシテハ宮中ニ於カセザレバシテ格

段々御軫念アラセザレバシタコトハ憲法制定ノ御聖旨ニ依ツテ拜察サレル點ガ澤山アルンデアリマス、現内閣ガ庶政一新ノ大精神ヲ以テ宮内省方面ニ必ズシモ御交渉ノ出來ヌト云フモノデモナカラウ、是ハ決シテ穩カナラヌ意味ヲ申上グルノデハナイ、最モ穩健ナル意味デ私ハ申上グルノデアリマス、サウ種物觸ルテウ、御還幸、開院式ノ日取ニ付テ、毫末モ宮内省ノ意向ヲ行政府ガ交渉ヲ持ツテハオケナイト云フ譯ノモノデモアルヤイ、是等ハ果シテ御研究ニナツタメデアルカ、ドウデアアルカ、御尋ハ申上ダヤセヌガ、或ハ御提議ニナツテ居ナイノデハナイカ、又軍部ニシテモ、大演習モ誠ニ大切ガ事柄デアルガ、三日夜四日ノ日取ヲ、一國ノ國務ノ基本ト相成ルベキ帝國議會ノ機能ヲ發揮スル此大問題ニ付テ拔差出來サイ本云ウ程感憤ニ縛ラレル軍部デモアルヤイト思フ、是ハ現内閣ガ庶政一新ノ所信ヲ熱心ニ發揮爲サルガ、此ニ精ハ此ニツク點トハ大演習ノ點、開院式ノ儀式ノ點ナドハ謂ハ、甚ダ交渉ノ容易カモノダラウト思ヒマス、又豫算ノ問題ニシテモ、二箇月繰上グルンダカラ不能ダト大臣等ハ言フカモ知レヌガ、庶政一新ニ抑、何處カニ庶政一新ヲシテ行政ノ上ノ革新ガサケレバナラヌ、一方ニ於テ繰上ダカト困難デアル所、其機會ヲ二分シテ、一箇月ハ豫算ヲ編成シテ差出ス方ノ各省ニ於テ短縮スル、ア下一箇月ハ窮極大査定ヲサレル大藏省ニ於テ短縮スルト云フコトニナレバ、一方ニ於テ二箇月ノ無理ヲシナイデモ宜イ、二箇月ハ短縮スレバ必ズシモ不能デハナイ、サウ云フ所ニ庶政一新ノ所謂行政府ノ誠意ガアルノ所、ナラヌ、年末郵便ガ忙シイナラントソナコトハ問題ニナラヌト思フ、遞信省ノ言ツテ居ル郵便ノ取扱人

手が足りナケレバ費用ヲ要求シテ人ヲ殖ヤシテヤレバソレデ宜イ、又司法省ヤ内務省ノ違犯ノ取締ニ困ル
ト云フコトモ穩カナラス、頭カラ衆議院議員ノ選舉ヲ以テ罪人ノ行動ノ如ク決メテ掛ルト云フコトハ穩カ
ナラス、衆議院自ラ議會肅正ヲシ、且ツ官民ガ提携シテ大選舉肅正運動ヲ起シツトアル實狀デアリマス、
取締モ敏活ニヤラナケレバナラヌカモ知レヌガ、取締者ノ違犯ト云フモノガナイヤウニ一面ニ於テ働ク、
サウシテ出來ルダケノ取締ハ出來ルダケノ範圍ニ於テ内務省ナリ司法省ナリガナル、斯ウ云フコトヨリ仕
方ガナイ、國法ニ違犯シタコトヲヤツテ正月元日ニ縛ラレタツテ仕方ガナイ、又ソレダケノ勇氣ガナカッ
タラ選舉肅正ハ出來ナイト思フ、迷惑デアラウト云フ察シガアルカモ知レナイガ、迷惑ヲ受ケナイヤウニ
本大自ラ自肅シタラ宜イ、自肅ヌスルナラバ自ラ迷惑ヲ受ケルヤウナコトハアルマイト思フ、ダカラ司法
省ノ言フコトモ内務省ノ言フコトモ遞信省ノ言フコトモ餘リニ庶政一新ト云フ至誠ヲ籠メタ革新ニハ誠意
ス足ラナイコトデハナイカ、陸軍省、宮内省ノ關係モ前ニ申上ゲタ、故ニ誠意ヲ以テ立法議會ノ機能ヲ充實ス
ベク行政政府ガヤラレルナラバ、モウ少シ次官會議ニ於テモ熱ヲ持タナケレバナラヌ、ソレハオ互ニヤラナケレバナラ
ヌ年度ヲ變更シヨウヂヤナイカト云フ親切ガ次官會議ニナケレバナラヌ、ソレハオ互ニヤラナケレバナラ
ヌ、ソレデ窮極スル所私ノ意見ハ、政府ハ帝國議會ノ審議機能擴充ヲ爲シ、是ト摩擦ヲ生ズル所ノ行政機能
ヲ革新ヲ爲ス意思アリヤ否ヤ、即チ豫算編成期間ヲ一箇月短縮スルトカ何トカ云フ點、第二ニハ同上ノ必
要ガアラバ會計年度變更ノ意思アリヤ否ヤ、此二ツノ根本觀念ヲ政府ガ御決メニナリマセヌケレバ、吾々

ガドンナ思ヒ付ヲ言ツタ所ガ、又政府ノ參考案ノ取捨ヲ是レ以上ヤツタ所ガ、此二ツノ問題ニ必ず打ツ突
カル、是ハ誠ニ特別委員會ノ權威ノ爲ニ只今黒田委員ノ仰セラレタ通り恥ツベキコトデ、吾々ハ進メバ進
ム程權威ヲ失フコトニナリマスカラ、此二ツノ根本觀念ヲ吾々ハ突留メンケレバ是レ以上審議研究ハ無意
味ナモノデアラウト考ヘル、ソコデ政府側トノ交渉並ニ内容ノ取調等ハ從來法制局長官ノミヲ煩シテ誠ニ
私共御氣ノ毒ニ思フ、是ハ御迷惑デモアラウガ、別ニ喧嘩デモ何デモナイノデアリマスカラ、特別委員
長ヨリ會長タル廣田首相ニ一度列席ヲ願ソテ、サウシテ先刻私ガ申上ゲマシタ審議機能擴充ニ付テ摩擦ヲ
生ズル行政政府ノ機能ニ付テハ或ル程度ノ革新ヲヤツテサウシテ並行的ノ折合ヲ付ケル意思ガアルカナイ
ノカ、又現狀ノ儘デ行ケバ年度ヲ變更シテモヤル確信ガアルノカ、斯ウ云フ二點ノ根本觀念ヲ總理大臣ニ
確メテ見タイ、本會ノ機能ヲ十分發揮セシムル意思ヲ持ツテ居ラレル會長ガ一概ニ之ヲ御避ケニナル譯モ
アルマ、總理大臣ニ出席ヲ求メラレテ、善意ヲ以テ委員長ヨリ御交渉ヲ願ヒマス、ソレヲ確メタ上デ吾々ハ
吾々デ又審議スル、斯ウ云フコトニシタイ、折角設ケラレタ議院制度調査會モ期間問題ガ停頓シテ居ル爲ニ
他ノ審議モ遅レテ居ルヤウデ甚ダ遺憾デアリマス、委員長竝ニ幹事長、世話役ノ幹事諸君ニ於テ御交渉ヲ
願ヒマシテ、總會ノ方ハ總會ノ方デ並行シテ進行サレルヤウニ願ヒマシテ、一日モ早ク此調査會ノ働キノ現
ハレルヤウニ並行的ニ進行ニナツタ方宜イノデハナイカト思フ、私ハ只今ノ所デハ十一月末召集ノ政府
ノ原案ハ餘リ敬意ヲ拂ヒ兼ネル、併ナガラ強ヒテイケナイト政府側ガ言ハレルモノヲ無理ニヤツテ見タ

所預任方ガナイ、皆ガ納得ノ行ク所ニ纏メタイト云フ善意カラ只今ノヤウナコトヲ申上ゲルノデアリヤ
ス。

○齋藤委員 私ハ極メテ露骨ナ御尋デスガ忌憚ナク御尋ネシテ置キマス、此政府ノ御意見バカリガ此特別
委員會ノ決定ヲナスニ付テ唯一ノ材料トモ思ツテ居リマセヌ、併シ有力ナ參考トシテ訊イテ置キタイ
ノデスガ、政府デハ議會ノ會期問題ニ付テ現状ヲ變更セズシテ他ニ政府ガ同意スルヤウナ案ガアルカナ
カ、之ヲ一ツ調ベテ貰ヒタイ、四ツバカリ案ガ出マシタガ、ウレヨリ外ニ案ガナク、又ソレヨリ外ニナ
シテ此中ノドレナラバ政府トシテ同意ガ出來ルカ、政府トシテハ此四ツノ中ノドレモ絕對ニ同意ガ出來
ヌノデアルカ、ソレヲ忌憚ナク此大ニ御話ヲシテ貰ヒタイと思フ。

○濱田委員 一寸私ハ一言申シ漏ラシマシタカラ追加ヲ致シテ置キマス、此會期變更ニ關スル特別委員會
ノ立場上是バ特別委員會ノ自由ヲ進退ガ出來ル譯デアリマスケレドモ、茲ニ參考資料ノ一トシテ第六十
九議會衆議院ノ議會制度改正ニ關スル決議案説明ニ於テ引例セラレタル改革事項ト云フモノガ參考ニ舉
グテアル、ソレガ五箇條列記シテアリマス、其劈頭ニハ議會開會期ノ變更ト云フコトガ書イテアル、故ニ
此衆議院ノ決議ヲ重ンズルモノデアルト云ウナラバ、開會期ニシテ置イテ二十日ノ休會日ツキ
日ニスルト云フノデハ衆議院ノ決議案ニハ副ハナイ、開會期ヲ變更シロト云フ、ソレハ色々雪解ケノ解散
後ノ選舉ト云フコトモアリマスカラ斯ウ云フコトニナラズデアリマスガ、開會期ヲ十一月下旬ニシテ置

イテ中ノ十日ヲ延バスト云フノデハ衆議院ノ決議案ノ趣旨ハ充タサレナイ、衆議院ハ開會期ヲ變更シロト
云フ要求ヲシテ居ル、是ガ參考資料トシテ政府側ヨリ吾々ニ廻サレテ居ル譯デアリマスカラドウシテモ
十日ヲ十日ニ縮メルト云フダケデハ吾々ハ衆議院ノ決議案ニハ満足ヲ與ヘルコトハ出來ナイト云フ事情ヲ
以テ之ヲ特ニ申上ゲテ置キマス。

○山崎委員 今濱田君カラ述ベラレマシタヤウナコトニ付テ御取計ラヒ願フヨリ外ナイ、ヤゴザイマセマ
カ、何カ特別委員長ト政府ノ方ト御話合ヒテ願ツテ、サウシテ何トカ進ムナラ進ム、適當ナ程廣ク議事
ガ開ケマセストドウカト思ヒマスガ、ドウゾ一ツ宜シク御願致シテ置キタイト思ヒマス。

○林委員 皆サシウ云フ御意見ナラ御相談シテ此次ニ來テ載ク……

○濱田委員 ドウモ其方ガ宜イト思ヒマス、餘リ此調査會ハ不手際ニ終レバ政治問題トシテ攻撃ノ一ツニ
モナル譯デ、其結果委員會ナリ政府ナリ八方ニ殊ヒテ生ズルカラ善意ヲ以テ御相談スルノデアリマス。

○黒田委員 先程御話ノ出マシタヤウニ政府デ行フコトノ出來ル確信ノアル案ヲ御提出ニナルコトガ必要
デヤナイカ、コチラデ決メタツテ政府ガイカスト言ハルレバ詰リ何ニモ出來ナイ、政府デ確信ノアル案ヲ
御作リニナツテ御示シニナツテ、サウシテドレガ一番良イカト云フコトヲ審議スルト云フコトニナラナケ
レバ徒勞デハナイカ、今マデモ是ダケノ會議ヲシテ何ニモ得ルコトガ出來ナイト云フコトハ非常ナ徒勞デ
ハナイカ、要スルニ吾々ハ無駄ナ時間ヲ費シテ何ニモ成績ヲ舉ゲルコトガ出來ナイト云フ結果ニナツテ居

ルコトハ誠ニ遺憾ナコトデハナイカト思ヒマス。

○林委員長 本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後四時十分散會

一一 第五回特別委員會

昭和十一年十一月六日內閣總理大臣官舎ニ於テ午後二時十分開會

○林特別委員長 是ヨリ帝國議會ノ開期變更ニ關スル特別委員會ヲ開會致シマス。

○濱田委員 前回ニ於テ委員長ヲ煩シテ、廣田首相ノ議院制度改正ニ對スル根本觀念及委員會ノ問題トナリマシタ開期變更ト行政事務摩擦緩和等ニ關スル意見ニ付キマシテ御確メヲ願ヒマシタノデアリマス、リレニ付テ此際御報告ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○林特別委員長 去ル十月二十三日午後二時ニ首相官邸ニ於テ廣田首相ニ御目ニ掛カリマシテ、首相ノ御考ヲ伺ツタノデゴザイマス、如何ナル改革ヲスルニ付テモ、現狀ヲ變更スル以上ハ必ず何レニカ支障ガ起ルニ違ヒナイガ、其支障ナリ摩擦ナリヲ恐レテ居シテハ、變更スルコトモ改善スルコトモ出來ナイ譯デア

ル、ソレデアリマスカラ特別委員會ニ於カレマシテ適當ナ所信ノ案ニ重點ヲ置イテ御考ヘ下サレバ、首相ニ於カレテハ、ソレヲ充分ニ考慮シテ善處シマス、即チ十一月案ニ付テモ重點ヲ置イテ合理的ニ御決メ下サレバ、之ニ對シテ出來ルダケノ支障ヲ排除シテヤツテ行カゾト思ヒマス、例ヘバ五月三十一日迄ニ各省ノ豫算ノ報告ヲ受ケルコトガ困難デアルト云フヤウナコトガ起リマシテモ、ソレハ人數ヲ殖スト云フコトモ出來ルシ、色々方法ハ他ニアラウト思フカラ、ドウカ所信ノアル所ヲ以テ決議ヲシテ頂キタイ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、又第二ノ會計年度ノ變更ト云フコトモ、是モ最善ノ方法ガアルト云フコトデアラバ、決シテ政府ハ反對スルモノデハナイノデアル、便宜ノ方面ハ出來ルダケ御計リヲスル考デアル、云フ御話デアリマシタノデアリマスカラ、此特別委員會ニ於キマシテハ何處迄モ此兩問題ニ付キマシテ、所信ノアル所ヲ披瀝シテ、其所信ノ通り邁進シテ決議スルハ本ニ御進ミニナツテ差支ナイト思フノデアリマス、大體サウ云フ御話デアリマシタカラ之ヲ御報告致シテ置キマス。

○濱田委員 只今委員長ノ御報告ニ依リマシテ、通常ナラバ直ニ進ンデ十一月說ノ會ヲ取纏ムベキコトガ順序ノヤウニ考ヘマスガ、併シ前會議ノ後ニ於キマシテ、政府ハ議院制度ノ問題ニ付テ五相會議ナルモノヲ設定シタノデアリマス、且又全國ノ新聞紙ハ我陸軍側ノ意見トシテ、議院制度ノ改革ニ關スル希望、目標ヲ世ノ中ニ公ケニサレテ居リマス、此以テ軍ノ政治意見代表スベキ陸軍大臣ガ責任ヲ帶ンデ公表サレタ意見デモナイヤウデアリマスケレドモ、兎ニモ角ニ當テ全國ノ新聞紙ガ連日ニ互ツテ、軍ノ議會制度革

新ハ要スルトコロ時運ノ進展ト議會ノ現狀ニ鑑ミ、議會制度ヲ刷新ヲ要スト云フ根本觀念デアツテ、其刷新セント欲スル所ノモノハ、要點トシテハ帝國議會機能ノ縮小、例ヘバ第一ニハ彈劾權否認、第二ニハ政黨内閣制ノ絶對否認、第三ニハ議會組織ノ要素トシテ制限選舉ノ復活、是等ノモノガ主トシテ軍部側ノ要求スル所ノモノ、如ク、全國ノ新聞紙ハ記載ヲ致シテ宣傳シテ居ルノデアル、斯ウ云フ一ツノ出來事ガ世ノ中ニ湧イテ居ル、之ニ付テ私ハ一ツノ質問ヲ今日廣田首相ガ出テ居ラレ、バ首相ニ對シテ致シタイノデアリマスガ、廣田首相ガ出テ居ラレマセヌ以上ハ例ニ依ツテ法制局長官等ノ政府ノ意思ヲ代表セラレル方ニ御尋ヲシテ見タイト思フノデアリマス、其模様ニ依ツテハ本日ノ議事ノ進行ニ付テモ亦新ナル意見ヲ提出致シタイト思ヒマス、御尋ネ申シタイト思ヒマスコトハ、吾々ハ政府ノ設定致シタル議院制度調査會委員ノ一人トシテ重大ナル職責ヲ帯ビテ居ル者デアリマスガ、斯ウ云フ委員會ガ苟モ政府ノ手ニ依ツテ設ケラレマシタ以上ハ、屋上屋ヲ架スルガ如キ感アル五相會議ト云フモノニ依ツテ特ニ議院制度ノ調査檢討ヲナサルト云フコトハ、政府ノ調査機關トシテハ何カニ重、複雑ニ涉ルヤノ感ヲ吾々ハ持ツノデアル、或ハ私等ノ感ジガ間違ツテ居ルカモ知レヌ、吾々議會制度調査委員會ト云フモノハ、單ニ議會ノ運用ニ關スル未梢的の制度ヲ研究スル程度ノモノデアラツテ、根本觀念ニ對スル所ノ大ナル調査檢討ハ委員會ノ能クスル所ニアラズト云フ所カラ、閣内ニ於テ、或ハ五相會議ヲ特ニ起サレタモノナリトノ世評スラアルノデアリマス、ドウ云フ事情デ此委員會ガアルニ拘ラズ、斯ウ云フ五相會議ナルモノヲ政府ハ御拵ヘニナツ

タノデアルカ、御差支ノナイ限り御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○次田委員、御話ノ如ク先月ノ下旬ニ四相會議、五相會議、特定關係會議ヲ以テ中央行政機構改革ニ關スル件、地方制度ノ改革ニ關スル件、議院制度ノ刷新ニ關スル件、分擔シテ調査スルト云フ申合セヲ致シタソデアリマス、而シテ所謂五相會議ニ於テ議院制度ニ關スル問題ヲ取扱タコトニナツテ、今御話ヲ通リデアリマス、議院制度ノ改革ニ付キマシテハ、既ニ議院制度調査會、選舉制度調査會ヲ設ケテ居リマス、又近ク貴族院制度調査會ヲ設ケルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、斯ク如ク官制ノ定メタ調査會ノ外ニ、五相會議ニ於テ議院制度ノ問題ヲ取扱フト云フコトハ、如何ニモ屋上屋ヲ架ケケルガアルト云フ御話ハ、應御尤ト存ジマス、併シ五相會議ト云フモノ、本質ヲ一ツ説明申上ケレバ、或ハ其疑ヒハ米釋スルノデハナイカト思フノデアリマス、五相會議ハ丁度電力問題ニ付キマシテ曩ニ四相會議ヲ造リマシテ、ソレデアノ問題ニ關スル閣内ノ話ヲ纏メ、シタコト同工異曲ノモノデアリマシテ、ホシク政府部内ノ一機構ニ過ギナイノデアリマス、五人ノ特定關係大問ニ於テ、地方制度トカ議院制度トカ云フ特定ノ事項ニ付キマシテ、何レサウ云フ事柄ヲ最後ニ決定致シマスルノニハ、閣議ニ掛ケガケレバナチ、コトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、其閣議ノ慎重圓滑ヲ期スルガ爲ニ、先以テ準備的ニ五大臣ノ所ヲ調ベテ貰フト云フ内閣内ノ一機構ニ過ギナイノデアリマシテ、内閣以外ニソレト別個ノ存在ヲ持ツテ居ルモノデハナイノデアリマス、從ツテ斯ノ如キ五相會議デ議院制度ノ問題ヲ取扱フト云フコトニナリマシテモ、調査會

ノ權限ニハ何等影響ヲ及サナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、調査會ニ於テハ從來ノ通りニ諮問ノ事項ニ付テ充分ニ御檢討御研究ヲ願ヒタイト思ツテ居ルノデアリマス、寧ロ所謂五大臣會議ハ、是等議院制度ニ關スル各調査會ト相呼應シ相聯絡シテ其機能ヲ全クスベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、世間或ハ各調査會デハ唯事務的ノ事項ヲ取扱フノダ、五相會議デハ根本的ノ問題ヲ取扱フノダト云フヤウナ解釋ヲスル者ガアルヤウデアリマスガ、是ハ全ク何等據リトコロナクモデアリマシテ、例ヘバ調査會ニ於テ答申又致シテ下サルト云フ場合ニソレヲ閣議ニ付シテ其答申又如何ヲ取扱フカ、答申ノ趣旨ヲ尊重シテ出來ルダケ其實現ヲ圖ルト云フ根本ノ思想ニ付テハ、前屢申上ゲタ通りデアリマスルガ、愈ソレヲ具體化スルニハドウスルカト云フコトガ閣議デ決メラレナケレバナラス、譯デアリマス、其際ニ閣議デ決メラレル前ニ、先以テ五大臣ノ所デ練ツテ、ソレカラ閣議デ決メテ貫ス、所謂慎重圓滑ヲ期スルト云フニ過ギナイノデアリマス、又調査會ガ進行スルニ從ヒマシテ、色々政府ノ所見ヲ求メラレルコトモ大抵然ラズト思ヒマス、又政府カラ進ンデ意見ヲ申上ゲルト云フヤウナコトモアルダヲウト思ヒマス、サウ云フ際ニ極ク小サナコトハ、ソレハ私共ノ所デ申上ゲ得ルコトモアルト思ヒ、大キイコトニナリマスレバ、矢張閣議デ決メテ貫カケレバナラス、其際ニ先以テ五大臣會議ニ準備的ニ意見ヲ決メテ貫クニ付シテ閣議ニ付シテ決メルハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマシテ、決シテ五大臣會議ヲ設ケタガ爲此調査會ノ權限其他ニ何等變更ヲ來スモノデハナイ、唯政府部内ニ於テ政府ノ意見ヲ決メマスル際ニ、ソレヲ議院制度

ノ重大性ニ鑑ミマシテ、之ヲ五大臣會議ヲ練ツテ然ル後ニ之ヲ閣議ニ付シテ決定シヤウト云フツニ過ギナイノデアリマス、デアリマスカラ假ニ議院制度ニ關シテ政府ノ方デ何か案ガ出來タト致シマシタ場合、サウ云フ場合ニ調査會ニ諮問シナイデ、政府限リテ詰リ五大臣會議ヲ話ヲ決メテ之ヲ決行スル辦法ヲ方如キコトハ考ヘテ居リマセヌ、又現ニ調査會ニ諮問シテアリマス事類ニ付キマシテハ、其答申ヲ待テ閣議ニ五大臣會議デソレニ先立ツテ決定シ之ヲ實行ニ移スト云フ考モ持ツテ居リマセヌ、屢申上ゲタ通りニ調査會ニ諮問シテ、ソレニ依ツテ方針ガ立ツシタナラバ、政府ハ重大ナ支障ノナイ限リ、例東ニ憲法違反ノ虞アルガ如キ重大ナ支障ノ虞ナイ限リハ、御答申ノ趣旨ヲ尊重シテ之ニ善處スル方針デアアルト云フコトハ、五大臣會議ヲ開キマシタ前ニ於テモ亦今日ニ於テモ少シモ變ツテ居ナイト御承知ヲ願ツテ宜シト思ヒマス、大體左様ナ次第デアリマス。

○濱田委員 第二ニモウ少シ伺ツテ見タイト思マス、五相會議ハ當委員會ト圓滑ナル連絡ヲ保ツモノデアツテ、或ハ委員會ニ對スル發案準備ヲナシ、或ハ委員會ノ答申ヲ閣議ニ於テ處理スル準備機關ナリトツテ説明ヲヤウデアリマス、サウスレバ大變表面圓滑ニ聞エルノデアリマスガ、私ノ承知スル限リニ於キマシテハ五相會議ハ五相會議トシテ調査檢討ノ目標ヲ進メテ居ラル、モン、ヤウニ承知致シテ居ルハ必シモ調査委員會ト連絡シテ總テノ檢討ヲ進メラル、モノトモ承知シナイ、獨立シテ進メラレルヤウニモ思ハレル、其次第ハ世間ニ發表セラレテ居リマスル五相會議ニ配付セラレタル内閣ノ文書ニ依リマス、時運ノ進展、議

會ノ現狀ニ鑑ミ、議會制度刷新ノ要アリト云フ意味ノ抽象的デアリマスガ、根本觀念ガ文書ニ掲載セラレテ居ル、五相會議ハ之ニ依ツテ檢討調査ヲ進メラレルモノデアラウト吾々ハ想像スル、即チ此大綱目ニ依ツテ大目的ニ向ツテ進メラレルモノデアラウト思フ、サウ云フコトニナリマス此事柄ハ餘リ抽象的デアリマシテ、議會ノ現狀ニ鑑ミト言ヘバ現狀上改メナケレバナナイモノガアルト云フコトハ申ス迄モナイ、又刷新スルト言ヘバ刷新ノ程度方針ト云フモノガアルコトモ考ヘラレル、承ル所ニ依ルハ是ハ所謂軍部案ナルモノデアツテ、海陸兩相カラ首相ニ對シテ行政機構ノ改革ト共ニ議會制度ノ改革ニ付テハ今申上ゲタヤウナ意味ヲ以テ要求セラレタト思フ、ソレガ所謂内閣五相會議ニ於ケル軍部原案トシテ配付セラレテ居ルモノデアラウト想像スルノデアル、サウナツテ來ルト内閣内モ軍部ノ希望要求ヲ基礎トシテ現狀ニ備ラザルモノガアルト云フコトハ明カデアリ、而シテ其備ラザルモノヲ刷新スル目的ヲ以テ五相會議ヲ置イタト云フコトハ明カデアリ、而シテ如何ナル刷新ノ目標ヲ持ツテ居ルカト云ヘバ、前申上ゲタ通リ議會機能ノ縮小ヲ新聞紙ハ宣傳シテ居ル、政黨内閣制ノ絕對否認ヲ宣傳シテ居ル、議會組織ノ要素トシテ制限選舉ノ復活ヲ宣傳シテ居ル、是ハ文書ニ現レテ居ルモノハ今言ヒテシタヤウニ抽象的太簡單ナ文書デアリマスガ、其内容ニ於テハ必ズ現狀上改メナケレバナナイト云フ目標ナシニ斯ウ云フ無責任ナ原則ヲ掲ゲル軍部デアアルマイト思フ、又ソレヲ採上ゲテ一顧ノ價值ヲ失フ内閣ガ排斥セムレト譯シテモナイノデアリマス、相當ニ重ミヲ認メテ五相會議ノ原案トシテ之ヲキツテ居ラレルノデアラウト思ヒマス、

此事ハ世ノ中ニ非常ナ大キイ衝動ヲ與ヘテ居ルト思ヒマス、私ハ種々ナ政治的事情ニ付テハ賢明ナル諸君ニ詳シク申上ゲルコトヲ差控ヘマスガ、斯ウ云フコトガ事實デアリマスナラバ、吾々ガ議院制度調査委員トシテ總テノモノヲ検討決定致シマス上ニ付テモ大イニ考ヘナケレバナラス、根本觀念ニ於テ政府トマルテ違ツタ考ヲ持ツテ居ル者ガ、左様ナ原則ニ適合スル答申案ヲ作ル譯ガナイ、場合ニ依ツテハ吾々ハ調査ヲ放棄シナケレバナナイト云フ考モ私一人トシテハ時ニ感情ヲ持ツノデアアル、一體今日ノ政府ハ時局ノ或ル趨勢ニ鑑ミテ言論機關ノ取締ト云フコトハ、内務省ノ取締方針、政府ノ取締方針頗ル嚴格ナモノデアリ、今ニサウデアリマス、此位國民ニ重大ナシヨックヲ與ヘテ政治的大變革ノ基礎ヲ成ス政治思想ニ大動搖ヲ起サウナ新聞記事ニ對シテ、政府ハ連日ニ互ツテ何等取締ル所ガナイ、國民ハ益々疑ト危惧心ヲ起シテ居ル、私ハ政治論ヲ吐クノデハナイ、實際ノ事實論ヲ吐ク、是ハ政府カラ見タラ其刺戟ノ程度ハ分リマスマイガ、吾々民間ノ者カラ見ルト、非常ナ衝動ヲ日々與ヘテ居ルト思ハレル、斯様ナコトハ荒唐無稽ノ一片ノ新聞紙側ノ臆測ニ過ギナイ、無責任ノ記事デアルト云フノデアレバ、其責ハ新聞紙ニアル、併シ政府トシテ新聞紙ガ荒唐無稽ナ、政治ノ根本ニ付テ國民ノ全般ニ重大ナル誤解ト危惧心ヲ與ヘルヤウナコトヲ放任シテ居ラレサウモナイ、斯様ニ想像セラレル、故ニ取締モ何モナサラヌノデアアル、サウ云フ風ニナルト政府ノ内部ニハ之ニ類シタ意見デアアルヤウニ想像セラレル、若シサウ云フコトデアルナラバ五相會議ノ原案タル刷新スベキ現狀ヲドノ程度マデ認メテ著眼シテ居ラレルノデアアルカ、又刷新ヲ要

スト云其爲サレトスル刷新ノ下ノ程度、方針ヲヤラウトナサレバ目標ガ付イテ居ルゾナルカ、御差支ノ
 子ノ限リ此點ニ對スル世間ノ疑惑ヲ解クニ足ルベキ、事實ヲアレバ事實ナルヤウニ、全然根據ガナイナラ
 バ根據ノナイヤウニ御説明ヲ拜承出來レバ仕合セデアリマス、若シ斯ウ云フコトガ新聞紙側ノ無責任ナル
 宣傳ニ過ギナイノニテラズシテ、陸軍大臣ガ六十九議會ニ於ケル聲明ニ依ツテ責任ヲ負フテノ軍部ノ政治
 意見ヲ發表デナクテモ、軍ノ一角カヲ斯ル意見ガ放逐セラレタル爲ニ敏感ナル全國ノ新聞紙ガ之ヲ喧傳シ
 茲モシデアルト云フコトニカレナラバ、是ハ前議會ニ於テ政府ノ聲明シタル軍部カラハ個々自由ニ政治意
 見ヲ發表サセナイ、ソレハ陸軍大臣ガ發表スルノ如ク云フ聲明ニモ矛盾スルヤウニ思ハレル、貴新聞紙
 ノ無責任ニナルカ、政府ノ無責任ニナルカ、トテラカニ一ツ無責任ガアルト思フ、ランカラコシガ政黨内
 閣ノ否認ヲ、議會機能ヲ縮小スル、制限選舉ノ復活ヲト云フ三ツノ重大ナル政治思想ガ偶然ニモ湧出テ
 来ト云フコトハナイゾデアリマス、是ハ何處カニ火ヲ燃セル元ガナケレバナラズ、是等ノ事情ニ付テ御差
 支ノナク限リ一ツ政府側カラ御意見ヲ拜承ルタイト思ヒマス。

○次田委員 議院制度ニ關スル政府ノ信念ヲ存スル所ハ此内閣成立以來散次ノ機會ニ於テ總理大臣カ以申
 述ベテ居ル所デアリマス、現ニ此調査會ノ開會劈頭ノ御挨拶ノ際ニ其問題ニ觸レテ申上テアル筈デア
 リマスカラ、私カラ繰返シテ申上グル必要ハナイト存ズルデアリマス、今日政府ガ考ヘテ居リマス所
 外衆議院ノ御建議ノ趣旨ニモ鑑ミテ此議院制度ニ時勢ノ進運ニ伴フ改革ヲ加ヘテ、一層其機能ヲ發揮シ、

益々其能率ヲ増進セシムルガ爲ニ政府トシテ爲シ得ルコトガアルナラバ是非ソレヲヤリタイト考ヘテ居ル
 以外ナラズノデアリマス、其爲ニ此三ツノ調査會ヲ設ケマシテ各位ヲ煩ハシテ御審議ヲ願フテ居ルヤウナ
 次第ヲソデアリマス、是ハ逆ニ議院制度ノ機能ヲ制限シ壓縮シ、或ハ議會政治ヲ否認スルト云フヤウナ思
 想ハ、是ハ我が千古不磨ノ大典ナル所ノ憲法ノ精神ニ反スルモノデアリマシテ、政府ハ全然考ヘテ居ラ
 所、又考ヘテコトモナイ所デアリマス、御話ノ如ク新聞ニ政府部内ニ今濱田委員ノ御引用ニナリマシタ意
 見ガ如ク云フコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、是ハ政府ヲ全然關知セザル所ナデアリマス、御話ノ如ク
 云フ云フ間違ツタコトガ傳ヘラレテ居ルノニ、ナゼ政府ハ黙ツテ居ルカ、ナゼ之ヲ取締ラナイノカト云フ
 御話デアリマスガ、實ハ今日多分今頃ヤツテ居ルダラウト思ヒマスガ、陸軍大臣ノ所テ陸軍部内ニハ斯ノ
 如ク意見カシド云フコトヲハツキリ新聞ニ發表シテ居ル筈デアリマス、政府トシテハ萬々ハ斯ノ如キ説ガ
 問題トナルヤウナコトガアリマシタラバ、斷乎トシテ之ヲ排撃スル用意ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、ト云
 カルトラ明瞭ニ申上テ宜シト思ヒマス。

○濱田委員 サウスルト政府ニモサウ云フ意見ガナク、軍部ニモサウ云フ意見ガナク、新聞ガ出鱈目
 宣傳イタト云フコトニ歸著スルゾアスカ。

○次田委員 下ウ云フ所ガ新聞ガ、云フ記事ガ出マシタカト云フコトモ調ベテ見マシタ、陸軍ノ首腦部
 或所ハ下僚ノ者カラ今新聞ニ載ツテ居ルヤウナ意見ヲ進言サレタコトモ聞ナイ、況ヤ問題トシテ取

扱ツタコトモナイト云フ話アリマス。誰ガ話シタラウカト云フコトヲ調ベテ見マスルガ、局長、課長誰モサウ云フコトヲ話シタ者ハナイ、要スルニ分ラスト云フコトモ歸著シテ居ルノデアリマス、アノ新聞ノ記事ガ出マスルト直ク實ハ私ハ陸軍次官ニ聞イテ見タノデス、ア、云フコトガ出テ居ルガ、ア、云フコトガアルノカト云ツテ聞イテ見マシタガ、全クサウ云フコトハ陸軍トシテ關知セザル所ダト云フハツキリシタ答デアリマシタ、陸軍以外ノ所ニハ無論サウ云フコトハナイト確信シテ居リマス云フコトヲ申上ゲテ宜イト思ヒマス。

○濱田委員 要スルニ新聞ガアレヲ記載シタコトハ、政府側ニハ何等其根據ヲ成スモノガナイト云フ譯デスナ。

○次田委員 サウ云フ譯デゴザイマス。

○濱田委員 大キイ所カラモ漏レナイシ、下僚ノ方カラモ調ベテモドウモ漏ラシタ者ガナイ、要スル所ハ出所不明ト云ハバ漏ラシタ者ガアル譯デスガ、人ガ分ラスト云フノデスガ、ソノ所ヲ寸承ツテ置イタ方ガ宜イト思ヒマス、出所不明ト云フノデスガ、全クドウ調ベテモ根據ガナイ、全ク新聞ノ記事ガ出鱈目ダト云フノデスガ、是ハ私ハ天下ノ新聞ヲ戒飭スル材料ニ御尋シテ居ルノデアリマス。

○次田委員 私共ノ所デ調ベテ居リマスル所デハ、陸軍ハ無論、政府部内カラ斯ノ如キコトヲ發表シタ者ガナイト云フコトデアリマスガ、尙ホ陸軍ノ方ノ關係ハ陸軍大臣ガ今日二時デスカ、二時半デスカ、新聞

記者ニハツキリ其コトヲ申スコトニナツテ居リマスカラ、世間ノ疑惑ハソレデ解ケルノデハナイカト思ツテ居リマス。

(速記中止)

○濱田委員 色々御懇談ニ依リマシテ御話ヲ承ツタノデアリマスガ、次田局長ノ言ハル、通り十一月説ハ或ル程度マデ大分進ンデ居ツタノデアリマシテ、此處デ決メテモ宜イカモ知レマセヌガ、色々複雑ナ事情モ起ツテ居リマスカラ、皆安心シテ快ク決メラレルヤウニ本日ハ此程度デ會ヲ打切ツテ、十六日ニ總會ヲ一度御開キヲ願フヤウニシテ、ソコデ根本觀念ヤ何カニ付テ腹藏ナク雙方ノ意見ヲ吐露シ合ツタ上デ本委員會ノ議事ヲ進行スルト云フコトニシテ、一ツ本日ハ此程度デ打切ヲ願ツタラドウカト心得マスガ、如何デスカ。

(賛成「ト呼フ者アリ」)

○林特別委員長 御賛成ナラサウ云フコトニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ十六日ニハドウカ長官カラ總會ヲ開キ得ルヤウニ御配慮ヲ願ヒマス。

○次田委員 長リマシタ。

○林特別委員長 本日ハ是デ散會致シマス。

午後三時二十分散會

秘

議會開會期ノ
變更ニ關スル
特別委員會議事速記録(第六回)

議院制度調査會

議會開會期ノ
變更ニ關スル
特別委員會會議事速記録 (第六回)

目次

- 一 第六回特別委員會 昭和十一年十二月十五日……………一頁

一 第六回特別委員會

昭和十二年十二月十五日內閣總理大臣官舎ニ於テ午後二時十五分開會

○林特別委員長 是ヨリ特別委員會ヲ開會致シマス。

○次田委員 特別委員會ニ於テ今迄論議セラレマシタ九月案竝ニ十一月案ノ長所短所ト考ヘラル、モノヲ整理致シマシタモノヲ差上ゲマシタ、御參考ニ御覽下サルコトヲ御願ヒ致シマス。

ソレカラ是モ御參考ニ申上ゲマシタ、特別委員會デ問題ニナリマシタモノガ九月案ト十一月案デアリマシタ、若シ九月案ト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ今迄ニ申上ゲマシタ如ク會計年度ノ變更ヲ伴フ譯デアリマシテ、今日トナリマシテハ委員會ノ方ノ改正案ヲ此暮ノ議會ニ提出スルコトハ事實不可能デアラウト思ヒマス、第七十一議會デナケレバ實現ガ不可能デアルト思ヒマス、若シ十一月案ヲ御採用ニナリマシレバ是ハ年末年始ノ休暇ヲ、豫算委員會ノ豫算審査期間ノ中ニ勘定シナイト云フ條文ヲ一ツ議院法ノ中ニ規定スレバ宜シト考ヘマス、此分デアリマスレバ議院法ノ改正案ヲ此暮カラ始リマス、第七十議會ニ提出シ得ルト思フテ居リマス、其邊モ御參考ニ申上ゲテ置キマス。

○西野委員 只今御説明ノ若シ九月案ヲ採リマス場合ニハ、會計法等ノ變更ニ關スル法律案ヲ、只今カラデハ此期ノ議會ニ出セナイト云フ理由ヲ一寸伺ツテ見ダイト思ヒマス。

○次田委員 會計年度ヲ變ヘルコトニナリマスルト關係スル所ガ非常ニ多イノデアリマス、而シテ其會計法ノ改正ハ、改正法案ヲ樞密院ノ御諮詢ヲ仰イデ、ソレカラ後デナケレバ議會ヘ出スコトガ出來ナイノデアリマス、丁度議會モ差迫リマスルシ、色々ナ法律案モ今法制局ヘ來テ居リマス法律案ダケデ百四十件アリマス、到底會計法ノ改正案ヲ審議シテ樞密院マデ通ス時間ガアリマセヌ、ドウシテモ七十議會ノ間ニハ合ハナイト思ヒマス。

○濱田委員 只今法制局長官ヨリノ御説明並ニ參考トシテ御配布ニナリマシタ摘録、是等ニ依リマシテ、且又特別委員會ノ從來ノ經過ニ鑑ミマシテ、當委員會ニ於キマシテハ、一應此十一月說ヲ答申スルコトガ相當ナルヤニ私ハ考ヘマス、併シ種々ナル經緯モアリマスカラシテ、本日確定議ト致サズシテ、兩院關係ノ委員ニ於テ各行違ヒノナイヤウニ、最後ノ交渉ヲ試ミ、又政黨方面ノ關係ニ於テモ、後日異論ノナイヤウニ最後ノ交渉ヲ試ミマシテ、モウ一回御開キヲ願ヒマシテ、ソレデ特別委員會ヲ終了スルヤウニ致シタラ如何カト思ヒマス、此點ヲ發議致シマス。

○齋藤委員 私、贊成致シマス。

○黒田委員 私モ只今ノ發議ニ贊成致シマス、一寸御伺ヒシタイデスガ、此十一月案ノ長所ト云フ方ノ三ニ書カレテゴザイマス總ツタ日數會期ヲ延長シ得ルト云フコトハ、行ハレタコトモナイヤウニ思ヒマス、切羽詰ツテ一日トガ二日トカ延長スル、然ルニ此度ハ一週間トカ十五日トカ、大分長イ期間一般的

ニ會期ヲ延長スルコトガ可能デアリマシテ、其事柄ハ餘程收穫トシテ重大ナ事ト思ヒマス、即チ三箇月ノ會期ガ非常ニ短カ過ギテ困ルカラ、之ヲ出來ルダケ充實シナケレバナラント云フヤウナコトカラ、更ニ常置委員ナドト云フコトモ考ヘラレル程感ゼラレテ居ルノデアリマス、此案ヲ採ツタ結果トシテ總ツタ會期ノ延長ガ出來ルト云フコトハ、非常ナ大ナル收穫ト思フノデアリマス、是ハ特ニ一ツノ項目トシテ御書キニナツタラ如何カト思ヒマス、ソレカラ最後ノ備考ト云フ所ニ「解散後ノ特別議會ニ更ニ總豫算ヲ提出シ得ルモノトスルトキハ十一月案ハ頗ル有意義ナリト論ゼラレタリ」ト云フコトガアリマスガ、是ハ誠ニ其通りデ結構ト思ヒマスガ、再提出スルコトガ出來ナイト云フ說ハ吾々ハ薄弱ダト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、時ノ政府ガ欲スレバ再提出スルコトハ差支ナイト云フ風ニ私等ハ考ヘテ居ツタ、他ノ諸君モサウ云フ風ニ考ヘラレル方ガ多數アラレルト存ジマス、ソレ故ニ此委員會ノ多數ノ意見トシテ豫算再提出ハ差支ナイ、云フ風ニ考ヘラレルカラシテ、其點モ亦非常ニ大ナル收穫デアルト云フ風ニ修正サレタラ如何カト存ジマスガ、如何デスガ。

○濱田委員 只今御述ニナリマシタ二項目ニ付テノ黒田サンノ御發議ニ贊成致シマス。

○林特別委員長 ソレデハ御諮リ致シマスガ、濱田君カラ出マシタ十一月說ト云フコトニ付テ齋藤君ノ御贊成モアリマシタ、如何デスガ、ソレデ皆サン御異議アリマセヌケレバ、サウ決メタイト思ヒマス、就キマシテハ黒田男爵ヨリ申サレマシタ十二月案ニ付テノ長所トシテノ第三及第五ト云フモノハ特ニ今回ノ委

員會案ノ難シ得テ大收積ナアル、同時ニ第五ニ付キマシテハ解散後ノ特別議會ニ於テ本豫算ノ再提出ヲ出
來得ルモイデアアル、云々ヤ文ヲ意見ヲ自分違ハ持テテ居ル、云フコトヲ特筆シテ十一月案ヲ可決シタイト
云フコトヲアリマス、御異議アリマセヌカ。

(一) 異議ナシト呼ブ者アリ

○林特別委員長、別ニ御異議ゴザイマセヌケレバ全會一致賛成ト認メマス。

是ヨリ衆議院、貴族院共ニ最後ノ決定ヲ致シマスル前ニ各御諮リヲ致シテ見テ然ル後ニ最終ノ決
定ヲ致シタイト思ヒマス、就キマシテハ二十二日ノ午後二時ニ特別委員會ヲ開會致シタイト思ヒマス、別
ニ御異存ガゴザイマセヌケレバ左様決定致シテ本日は是ヲ散會致シマス。

午後二時三十分散會

此ノ時ニ於テハ、衆議院、貴族院、特別委員會、各々御諮リヲ致シテ見テ然ル後ニ最終ノ決
定ヲ致シタイト思ヒマス、就キマシテハ二十二日ノ午後二時ニ特別委員會ヲ開會致シタイト思ヒマス、別
ニ御異存ガゴザイマセヌケレバ左様決定致シテ本日は是ヲ散會致シマス。

秘

議會開會期ノ
變更ニ關スル
特別委員會議事速記録(第七回)

議院制度調査會

議會開會期ノ
變更ニ關スル 特別委員會會議事速記録 (第七回)

目次

- 一 第七回特別委員會 昭和十一年十二月二十二日……………一頁

一 第七回特別委員會

昭和十一年十二月二十二日內閣總理大臣官舎ニ於テ午後二時十分開會

○林特別委員長 ソレデハ是ヨリ議會開會期變更ニ關スル特別委員會ヲ開會致シマス。

○次田委員 答申案ヲ一ツ朗讀シテ貫フコトニ致シマス。

(議員幹事朗讀)

答申案

議會開會期變更ニ關スル件

一 政府ハ十一月中旬ヲ以テ帝國議會通常會召集相成ル様奏請スルヲ適當ト認ム

附帶決議

一 議院法第一條ノ四十日ノ期間ハ之ヲ二十日ニ短縮スルヲ適當ト認ム

一 停會中ノ期間及十二月二十六日ヨリ翌年一月十日迄ノ間ニ於ケル各議院ノ院議ニ依ル休會ノ期間ハ之ヲ豫算審査期間中ニ算入セザルヲ適當ト認ム

○林特別委員長 是デ御異議ゴザイマセスカ。

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○林特別委員長 御異議ナイモノト認メマス、ソレデハ此答申案ヲ以テ本會ニ報告スルコトニ致シマス。

○次田委員 此機會ニ一言一寸御斷リシテ置キタイト思ヒマス、此附帶決議ノ二點ノ事項ハ、昨日ノ豫算審査期間ニ關スル委員會ニ於テ御決定ニナリマシタ議會ノ豫算審査期間延長ノ件ト併セテ議院法ノ改正案ヲ出來ルダケ早イ機會ニ於テ議院ニ提出致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ如ク議院法ハ憲法附屬ノ法律デアリマシテ、樞密院ノ御諮詢ヲ經ルト云フコトガ必要ナノデアリマス、モウ既ニ年末ニ迫ツテ居リマシテ、御諮詢ノ手續ハ取りマスルガ、年内ニ樞密院ノ御審査ヲシテ頂クト云フコトハ難カシイト思ヒマス、ドウシテモ明年ト云フコトニナルト思フノデアリマシテ、政府トシテハ一月二十一日再開迄ニ樞密院ノ議ヲ經ルコトニ極力努力スル積リデハ居リマスガ、ドウ云フコトニナリマスカ、今ノ所豫測ハ出來マセヌ、極力間ニ合ハセル積リデ努力ハ致シマス、愈々議會へ提出ニナリマシタラ、ドウカ成ベク速ニ兩院ヲ通過シテ、第七十議會カラ此案ガ適用ニナルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト云フコトヲ一言申上ゲテ置キマス。

○林特別委員長 ソレデハ此議會開會期變更ニ關スル特別委員會ハ是デ終了致シテ散會致シマス。

午後二時三十分散會